

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																									
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																									
	3 目	教育指導奨励費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																									
実施計画掲載ページ		P 22	中 事 業		教育指導奨励費																											
事業コード		002-001-002-00237	事 業 名		小中学校児童生徒体育及び文化活動補助金交付事業																											
目的及び事業内容		小・中学校の文化活動及び体育活動の充実を図るとともに、県大会以上の大会へ出場する際の交通費の一部助成等により保護者負担を軽減する。 ・補助金の交付（平成23年度から文化活動と体育活動を一体化）																														
取組実績		補助金の交付 音楽コンクール県大会以上に参加した小・中学校に対し、交通費の一部及び楽器輸送費を助成した。 ・県大会参加回数 9回（6校） ・東北大会参加回数 2回（2校） ・全国大会参加回数 1回（1校） ・補助金交付額 1,298,906円 体育活動県大会以上に参加した中学校に対し、交通費の一部を助成した。 ・県大会参加回数 42回（20校） ・東北大会参加回数 13回（10校） ・全国大会参加回数 7回（6校） ・補助金交付額 3,504,480円																														
成 果		音楽コンクールにおける県大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <td>補助対象校（補助件数）</td> <td>8校（13件）</td> <td>6校（10件）</td> <td>6校（12件）</td> </tr> <tr> <td>補助金交付額</td> <td>1,090,835円</td> <td>934,491円</td> <td>1,298,906円</td> </tr> </table> 体育活動における県大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <td>補助対象校（補助件数）</td> <td>17校（57件）</td> <td>19校（69件）</td> <td>20校（62件）</td> </tr> <tr> <td>補助金交付額</td> <td>3,882,395円</td> <td>4,424,962円</td> <td>3,504,480円</td> </tr> </table>							主な指標項目	H26	H27	H28	補助対象校（補助件数）	8校（13件）	6校（10件）	6校（12件）	補助金交付額	1,090,835円	934,491円	1,298,906円	主な指標項目	H26	H27	H28	補助対象校（補助件数）	17校（57件）	19校（69件）	20校（62件）	補助金交付額	3,882,395円	4,424,962円	3,504,480円
主な指標項目	H26	H27	H28																													
補助対象校（補助件数）	8校（13件）	6校（10件）	6校（12件）																													
補助金交付額	1,090,835円	934,491円	1,298,906円																													
主な指標項目	H26	H27	H28																													
補助対象校（補助件数）	17校（57件）	19校（69件）	20校（62件）																													
補助金交付額	3,882,395円	4,424,962円	3,504,480円																													
成果に係る評価		各種大会参加校への補助金交付により、保護者の負担を軽減し、文化活動及び体育活動の充実を図ることができた。 貸切バスの運賃・料金制度の改定以降、生徒輸送に不可欠である貸切バスの借上料は保護者の負担となっており、また消費税率の引き上げにより更なる負担の増が見込まれるため、継続して本事業を実施する必要がある。																														
（単位：円）																																
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																											
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																								
	4,803,386		4,803,386					4,803,386																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																	
	3 目	教育指導奨励費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )																	
実施計画掲載ページ		P 24	中 事 業		奨学金資金費																			
事業コード		002-001-003-00230	事 業 名		奨学金貸与事業																			
目的及び事業内容		石巻市奨学金貸与条例に基づき、経済的理由により修学困難な生徒及び学生に学費を貸与し、有能な人材の育成を図る。 ・奨学金の貸与・償還																						
取組実績		1 奨学金の貸与 (1) 奨学生の新規募集を行い、奨学生選考委員会で28名の新規貸与者を決定した。□ 平成27年度より大学生、専修学校専門課程、高等専門学校第4学年以上の貸与額を35,000円から45,000円に変更した。□ (2) 貸与区分（月額） <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">高校在学</td> <td rowspan="2">15,000円</td> <td>高専在学 第3学年まで</td> <td>15,000円</td> </tr> <tr> <td>第4学年以上</td> <td>45,000円</td> </tr> <tr> <td>大学在学</td> <td>45,000円</td> <td>専修学校在学（専門課程）</td> <td>45,000円</td> </tr> </table> (3) 貸与者数 77名 (4) 貸与金額 34,020,000円							区 分	貸与月額	区 分	貸与月額	高校在学	15,000円	高専在学 第3学年まで	15,000円	第4学年以上	45,000円	大学在学	45,000円	専修学校在学（専門課程）	45,000円		
区 分	貸与月額	区 分	貸与月額																					
高校在学	15,000円	高専在学 第3学年まで	15,000円																					
		第4学年以上	45,000円																					
大学在学	45,000円	専修学校在学（専門課程）	45,000円																					
成 果		有能にも関わらず経済的理由で修学困難な生徒及び学生に教育の機会を与えた。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <td>奨学金貸与者数（うち新規貸与者数）</td> <td>47名（12名）</td> <td>63名（30名）</td> <td>77名（28名）</td> </tr> <tr> <td>貸与金額</td> <td>16,620,000円</td> <td>24,790,000円</td> <td>34,020,000円</td> </tr> <tr> <td>滞納額</td> <td>50,276,800円</td> <td>57,349,100円</td> <td>64,318,600円</td> </tr> </table>							主な指標項目	H26	H27	H28	奨学金貸与者数（うち新規貸与者数）	47名（12名）	63名（30名）	77名（28名）	貸与金額	16,620,000円	24,790,000円	34,020,000円	滞納額	50,276,800円	57,349,100円	64,318,600円
主な指標項目	H26	H27	H28																					
奨学金貸与者数（うち新規貸与者数）	47名（12名）	63名（30名）	77名（28名）																					
貸与金額	16,620,000円	24,790,000円	34,020,000円																					
滞納額	50,276,800円	57,349,100円	64,318,600円																					
成果に係る評価		平成27年度から大学生等の貸与額を増額したことにより、増額以前より新規貸与者が増えており、奨学金の貸与を希望する生徒及び学生のニーズに対応できたと考えられる。今後も市報、ホームページへの掲載、管内学校への通知など、利用者を増やすための施策を実施していくこととする。 償還については、滞納額の増加に対し、相手の状況に配慮しながら効果的な滞納対策に努める。																						
（単位：円）																								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																			
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																
	42,056,200		39,524,339					39,524,339																

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手ははぐくむまち	復興計画	( )																					
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																					
	3 目	教育指導奨励費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																					
実施計画掲載ページ		P21	中 事 業	いじめ・生徒指導問題対策費																								
事業コード		002-001-002-00235	事 業 名	いじめ・生徒指導問題対策事業																								
目的及び事業内容		<p>いじめや不登校、その他の生徒指導に関する問題に組織的に対応するため、関係機関等との連携を推進するほか、教員や保護者対象の研修を通して「いじめを許さない風土づくり」を進め、いじめの未然防止及び早期解決を図る。</p> <p>1 いじめ問題対策連絡協議会、生徒指導問題対策協議会の実施  2 いじめの防止や生徒指導上の諸問題の解決にかかる研修会、講演会の実施  3 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布  4 「S t o p いじめ！石巻子どもサミット」の実施</p>																										
取 組 実 績		<p>1 いじめ問題対策連絡協議会、生徒指導問題対策協議会  市内のいじめの諸問題、生徒指導問題について、各3回の情報交換を行ったほか、有効な連携の在り方について協議した。</p> <p>2 いじめの防止や生徒指導上の諸問題の解決にかかる研修会の実施  (1) 生徒指導の基本である学級づくり、人間関係づくりについての講演会を市内教職員及び保護者を対象に実施した。  (2) いじめ問題の根幹にかかわる人権について、市内教職員・保護者を対象に弁護士を招いて講演会を開催した。</p> <p>3 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布  いじめ防止標語（小・中・高）、いじめ防止メッセージ（中・高）を募集し、メッセージ集を作成して各学校や関係機関に配布し、意識啓発に努めた。</p> <p>4 「S t o p いじめ！石巻子どもサミット」は、市内全中学校の代表が参加し、いじめの防止について話し合いを行った。</p> <p>5 いじめの重大事案に対応するため、石巻市いじめ問題対策調査委員会を設置し、情報交換、重大事態が起きた際の対応検討等を行った。</p>																										
成 果		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>いじめの件数</th> <th>解消件数</th> <th>解消率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小 学 校</td> <td>227件</td> <td>198件</td> <td>87.2%</td> </tr> <tr> <td>中 学 校</td> <td>89件</td> <td>75件</td> <td>84.3%</td> </tr> <tr> <td>高 校</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>316件</td> <td>273件</td> <td>86.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記は文部科学省実施の平成28年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査による。</p>							区 分	いじめの件数	解消件数	解消率	小 学 校	227件	198件	87.2%	中 学 校	89件	75件	84.3%	高 校	0件	0件	0%	計	316件	273件	86.4%
区 分	いじめの件数	解消件数	解消率																									
小 学 校	227件	198件	87.2%																									
中 学 校	89件	75件	84.3%																									
高 校	0件	0件	0%																									
計	316件	273件	86.4%																									
成果に係る評価		<p>いじめの認知件数の増加については各学校において、意識を高くして児童生徒の見守りをし、組織的に早期発見、早期解決に向けて取り組んだ成果であると捉えている。また、解消率については、安易に解決することなく、長期的に丁寧な見守りと指導を継続している結果であると捉える。今後も、未然防止に向けて取組が必要であり、いじめについては積極的に認知し、学校をあげて組織的に解決、解消に努めることが大切である。また、ネットトラブル等、目に見えにくい問題も懸念される。日ごろの道徳の時間の指導に重点を置き、学校のすべての活動において道徳教育の充実と全力で取り組むよう各学校に働きかける。また、これまで以上に教員のもつアンテナを高くしながら、子どもたちの様子等を把握していく必要がある。</p>																										
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																							
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	3,120,000		695,178					695,178																				

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手ははぐくむまち	復興計画	( )											
	1 項	教育総務費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		( )											
	3 目	教育指導奨励費		( 1 )	広い視野を持つ人材をはぐくむ		( )											
実施計画掲載ページ		P34	中 事 業	外国青年英語指導費														
事業コード		002-003-001-00225	事 業 名	国際理解教育推進事業														
目的及び事業内容		<p>幼稚園、小中学校及び高等学校におけるALT（外国語指導助手）を活用しての授業や交流を通して外国語教育と国際理解教育の充実を図る。</p> <p>1 市立中学校、高等学校における外国語教育の充実  2 市立小学校における外国語活動の充実  3 市立幼稚園、こども園、けやき教室における国際理解教育の推進</p>																
取 組 実 績		<p>1 市立中学校・高等学校  ALT10人（JET1人、NON-JET9人）を配置し、各校週1～3回程度の配置で、1日当たり5時間程度の授業を行った。  JETプログラムのALTについては、部活動等課外活動にも意欲的に取り組み、授業以外の場面でも生徒と積極的に接した。また、学校での業務のほか、広域行政事務組合「おにぎり大使派遣事業」の英語事前研修の講師、地域振興課事業に参加することなどで、広く地域の国際理解や国際交流に寄与している。</p> <p>2 市立小学校  5・6年生で行われている外国語活動の授業に合わせて週1回程度配置し、担任教師と連携しながら、児童が楽しみながらコミュニケーション能力の素地を養えるよう活動を行った。</p> <p>3 市立幼稚園・けやき教室  月1回程度の配置で、英語を使った活動等を行い、国際理解教育の充実を図った。</p> <p>※JETプログラム…「語学指導等を行う外国青年招致事業」の略称  外国語教育の充実と地域レベルの国際交流の進展を図り、総務省、外務省、文部科学省及び一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）の協力の下に実施。</p>																
成 果		<p>ALTを中学校、高等学校を中心に小学校・幼稚園・こども園・けやき教室に配置し、外国語活動や外国語教育、国際理解教育を推進することができた。引き続き概ね高い水準で授業を「楽しい」と感じる生徒の割合を維持できており、外国語や国際理解に関する学習に対するモチベーションを高めることに大いに貢献している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ALTとの授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学1・2年生）</td> <td>80.4%</td> <td>79.9%</td> <td>81.3%</td> <td>82.9%</td> </tr> </tbody> </table>							主な指標項目	H25	H26	H27	H28	ALTとの授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学1・2年生）	80.4%	79.9%	81.3%	82.9%
主な指標項目	H25	H26	H27	H28														
ALTとの授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学1・2年生）	80.4%	79.9%	81.3%	82.9%														
成果に係る評価		<p>毎回の授業にALTが配置されることが望ましく、次期学習指導要領改訂による小学校高学年の英語の教科化と中学年の外国語活動実施を見据え、適切な配置が可能となるよう段階的にALTの人数を増やし、有効に活用することで、さらに国際理解教育の充実を図っていく必要がある。</p>																
(単位：円)																		
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳													
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
	46,751,500		46,507,416					46,507,416										

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	( )	
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力はぐくむ		( )	
実施計画掲載ページ		P21	中 事 業	子どもの未来づくり事業費				
事業コード		002-001-002-00232	事 業 名	石巻・子どもの未来づくり事業				
目的及び事業内容		石巻市立小・中学校長会と連携し、児童生徒の学力の定着と向上を通じ、未来を生きる力の育成を図る。 1 子どもの未来づくり推進委員会の設置 「教師の指導力の向上」、「児童生徒の学習習慣の形成」、「志を高める取組を小中連携により充実」の具体的方策について検討し、事業を行う。 2 小・中学校長会との連携 支会校長会ごとに本事業の目的達成のための計画を立て実践する。 3 子どもの未来づくり推進地区連絡協議会の設置 各地区の取組内容について情報交換し、より効果的な方策を検討する。						
取組実績		1 子どもの未来づくり推進委員会の設置取組 (1) 学力調査結果の分析等に基づき、学校と家庭との連携や家庭学習習慣形成の在り方等について検討し、中学校区ごとに家庭学習の進め方について、リーフレットを作成し働きかけた。 (2) 子どもの未来づくりフォーラムを2回実施し、児童生徒、保護者、教員がともに話し合い、意識を高めた。 (3) 家庭学習・生活習慣リーフレットの内容及び活用状況を検証し、内容を改善していくことを確認した。 (4) 子どもの未来づくり推進地区・実践校の取組状況や成果を「事業報告書、実践事例集」にまとめ、活用を図った。 (5) 志を強くもって生き抜くための具体的な実践として、小・中学校が連携して運動会（体育祭）や体験活動の交流会等を実施した。 2 小・中学校との連携及び子どもの未来づくり推進地区の取組 (1) 学力向上のため、学校と家庭との連携や家庭学習習慣形成等の実践研究を実施した。 (2) 地区内での情報共有や共同実践について話し合い、講演会や研修会を実施した。 (3) 実践成果発表会において、各地区の取組みについて発表し、情報を共有した。 3 教師の指導力向上、学習指導の改善を図る取組 (1) 推進モデル校を定め、大学教授を招いて学習指導の改善を図る研修会を計14回実施した。						
成 果		1 小学校と中学校が合同で研修会や授業研究会を実施し、小・中連携の推進が図られた。 2 事業実施手法等の工夫により、より専門性の高い講師による研修会を実施する地区が増え、研修の充実を図ることができた。 3 各推進地区で作成した家庭学習カードの工夫、活用を通して、学校と家庭が連携する必要性について啓発が図られた。 4 被災によって連携事業が困難となった学校があったが、それぞれ工夫して連携を行った。 5 市内のすべての小・中学校において、学習指導の改善を図る研修会に基づく取組みが行われた。						
成果に係る評価		各推進地区内におけるほとんどの小・中学校で、教員が互いに授業参観や授業検討会等を実施しており、また、年14回実施した「学習指導の改善を図る研修会」の内容に応じた取組みが各校で実践され、浸透し始めており、教師の指導力の向上が図られた。児童生徒の学習習慣の形成については、家庭学習カードの活用やリーフレット「5つのトライ」の配布を行った結果、小学校高学年、中学校1・2年生に対する調査で、家庭学習の定着が見られた。 しかし、その取組時間や質にはばらつきがあることから、更に充実した家庭学習を図る取組みが必要である。子どもの未来づくりフォーラムにおいて、各推進地区の取組みの実践発表を行い、成果があった取組みの啓蒙を更に図る必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳					
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	5,670,000		4,849,024		1,000,000		3,849,024	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	( )	
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力はぐくむ		( )	
実施計画掲載ページ		P20	中 事 業	適応指導教室運営費				
事業コード		002-001-002-00227	事 業 名	適応指導教室運営事業				
目的及び事業内容		不登校児童生徒個々の実態等に応じた生徒指導、学習指導、適応指導を行い、自立を促しながら学校への復帰を図る。 1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携 2 児童生徒の実態等に応じた学習指導 3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実						
取組実績		1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携 通所児童生徒や保護者との定期的教育相談や懇談会を行ったほか、機会を捉えての相談等も行って悩み等に受容的に対応した。 2 児童生徒の実態等に応じた学習指導 (1) 通所児童生徒一人ひとりの実態や学年を踏まえ、個に応じた指導・支援を行った。 (2) 在籍校との連携を深め、学級担任との連絡を密に行ったほか、適応指導教室での定期考査受験や学校で使用しているプリントでの学習などにより、帰属感の育成が図られた。 3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実 絵手紙教室、英会話教室、書道教室、調理実習、スポーツ教室、清掃活動等の体験活動を通して、仲間とともに活動する楽しさや一体感の醸成が図られた。						
成 果		適応指導教室における個に応じた学習支援により、学習することの楽しさを感じ、「わかる」という自信をもつことができた児童生徒がいた。特に中学3年生は後半「進学」という明確な目標ができ、質問するなど熱心に学習に取り組めた。また、親身な教育相談活動や充実した体験活動により、対人関係の苦手意識を少しずつ克服することができた児童生徒がいた。そのことと、保護者や学校との連携強化により、児童生徒が学校への再登校の意欲を高め、前年度より部分登校した生徒が増え、再登校（学校復帰）を果たした生徒もいた。						
成果に係る評価		平成28年8月より、県教委が実施する「みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業」の採択を受け、「石巻市子どものサポートハウス」が、適応指導教室施設内に設置された。スーパーバイザーが、各校を訪問し、不登校児童生徒への利用について周知したこともあり、昨年度に比べ相談件数が増加した。しかしながら、実際に適応指導教室との相談や体験通所にまでつなげることが難しい状況の不登校児童生徒も多い。また、適応指導教室に通所できた児童生徒の中には、頑張って再登校までこぎつけたものの、なかなか学校復帰までには至らなかった児童生徒もいた。さらには、適応指導教室に通所することで満足してしまっているような児童生徒や保護者もいると考える。適応指導教室に通所することが目的ではなく、学校復帰のための一手段として効果的に利用できることを、不登校で悩んでいる児童生徒や保護者に対し、広く周知することが必要である。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳					
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	5,318,000		5,235,225				5,235,225	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	3 目	教育指導奨励費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )	
実施計画掲載ページ		P 21	中 事 業	特別支援教育事業費				
事業コード		002-001-002-00228	事 業 名	特別支援教育支援員配置事業				
目的及び事業内容		<p>通常の学級に在籍している発達障害がある児童生徒の日常生活支援及び学習指導補助を行うため、学校に支援員を配置する。</p> <p>1 小中学校への支援員の配置 2 当該児童生徒への支援の工夫</p>						
取 組 実 績		<p>1 支援員の配置状況 市内小・中学校 30校に76人配置（平成26年度 31校 55人、平成27年度 28校 55人） 石巻小、住吉小、湊小、釜小、山下小、蛇田小、渡波小、稲井小、向陽小、 貞山小、開北小、万石浦小、大街道小、中里小、鹿妻小、飯野川小、大谷地小、 広淵小、須江小、北村小、前谷地小、和淵小、鹿又小、中津山第一小、中津山第二小、 桃生小、北上小、湊中、蛇田中、万石浦中</p> <p>2 通常の学級における当該児童生徒への支援 通常の学級に在籍する、知的障害、LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、高機能自閉症、選択的緘黙等の子どもたちへの学習・生活支援をするなどし、担任教員の指導補助を行った。各学校では、学級や個人への支援のあり方について研修するなどして、支援員の意識の強化やスキルの向上を図りながら、活用を工夫した。</p> <p>3 特別支援教育支援員研修会の実施 支援員を対象に、臨床心理士を講師として招聘し、「発達障害の特性と支援のあり方について」という演題で研修会を開催した。また、分科会に分かれて、日常支援の様子等について情報交換を行った。</p>						
成 果		<p>通常学級に在籍する、発達障害等支援を要する児童生徒数が増加し、各校においては、より細やかな支援を実現するため校内体制の工夫等に努めている。そうした中、特別支援教育支援員の存在は大きい。配置校においては、配慮を要する児童生徒の実態に応じ、学習・生活指導が展開され、個々の能力が伸長された。担任等教職員からは、当該児はもちろん、周囲の児童生徒の成長にもつながっていると声が寄せられている。また、保護者からは継続配置を強く望む声が聞かれる一方、新規配置の要望も増加傾向にある。研修会の実施は、支援員の意識の強化、スキルの向上につながっただけでなく、支援員相互の情報交換が図られたことで、職務に対する意欲の喚起やネットワークづくりにも結び付いた。</p>						
成果に係る評価		<p>インクルーシブ教育を推進していくためには、通常学級における支援の充実を継続的に進めていく必要がある。特に、携わる特別支援教育支援員は、通常学級に在籍する、障害のある児童生徒を支援するとともに、周囲の児童生徒と共に学ぶ機会を支える役割を担っている。障害のある児童生徒は、共に学ぶことから人とのかかわりの喜びや心地よさを感じ、自らの社会性を向上させることができる。また、周囲の児童生徒も、障害を理解したり、自己・他者理解を深めたりすることができる。こうした両者の成長は、将来の共生社会を築く基盤となる重要なものであり、特別支援教育支援員配置事業によって、その効果が期待される。学校現場や保護者からも、子どもたちのために本事業の拡充を希望する声が多く寄せられており、今後も、支援員の配置人数の拡充及び質的な向上を目指していく。</p>						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
	81,099,604		76,277,953					76,277,953

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																			
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																			
	3 目	教育指導奨励費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																			
実施計画掲載ページ		P 22	中 事 業	定住外国人就学支援事業費																						
事業コード		002-001-002-00238	事 業 名	定住外国人就学支援事業																						
目的及び事業内容		<p>石巻市に転入し、就学を希望する外国籍の児童生徒を市立小中学校において円滑に受け入れるため、外国語を話すことができる就学支援員を必要とする学校に配置し、当該児童生徒の通訳及び言語習得や学校生活等のサポートを行う。</p>																								
取 組 実 績		<p>支援を要する外国籍の児童生徒に対し、意志疎通が図れる外国人支援員（パート職員）を配置し、学校での通訳や簡単な日本語指導により、当該児童生徒の学習及び日常生活の支援を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <td>支援を必要とする外国籍の児童生徒数（校数）</td> <td>7人（7校）</td> <td>8人（8校）</td> <td>4人（4校）</td> <td>6人（5校）</td> <td>7人（6校）</td> </tr> <tr> <td>配置した支援員数</td> <td>8人</td> <td>7人</td> <td>4人</td> <td>6人</td> <td>6人</td> </tr> </table> <p>支援を必要とする児童生徒の母語は、タガログ語、ベンガル語、モンゴル語である。ベンガル語、モンゴル語に対応できる人材が見つからないため、ベンガル語には英語による支援を行い、モンゴル語へは校内の教職員の指導体制の工夫により対応した。</p>							主な指標項目	H24	H25	H26	H27	H28	支援を必要とする外国籍の児童生徒数（校数）	7人（7校）	8人（8校）	4人（4校）	6人（5校）	7人（6校）	配置した支援員数	8人	7人	4人	6人	6人
主な指標項目	H24	H25	H26	H27	H28																					
支援を必要とする外国籍の児童生徒数（校数）	7人（7校）	8人（8校）	4人（4校）	6人（5校）	7人（6校）																					
配置した支援員数	8人	7人	4人	6人	6人																					
成 果		<p>平成28年度は、市立小・中学校4校の6人の児童生徒に対し、支援員6人を配置して学校生活におけるコミュニケーションの手伝いや簡単な日本語指導を行い、当該児童生徒及びその家族の不安を取り除くことができた。また、併せて当該学校や担当教師への支援の役割も担った。転入により、年度途中で新たに配置希望をするケースがあるので、支援員の安定した確保が必要である。</p>																								
成果に係る評価		<p>児童生徒の母語に対応できず、英語に対応したケースや、予算が不足し支援員を配置できないために他機関による短期間派遣のサポート事業に頼らざるを得ない状況があった。今後も事業を継続し、児童生徒や学校のニーズに応えられるような支援員配置をする必要がある。</p>																								
（単位：円）																										
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																					
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																		
	3,446,550		3,446,550					3,446,550																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	3 目	教育指導奨励費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )	
実施計画掲載ページ		P 22	中 事 業	学校図書館担当配置事業費				
事業コード		002-001-002-01076	事 業 名	学校図書館担当職員配置事業				
目的及び事業内容		<p>各校の図書館担当教諭と協働し、学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資する。</p> <p>1 学校図書館担当職員（学校司書）の配置 2 学校図書館担当職員（学校司書）研修等の実施</p>						
取組実績		<p>平成28年度から学校司書のモデル配置が開始されることとなり、児童生徒数及び蔵書数が多い学校から選定し、調整した後、6校に3名を配置した。</p> <p>1 学校図書館担当職員（学校司書）の配置状況 (1) 中学校 2校、小学校 4校 (2) 配置人数 3人（1人当たり2校担当） (3) 1日あたりの勤務時間 5～6時間</p> <p>2 学校図書館担当職員（学校司書）研修等の実施 石巻市図書館及び該当する学校で研修日を設定して実施 （内容）初任者研修、図書の配架・書架整理等の実技研修、情報交換など</p>						
成 果		<p>学校図書館に対し求められる3つの役割「①読書活動の拠点となること（読書センター）」「②授業に役立つ資料を備え学習支援を行うこと（学習センター）」「③情報活用能力をはぐくむこと（情報センター）」が十分に果たせるよう、学校図書館の整理や絵本の読み聞かせ、調べ学習のコーディネーター役などをこなし、学校図書館の利活用の向上に繋がった。</p>						
成果に係る評価		<p>新入生の貸出しカードや在校生の進級処理を迅速に準備できたことから、例年より早い時期に貸出しを開始することができた。また、未整理だった図書の整理ができたことで図書館機能が向上し、雰囲気も明るくなり、児童生徒の利用者数や貸出し数が大きく増加した学校もあった。 今後も学校司書の能力の向上を図るとともに配置校の拡大に努める。</p>						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	4,712,000	3,695,916				3,695,916		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	1 項	教育総務費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		( )	
	3 目	教育指導奨励費		( 1 )	広い視野を持つ人材をはぐくむ		( )	
実施計画掲載ページ		P 35	中 事 業	サイエンスラボ事業費				
事業コード		002-003-001-01138	事 業 名	サイエンスラボ事業				
目的及び事業内容		<p>児童生徒が科学への興味・関心を持ち、自ら自然を調べようとする態度や能力の育成を目指すとともに、教員の理科指導力の向上、石巻市の理科教育の充実を図る。</p> <p>1 科学巡回教室の実施 2 教材・教具の開発及び教員への提供 3 学校・教員に対する相談活動・研修会の実施 4 「親と子の科学教室」の実施 5 企業や研究機関との連携</p>						
取組実績		<p>1 科学巡回教室の実施 「原子・分子の学習」、「科学実験」、「ものづくり」等を行い、市内26小学校、1施設（けやき教室）、市外1小学校で実施した。</p> <p>2 教材・教具の開発及び教員への提供 平成28年度からの新規事業のため、十分な開発は行えなかったが、原子・分子の模型を作成して科学巡回教室で活用した。また、ソーラー湯沸し装置も製作している。メダカの飼育にも取り組み、その卵を希望する小・中学校に提供することとした。</p> <p>3 学校・教員に対する相談活動・研修会の実施 「科学巡回教室」で学校を訪問した際に、担当教師と情報交換等を行った。</p> <p>4 「親と子の科学教室」の実施 生涯学習課「まちなか実験室」と連携し、3小学校において分子模型づくりに取り組んだ。また、角田市スペースタワー・コスモハウスの依頼を受け、「コスモハウス親子宇宙教室」に、講師としてサイエンススーパーバイザーを派遣した。</p> <p>5 企業や研究機関との連携 (1) パナソニック㈱ 1小学校、1公民館でLED工作教室を実施した。 (2) JAMSTEC（海洋研究開発機構）：河川港湾室との連携による。 市内4中学校でJAMSTEC出前授業を実施した。また、市内の理科教員を中心に、港湾感謝祭における「地球深部探査船『ちきゅう』」の見学を呼び掛けた。</p>						
成 果		<p>1 新規事業にも関わらず、市内小学校の約3/4が科学巡回教室を開催した。原子や分子について、映像や模型、製作活動等を通して、小学生にも楽しく、分かりやすく科学の不思議を伝えることができた。</p> <p>2 原子・分子の模型は、子どもたちにその世界をイメージさせるのに有効であった。</p> <p>3 改まった研修会までは実施できなかったが、科学巡回教室に児童と共に参加した教員にとっては、何よりの研修となった。科学巡回教室の内容を引き継いで、指導主事学校訪問の際に授業を行う教員もいた。</p> <p>4 科学巡回教室の発展型として、10種類の分子の模型作りを行った。説明書付きのケースに入れて持ち帰れるという特典もあり、製作活動を通して空気中の分子に対する理解を深めることができた。</p> <p>5 LED工作教室では、オリジナルランプづくりを通して、ものづくりの楽しさを実感するとともに、環境への意識を高めることができた。また、JAMSTEC出前授業では、専門の研究員が講師を務め、地球深部の構造や深海の様子、地震のメカニズム等について、理解を深めることができた。</p>						
成果に係る評価		<p>○事業開始初年度ではあったが、その趣旨や内容が各学校や関係機関に浸透し、活用が図られた。科学巡回教室等、その多くは小学校での実施に偏ったことを踏まえ、今後は中学校での実施も視野に入れて、内容やプログラムを検討・充実させていく必要がある。</p> <p>○事業が軌道に乗るに従い、2人のサイエンススーパーバイザーも見通しを持って業務に従事できるようになってきた。教材教具の開発や教員への相談活動、研修会の実施については、平成29年度以降の課題として、一層の充実に向けていく。</p> <p>○企業や関係機関、また、他課・室との連携により、事業に広がりや深まりを持たせることができた。今後も継続して連携し、子どもたちに科学や自然の魅力を伝えるとともに、理科教育の充実に資する取組みを展開していく。</p>						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	8,181,000	7,195,534			1,000,000	6,195,534		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	( )	
	1 項	教育総務費		第 節			( )	
	4 目	教職員住宅費		( )			( )	
実施計画掲載ページ			中 事 業		教職員住宅管理費			
事業コード			事 業 名		教職員住宅改修事業			
目的及び事業内容			老朽化が著しく進行している鮎川教職員住宅について、屋根防水工事・外壁防水工事・内装工事等を実施し、施設の延命化を図る。					
取組実績			平成28年度事業 屋根防水工事・外壁防水工事・内装工事等の実施（外構工事含む）。					
			内 訳		H28予算額	H28事業費	備考	
			工事請負費		35,000,000	29,786,400	繰越明許	
成 果			入居者の住まいを確保しつつ改修を行ったため、当初想定していた期間より時間を要したものの、平成28年9月に工事完了し、施設の延命化及び住環境の改善を図ることができた。					
成果に係る評価			施設を改修することで、施設の延命化及び住環境の改善を図ることができた。 教職員住宅については、3か所11棟（中津山8棟、大須2棟、鮎川1棟）を管理しているが、いずれも建設から20年以上経過していることから、今後の利用状況や老朽化状況を含め、改修が必要であるか判断を行う必要がある。					
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
	35,000,000		29,786,400			29,700,000		86,400

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	( )	
	1 項	教育総務費		第 節			( )	
	7 目	東日本大震災関係費		( )			( )	
実施計画掲載ページ			中 事 業		学び支援コーディネーター等配置事業費			
事業コード			事 業 名		学び支援コーディネーター等配置事業			
目的及び事業内容			東日本大震災により、地域コミュニティの崩壊や仮設住宅居住など住環境が変化し、教育環境、特に家庭学習の習慣形成が困難な状態になったため、学び支援コーディネーター等の配置を行い、児童生徒に基礎基本を確実に定着させ、学力の全体的な底上げを図るもの。					
取組実績			1 「夏休み学び教室」の開催 【会場：宮城県石巻工業高等学校】 (1) 開催日時 平成28年8月2日～4日 17～18日 小学生：9：30～12：00 中学生：13：00～15：30 (2) 参加対象 保護者が参加を承諾した石巻市立小中学校に在籍する児童生徒 小学3年生～中学3年生 (3) 内 容 ・自分で教材を持参し、課題を決めて自主学習を行った。 ・学び相談員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。 ・児童生徒、保護者の希望者に学習相談を行った。 2 「放課後学び教室」の開催 【会場：市内各小中学校の教室等】 (1) 開催日時 平成28年5月下旬～平成29年2月末 15：00～17：00 ※学校の実情に応じて計画を立てて学習支援を実施した。 (2) 参加対象 保護者が参加を承諾した石巻市立小中学校に在籍する児童生徒 小学3年生～中学3年生 (3) 内 容 ・自分で教材を持参し、課題を決めて自主学習を行った。 ・学び相談員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。					
成 果			1 家庭学習が思うようにできないという児童生徒や保護者の思いに応えることができた。 <夏休み学び教室> 実施回数： 8回（小学生 4回、中学生 4回） ※台風の影響で8月17日は中止 参加者数： 353名（小学生 219名、中学生 134名 延べ人数） 学び相談員・支援員：141名 高校生ボランティア：16名（延べ人数） <放課後学び教室> 実施回数：1,081回（小学生 881回、中学生 200回） 参加者数：24,183名（小学生 21,277名、中学生 2,906名 延べ人数） 学び相談員・支援員：2,398名（延べ人数） 2 夏休み学び教室は、参加した多くの児童生徒とその保護者に好評であり、「集中できた」「分かりやすく教えてもらってよかった」「来年も参加したい」などという声が多く寄せられた。また、大学生の学び支援員や地元高校生のボランティアが参加したことで、児童生徒は気軽に質問などをしながら、意欲的に学習している姿が見られた。 3 家庭では十分に学習できなかった児童生徒も、放課後学び教室に参加することで学習習慣が身に付き、学習への自信と意欲をもつようになってきている。アンケートでは参加した児童生徒のうち、7割以上が「勉強する習慣が身についた」「進んで勉強するようになった」と肯定的な回答をしている。 4 学び相談員や支援員が児童生徒一人一人を褒めて温かく学習を見守り、困っている時には適切に対応したことで、児童生徒の自己肯定感を高めた。 5 放課後学び教室は、小学校17校、中学校8校で開設した。昨年度との比較では、小学校が1校増、中学校が1校減である。保護者アンケートや学校からの報告では、次年度以降も開催を希望する声、継続を希望する声が多く寄せられている。					
成果に係る評価			児童生徒アンケートや保護者アンケート、学校からの報告等からは、本事業が適切かつ効果的に実施され、成果を上げていることが読み取れた。今後も、本事業の趣旨を踏まえて実施することで、学校や児童生徒、保護者の要望や期待に応えることができるものと考えている。 夏休み学び教室は、送迎等の課題があり参加を見送るケースもある。それを補う形で地区や学校において「夏休み学習会」が開催されている。平成28年度は1地区7小学校2中学校で開催された。平成27年度と比較すると小学校は3校増、中学校は1校増となっており、開催校が増加している。 へき地校への相談員の配置については、平成27年度同様、開催の希望があった2校に配置できたが1校には配置できなかった。また、児童生徒の参加者が多い学校については、複数名の相談員を配置するようにし、約10名の児童生徒に対して1名の相談員という割合を基本にした。今後も相談員の確保や適切な配置は大きな課題となるが、市報による広報、相談員同士のネットワーク、学び支援コーディネーターによるアプローチ、各校による相談員の確保等、様々な手段を講じていく。					
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
	8,086,000		7,544,655		7,544,655			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																							
	1 項	教育総務費				( 1 )	未来の人を育てる																							
	7 目	東日本大震災関係費				( 3 )	子どものケアの実施																							
実施計画掲載ページ		P206	中 事 業		スクールカウンセラー配置事業費																									
事業コード		004-103-002-00525	事 業 名		スクールカウンセラー配置事業〔復興基金〕																									
目的及び事業内容		<p>カウンセラーの相談活動により、児童生徒・保護者・教職員の心理面における安定を図るとともに、児童生徒の健全育成に資する。</p> <p>1 スクールカウンセラーの配置 2 生徒・保護者・教職員・学区内小学生等の要望に応じたカウンセリングの実施 3 カウンセラーを活用してのカウンセリング研修等の実施</p>																												
取組実績		<p>1 スクールカウンセラーの配置（任用は宮城県） 定期の配置のほか、相談ケースの状況に応じた追加派遣を行った。 全中学校20校と、希望した小学校34校に配置した。 ※配置を希望しない小学校には、別途支援による配置を行った。</p> <p>2 カウンセラーの配置状況 (1) 中学校 各校年間35～40回、小学校 各校年間5～40回 (2) 1回あたりの時間 6～8時間</p> <p>3 カウンセラーの活動内容 面談 カウンセリング研修等の実施 カウンセリングルームの環境整備 各学級巡回 各種ケース会議 おたよりの作成 等</p>																												
成 果		<p>スクールカウンセラーを配置することにより、児童生徒、保護者、教職員が相談できる体制が整備されつつある。それが相談件数の増加につながっており、震災後の心のケアも含め、学校や家族の問題等の解決の一助としての役割を担っている。</p> <table border="1"> <tr> <td>主な指標項目</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>5,241件</td> <td>5,700件</td> <td>6,492件</td> <td>5,740件</td> </tr> <tr> <td>相談人数</td> <td>5,857人</td> <td>6,817人</td> <td>7,657人</td> <td>6,399人</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">H28相談人数割合</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>46.3%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>33.4%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>20.3%</td> </tr> </table>						主な指標項目	H25	H26	H27	H28	相談件数	5,241件	5,700件	6,492件	5,740件	相談人数	5,857人	6,817人	7,657人	6,399人	H28相談人数割合		児童生徒	46.3%	教職員	33.4%	保護者	20.3%
主な指標項目	H25	H26	H27	H28																										
相談件数	5,241件	5,700件	6,492件	5,740件																										
相談人数	5,857人	6,817人	7,657人	6,399人																										
H28相談人数割合																														
児童生徒	46.3%																													
教職員	33.4%																													
保護者	20.3%																													
成果に係る評価		<p>平成28年度は希望校全てにスクールカウンセラーを配置した。定期の配置のほか、相談ケースの状況に応じた追加派遣を行った。 相談活動のみならず、配置校内でのケース会議、教職員向けの研修会、相談しやすい環境づくり等も実施し、積極的な生徒指導に生かすことができた。諸問題の未然防止と早期対応、震災後の心のケアの面からも、スクールカウンセラーによる相談体制の充実と連携を図っていくことが引き続き重要である。</p>																												
(単位：円)																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	400,000	289,112			289,112																									

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																														
	1 項	教育総務費				( 1 )	未来の人を育てる																														
	7 目	東日本大震災関係費				( 3 )	子どものケアの実施																														
実施計画掲載ページ		P206	中 事 業		スクールソーシャルワーカー配置事業費																																
事業コード		004-103-002-00525	事 業 名		スクールソーシャルワーカー配置事業																																
目的及び事業内容		<p>小中学校及び高等学校における相談体制や関係機関との連携体制の充実を図り、不登校対応を中心に、暴力行為、児童虐待などの問題行動の早期対応や早期解決を図る。</p> <p>1 問題を抱える児童生徒が置かれた環境（家庭や学校等）に対して面談などの働きかけを行う 2 児童相談所などの関係諸機関とのネットワークを構築し、連携や調整に努める 3 市内小中学校及び高等学校において、校内で支援体制やチーム体制を整備することを支援する 4 市内小中学校及び高等学校の教職員・保護者への相談や研修会等での啓発活動・情報提供に努める</p>																																			
取組実績		<p>1 スクールソーシャルワーカーについて（平成28年度6名配置） 児童生徒や家庭の状況を踏まえ、ケースごとに児童相談所や市の相談機関などの関係機関と連携して対応している。また、震災後の児童生徒の心のケアについても、学校に配置されているスクールカウンセラーと連携することはもとより、児童精神科医とも連携しており、専門的な見地から適切な対応がなされるよう働きかけている。</p> <p>2 配置状況(平成29年3月末現在) 6名配置</p> <table border="1"> <tr> <th>拠点校</th> <th>勤務時間、日数</th> </tr> <tr> <td>石巻小、大川小、石巻市教育委員会</td> <td>1日 6時間、週3日</td> </tr> <tr> <td>向陽小、青葉中</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>渡波中、石巻市教育委員会</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>石巻市教育委員会</td> <td>1日 6時間、週1日</td> </tr> <tr> <td>万石浦中、桃生中</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>桜坂高校</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> </table> <p>3 勤務総日数延べ469日 4 連携した機関：児童相談所、健康推進課、市民相談センター（虐待防止センター）、精神科医、児童精神科医、警察署、その他福祉施設等</p>						拠点校	勤務時間、日数	石巻小、大川小、石巻市教育委員会	1日 6時間、週3日	向陽小、青葉中	1日 6時間、週2日	渡波中、石巻市教育委員会	1日 6時間、週2日	石巻市教育委員会	1日 6時間、週1日	万石浦中、桃生中	1日 6時間、週2日	桜坂高校	1日 6時間、週2日																
拠点校	勤務時間、日数																																				
石巻小、大川小、石巻市教育委員会	1日 6時間、週3日																																				
向陽小、青葉中	1日 6時間、週2日																																				
渡波中、石巻市教育委員会	1日 6時間、週2日																																				
石巻市教育委員会	1日 6時間、週1日																																				
万石浦中、桃生中	1日 6時間、週2日																																				
桜坂高校	1日 6時間、週2日																																				
成 果		<p>1 スクールソーシャルワーカーの仕事内容が学校及び関係機関に理解され、連携がスムーズになった。 2 問題を抱える児童生徒の家庭訪問等を行い、少しずつ登校できるようになった。 3 震災の影響で子どもに目を向ける余裕のない保護者の話をじっくり聞くことにより、気持ちの余裕が出てきた。 4 教員に対してコンサルテーションを行うことにより、教員の悩みを共有することができた。 5 スクールソーシャルワーカーを6名配置することにより、これまでできなかった様々なケースにも対応できた。</p> <p>○相談後の状況</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>問題が解決</td> <td>支援中で好転</td> <td>支援中</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>H28年度相談件数（計384件）</td> <td>62件</td> <td>128件</td> <td>176件</td> <td>18件</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>16%</td> <td>33%</td> <td>46%</td> <td>5%</td> </tr> </table> <p>○平成28年度活動の状況</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">訪問回数</th> <th colspan="3">ケース会議</th> </tr> <tr> <td>学校</td> <td>家庭</td> <td>関係機関</td> <td>教職員等</td> <td>関係機関等</td> </tr> <tr> <td>869回</td> <td>165回</td> <td>142回</td> <td>76回（98件）</td> <td>68回（44件）</td> </tr> </table> <p>※対応学校数・・・要請のあった46校（小学校27校、中学校18校、高等学校1校）</p>							問題が解決	支援中で好転	支援中	その他	H28年度相談件数（計384件）	62件	128件	176件	18件	割合	16%	33%	46%	5%	訪問回数		ケース会議			学校	家庭	関係機関	教職員等	関係機関等	869回	165回	142回	76回（98件）	68回（44件）
	問題が解決	支援中で好転	支援中	その他																																	
H28年度相談件数（計384件）	62件	128件	176件	18件																																	
割合	16%	33%	46%	5%																																	
訪問回数		ケース会議																																			
学校	家庭	関係機関	教職員等	関係機関等																																	
869回	165回	142回	76回（98件）	68回（44件）																																	
成果に係る評価		<p>スクールソーシャルワーカーについて認知が高まり、家庭や学校からの相談件数が増加した。福祉、医療等関係諸機関との連携体制の充実を図ることができ、不登校対応を中心に、家庭環境問題、暴力行為、児童虐待などの問題の未然防止や早期解決に成果を上げており、今後も事業を長期に渡り継続する必要がある。</p>																																			
(単位：円)																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	12,120,000	11,201,406	11,201,406																																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																												
	1 項	教育総務費				( 1 )	未来の人を育てる																												
	7 目	東日本大震災関係費				( 3 )	子どものケアの実施																												
実施計画掲載ページ		P206	中 事 業	ハイスクールカウンセラー配置事業費																															
事業コード		004-103-002-00525	事 業 名	ハイスクールカウンセラー配置事業〔復興基金〕																															
目的及び事業内容		<p>カウンセラーによる相談活動を通して、生徒・保護者・教職員の精神的安定を図るとともに、問題行動等の未然防止や解決による生徒の健全育成に資する。</p> <p>1 ハイスクールカウンセラーの配置 2 生徒・保護者・教職員へのカウンセリングの実施 3 学校におけるカウンセリング講座等の支援活動</p>																																	
取 組 実 績		<p>1 ハイスクールカウンセラーの配置 市立桜坂高等学校に1名配置 2 生徒・保護者・教職員の要望に応じたカウンセリングの実施 1日6時間、年間60日の勤務を原則とし、週2日(火・木)の勤務体制でカウンセリングを実施した。 3 カウンセリング講座等の支援活動 (1) 教職員・生徒を対象としたカウンセリングに関する講座の実施(3回) (2) 教育相談情報交換会・ケース会議(3回)の実施</p>																																	
成 果		<p>生徒の不安や悩みは、学校生活や友人関係などの場合でも、詳しく話を聞くと、家庭内の多種多様な不満やめ事なども合わせて抱え込んでいる場合が多い。そのため、学校でも家庭でも相談をする相手がなく、一人で悩みを解決できずにいる。そのような生徒たちがカウンセリングを受けることにより、カウンセラーとの関わりの中で、問題を解決する糸口や対処法を見つけ、学校生活を送れるようになっていくケースが多くあった。また、保護者の利用も多く、子どもへの接し方や、保護者自身の不安(経済的・時間的・精神的なゆとりが無い)などについて、カウンセラーと相談していく中でよい方向へ向かうケースもあった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>292件</td> <td>285件</td> <td>222件</td> <td>226件</td> <td>233件</td> </tr> <tr> <td>相談人数</td> <td>358人</td> <td>354人</td> <td>272人</td> <td>333人</td> <td>324人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H28相談人数内訳</th> <th>生 徒</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桜坂高校</td> <td>77人</td> <td>227人</td> <td>20人</td> <td>324人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※生徒の相談内容は、多い順に「家庭関係：18件」「学校生活：17件」「進路学業：13件」である。 ※教職員の相談件数は、全体で138件のうち「情報交換」が134件である。 ※「震災関係」の相談はなかった。</p>						主な指標項目	H24	H25	H26	H27	H28	相談件数	292件	285件	222件	226件	233件	相談人数	358人	354人	272人	333人	324人	H28相談人数内訳	生 徒	教職員	保護者	計	桜坂高校	77人	227人	20人	324人
主な指標項目	H24	H25	H26	H27	H28																														
相談件数	292件	285件	222件	226件	233件																														
相談人数	358人	354人	272人	333人	324人																														
H28相談人数内訳	生 徒	教職員	保護者	計																															
桜坂高校	77人	227人	20人	324人																															
成果に係る評価		<p>相談内容についての生徒の傾向には、年度ごとに違いがあり、平成27年度は「学校生活」、「友人関係」、「学校不適応」が多かったが、平成28年度は「家庭関係」、「学校生活」、「進路学業」が多かった。しかし、全体の相談件数に変わりはなく、カウンセラーと相談を行ったほとんど生徒が、相談は担任のサポートを受けながら、学校生活を続けていくことができている。また、相談内容によっては、スクールソーシャルワーカーへと繋ぎ、行政機関等の外部の協力を得て支援体制を構築することができたケースも複数あった。これらのことから、ハイスクールカウンセラー配置事業の効果は大きく、今後も継続が必要である。</p>																																	
(単位：円)																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
	1,881,000	1,849,060			1,849,060																														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 2 )	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																											
	1 項	教育総務費				( 1 )	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																											
	7 目	東日本大震災関係費				( 1 )	被災者への生活支援																											
実施計画掲載ページ		P164	中 事 業	震災奨学金給付事業費																														
事業コード		002-101-001-00355	事 業 名	震災奨学金給付事業																														
目的及び事業内容		<p>東日本大震災により親が死亡又は行方不明となり、父母のない児童生徒に対して震災奨学金を給付することにより、安定した修学の機会を提供し、もって有能な人材を育成する。</p>																																
取 組 実 績		<p>1 対象者への給付 4月と9月に月額金、2月に中学校3年生と高校3年生に一時金を給付した。 (1) 対象者 震災当時石巻市内に住所を有していた親が、震災により死亡又は行方不明となり、両親がいなくなった小・中・高校生。未就学児においては、小学校へ入学後、給付開始とする。 (2) 給付額 ア 月額(年額) 小学校等に在学する者 10,000円(120,000円) 中学校等に在学する者 20,000円(240,000円) 高等学校等に在学する者 30,000円(360,000円) イ 一時金 中学校3年生 300,000円 高校3年生 500,000円 (3) 給付の期間 対象者が高等学校等を卒業するまで給付する。ただし、学校教育法に規定する修業年限内とする。</p>																																
成 果		<p>平成28年度は小学生6名、中学生11名、高校生9名の計26名の震災孤児に奨学金を給付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>給付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生</td> <td>6人</td> <td>720,000円</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>11人</td> <td>2,640,000円</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>9人</td> <td>3,240,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>26人</td> <td>6,600,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>一時金として、中学生6名、高校生5名の震災孤児に給付をした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>給付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学生</td> <td>6人</td> <td>1,800,000円</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>5人</td> <td>2,500,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11人</td> <td>4,300,000円</td> </tr> </tbody> </table>						区分	人数	給付額	小学生	6人	720,000円	中学生	11人	2,640,000円	高校生	9人	3,240,000円	合計	26人	6,600,000円	区分	人数	給付額	中学生	6人	1,800,000円	高校生	5人	2,500,000円	合計	11人	4,300,000円
区分	人数	給付額																																
小学生	6人	720,000円																																
中学生	11人	2,640,000円																																
高校生	9人	3,240,000円																																
合計	26人	6,600,000円																																
区分	人数	給付額																																
中学生	6人	1,800,000円																																
高校生	5人	2,500,000円																																
合計	11人	4,300,000円																																
成果に係る評価		<p>震災奨学金の給付により、対象となる全ての児童生徒に対し、修学の支援を行なうことができた。一時金は中学及び高校卒業時に給付しており、希望する進路選択の実現の支援を行なうことができた。 震災奨学金の給付により、安定した修学の機会を継続して提供することができており、今後も給付事業を行っていくことが必要である。</p>																																
(単位：円)																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	10,900,000	10,900,000			10,900,000																													

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	1 項	教育総務費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる
	7 目	東日本大震災関係費		( )		( 3 )	子どものケアの実施
実施計画掲載ページ	P206		中 事 業	震災心のサポート事業費			
事業コード	004-103-002-00526		事 業 名	心のケア充実事業（震災心のサポート事業）〔復興基金〕			
目的及び事業内容	<p>1 児童精神科医による巡回相談及び健康実態調査業務 震災により、心に深い傷を受けた園児、児童生徒等に対し、医療専門家による巡回相談や健康実態調査を行い、よりきめ細やかな心のケアを実施する。</p> <p>2 震災心の支援室業務 震災により、死亡又は行方不明となった児童生徒の御遺族に対して、相談員、臨床心理士による個別相談等の支援活動を実施する。</p>						
取 組 実 績	<p>1 児童精神科医による巡回相談及び健康実態調査業務 (1) 医療専門家による巡回相談の実施・・・震災直後から支援に入っている国立国際医療研究センター一府台病院（千葉県）の児童精神科の医師が定期的に来石し、要請に基づいて、問題を抱えた児童生徒やその保護者、教員に対する相談活動を行った。</p> <p>(2) 園児、児童生徒に対する健康実態調査の実施・・・市立幼稚園、小・中学校及び高等学校の全園児、児童生徒に対して「健康実態調査」を行い、震災後の園児、児童生徒の心身の健康状態に関するデータを集約し、その結果について各園・学校にフィードバックを行い、支援や指導の充実に役立った。</p> <p>(3) 園児、児童生徒等の心のケアに携わる者が一体となった心の支援体制の確立・・・関係機関が集まり、児童精神科の医師がスーパーバイザーとなって問題を抱える子どもたちに対するケース会議を年9回行った。</p> <p>2 震災心の支援室事務 希望による個別訪問、電話、来室相談等の実施、交流会の開催、関係機関との連絡調整、支援室だよりの発行</p>						
成 果	<p>1 児童精神科医による巡回相談及び健康実態調査業務 (1) 毎月、1名の児童精神科の医師が2～3日間石巻市に滞在し、要請のあった学校及び家庭等を訪問し、相談活動を行った。専門的な立場からアドバイスをし、支援や指導に役立てているとともに、必要な場合は、県内の病院につながるケースもある。平成28年度は、のべ24日間にわたって、61件の相談に対応した。</p> <p>(2) 児童精神科医が、平成23年度から継続して実態調査を行い、データに基づいて、支援や指導のアドバイスをを行っている。トラウマについては、平成25年度と平成26年度の間あまり変化が見られないことから、一応落ち着いたとの判断をした。フィードバックの際は、学校ごとに面談し、全体の傾向だけでなく、学校の傾向や配慮を必要とする児童生徒についてもアドバイスをし、その後の指導に生かしている。</p> <p>(3) ほぼ毎月、「石巻市子ども支援関係者会議」を開催し、関係機関が出席して問題を抱える児童生徒のケース会議を行い、支援に役立てている。 (メンバー) 園府台病院児童精神科医師、精神科医師、ソーシャルワーカー、児童相談所、虐待防止センター、健康推進課等関係課、スクールソーシャルワーカー、学校教育課、当該学校職員等</p> <p>2 震災心の支援室事務 相談員・臨床心理士による個別訪問や電話、来室によりお話しをお伺いすることや、御遺族からの要望を受けての交流会の開催や支援室だよりの発行をすることができた。</p>						
成果に係る評価	<p>1 児童精神科医による巡回相談、ケース会議及び健康実態調査業務 各学校、園では、巡回相談、ケース会議及び健康実態調査の結果を生徒指導等に生かしている。専門医の意見を得ることができるこれらの機会は児童生徒、保護者、教員にとってニーズの高いものであり、今後も事業の継続が必要である。</p> <p>2 震災心の支援室事務 御遺族に対する心の支援はまだ決して十分とは言えない状況である、御遺族ごとに支援も様々に変化しており、継続的に細やかなサポートを行うことが重要課題である。</p>						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	7,057,000		5,711,606			5,711,606	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	1 項	教育総務費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる
	7 目	東日本大震災関係費		( )		( 3 )	子どものケアの実施
実施計画掲載ページ	P207		中 事 業	防災教育充実事業費			
事業コード	004-103-002-00528		事 業 名	防災教育充実事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容	<p>地域ぐるみの防災教育の実践を通して、非常時においても地域との絆が生かされる基盤を形成し、子どもにとって安心、安全な地域環境づくりを進めるとともに、教材等の作成を通して、児童生徒が災害と向き合い、たくましく生きる災害対応力の育成を促進する。</p> <p>1 地域ぐるみの防災教育の推進 2 児童生徒の災害対応力の育成のための学校教材等の作成</p>						
取 組 実 績	<p>1 学校防災推進会議の設置と協議 有識者、学校関係者、市担当部局、関係機関担当で構成する学校防災推進会議において、市としての学校防災の今後の在り方について協議を行い、協議結果を基に具体的な事業を展開した。主な事業としては、「安全担当主幹教諭や防災主任を対象とした研修会の実施」、「学校防災フォーラムの開催」、「地域防災連絡会設置の促進」、「防災教育副読本の発行」、「学校防災マニュアルのチェックリストによる点検及び改善の指導」、「避難訓練学校訪問」、「大川小学校事故検証報告書の提言に関する取組状況調査」を行った。 また、小・中・高校生を対象にした「防災合言葉コンクール」を実施した。</p> <p>2 防災教育副読本の発行 本市の実態に即した防災教育推進のため、改訂版の防災教育副読本を市内全児童生徒に配布した。また、防災教育副読本の実践事例集も発行し、防災教育副読本「未来へつなぐ」の活用の促進を図った。</p> <p>&lt;平成29年度版発行実績&gt; (小学校)1年生 1,200冊 4年生 1,300冊 (中学校)1年生 1,400冊</p>						
成 果	<p>1 学校防災推進会議では、3つのワーキンググループごとに、具体的な事業を実践した。 「学校防災マニュアルチェックリストによる点検及び改善の指導」では、安全担当主幹教諭や防災主任のリーダーが市内の全学校園のマニュアルを点検し改善指導を行ったことで、学校防災マニュアルの充実が図られた。 「地域防災連絡会の設置促進」については、防災主任研修会等で地域防災連絡の設置を促してきたこともあり、その設置率は、平成26年度は62.5%、平成27年度は77%、平成28年度は80.3%と向上してきている。 「学校防災フォーラム」では、学校・地域・行政が連携して防災体制を構築することの重要性をパネルディスカッションを通して深めることができた。また、学校防災マニュアルのチェックリスト、石巻の防災教育副読本、東日本大震災関連の展示や復興・防災マップづくりの発表を通して「石巻スタイル」を発信することができた。 「避難訓練学校訪問」では、学校安全推進課担当職員が市内全学校園を訪問し、指導・助言を行ったことで、積極的な情報収集や迅速な避難行動等、充実した避難訓練が実施された。</p> <p>2 防災教育副読本を活用した防災教育を展開することで、今後起こりうる災害に対する知識や災害対応力が向上した。</p>						
成果に係る評価	<p>東日本大震災を教訓とした災害対応に当たっては、地域と学校の連携した取組が重要である。今後も地域防災連絡会の設置や学校と地域が共同して行う避難訓練実施について継続して呼び掛けていきたい。</p> <p>また、学校防災マニュアルは一度作成したら終わりというものではなく、常に質の高いものを作成するために、今後も学校防災マニュアルの充実を目指し、点検・改善を図っていく必要がある。</p>						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	2,449,000		1,667,805			1,667,805	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手ははぐくむまち	復興計画	( )																																						
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																																						
	1 目	学校管理費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		( )																																						
実施計画掲載ページ	P23		中 事 業	小学校管理費（教育総務課）																																									
事業コード	002-001-003-00217		事 業 名	遠距離通学支援事業（小学校）																																									
目的及び事業内容	<p>小学校の統廃合等により遠距離通学となる児童に対し、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバス等の運行</li> <li>・遠距離通学費補助金の交付</li> </ul>																																												
取組実績	<p>小学校の統廃合等により遠距離通学となる児童に対し、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施した。</p> <p>1 スクールバス等の運行</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">スクールバス等</td> <td>H27</td> <td>8校</td> <td>281人</td> <td>62,252,568 円</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>8校</td> <td>267人</td> <td>62,040,036 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">スクールボート（鮎川小学校）</td> <td>H27</td> <td>1校</td> <td>1人</td> <td>3,582,520 円</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1校</td> <td>3人</td> <td>3,852,740 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※スクールバス等対象校（H28）          稲井小学校、東浜小学校、飯野川小学校、二俣小学校、大須小学校、中津山第一小学校、桃生小学校、大原小学校</p> <p>2 遠距離通学費補助金の交付</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">遠距離通学費補助金</td> <td>H27</td> <td>2校</td> <td>45人</td> <td>1,614,060 円</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>3校</td> <td>36人</td> <td>1,848,080 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※遠距離通学補助金対象校（H28）          万石浦小学校、大谷地小学校、二俣小学校</p>								区分	年度	学校数	対象人数	事業費	スクールバス等	H27	8校	281人	62,252,568 円	H28	8校	267人	62,040,036 円	スクールボート（鮎川小学校）	H27	1校	1人	3,582,520 円	H28	1校	3人	3,852,740 円	区分	年度	学校数	対象人数	補助額	遠距離通学費補助金	H27	2校	45人	1,614,060 円	H28	3校	36人	1,848,080 円
	区分	年度	学校数	対象人数	事業費																																								
	スクールバス等	H27	8校	281人	62,252,568 円																																								
H28		8校	267人	62,040,036 円																																									
スクールボート（鮎川小学校）	H27	1校	1人	3,582,520 円																																									
	H28	1校	3人	3,852,740 円																																									
区分	年度	学校数	対象人数	補助額																																									
遠距離通学費補助金	H27	2校	45人	1,614,060 円																																									
	H28	3校	36人	1,848,080 円																																									
成 果	<p>小学校の統廃合等により通学区域の学校までの通学距離が遠距離となった児童のため、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施することにより、登下校中の安全・安心の確保が図られた。</p>																																												
成果に係る評価	<p>通学区域の学校までの通学距離が遠距離となる児童の安全・安心の確保を図るため、引き続き、地域の実情に配慮しながら適正な通学支援を実施する必要がある。</p>																																												
（単位：円）																																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																										
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																							
	70,878,000	67,740,856	6,456,872			61,283,984																																							

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手ははぐくむまち	復興計画	( )																			
	2 項	小学校費		第3節	新たな時代を創造する人材を育成する		( )																			
	1 目	学校管理費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		( )																			
実施計画掲載ページ	P34		中 事 業	小学校管理費（学校教育課）																						
事業コード	002-003-001-00234		事 業 名	小学校外国語活動指導補助員活用事業																						
目的及び事業内容	<p>小学校学習指導要領の改訂により、小学校第5学年及び第6学年に外国語活動が新設され、平成23年度から全面実施されたことにより、小学校に外国語活動指導補助員を配置し、外国語活動の充実を図るとともに、教員の指導力の向上を図る。</p>																									
取組実績	<p>小学校外国語活動指導補助員による外国語活動の授業実践          支援員は、1クラス当たり年間25時間の外国語活動の補助を行った。支援員は、担任とのチームティーチングの態勢で、さらに場合によってはALTも含めた体制で外国語活動の授業補助を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配置を希望する学校数</td> <td>30校</td> <td>29校</td> <td>28校</td> <td>26校</td> <td>27校</td> </tr> <tr> <td>配置した支援員数</td> <td>8人</td> <td>9人</td> <td>9人</td> <td>10人</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table>								主な指標項目	H24	H25	H26	H27	H28	配置を希望する学校数	30校	29校	28校	26校	27校	配置した支援員数	8人	9人	9人	10人	10人
	主な指標項目	H24	H25	H26	H27	H28																				
	配置を希望する学校数	30校	29校	28校	26校	27校																				
配置した支援員数	8人	9人	9人	10人	10人																					
成 果	<p>1 児童の興味・関心の向上          (1) 外国語が堪能な補助員による英語での指示を聞いて活動することや、一緒に会話をするにより、児童の外国語への興味・関心を高めることができた。          (外国語活動の授業が楽しいと感じる児童の割合…88.65%)          (2) 担任と補助員が英語でデモンストレーションを行うことで、会話の場面のイメージを膨らませることができ、外国語活動に意欲的に取り組ませることができた。</p> <p>2 コミュニケーション能力の向上          補助員の支援は、英語を聞くことや話すことを中心としたコミュニケーション能力を高める手段として有効であった。</p> <p>3 担任の指導力の向上          指導補助員が適切に補助を行うことにより、外国語活動を指導する担任等が安心して指導に当たることができると同時に、担任が指導法を学ぶことができ、指導力の向上につながった。</p>																									
成果に係る評価	<p>毎年、30校近くの小学校から配置要請があり、学校からのニーズが高い。支援員の英語力を生かしながら担任をサポートすることで楽しい授業を展開することができた。          平成32年度実施の次期学習指導要領から3・4学年での外国語活動、5・6学年での英語科が新設されるため、児童が英語の堪能な補助員と学習する機会を確保するには配置時間を増加させる必要がある。人材の確保と新学習指導要領に対応した配置を計画していく必要がある。</p>																									
（単位：円）																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																				
	3,682,000	3,022,374				3,022,374																				

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																															
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																															
	1 目	学校管理費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																															
実施計画掲載ページ		P 19	中 事 業		小学校保健費																																	
事業コード		002-001-002-00219 002-001-002-00221	事 業 名		健康診断・検査等実施事業（小学校） 学校医・薬剤師配置事業（小学校）																																	
目的及び事業内容		<p>学校保健安全法に基づき、各学校に学校医等を配置し、定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、児童の健康の保持増進を図り、疾病等の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校医の配置</li> <li>・学校薬剤師の配置</li> <li>・定期健康診断の実施</li> <li>・飲料水水質検査の実施</li> </ul>																																				
取組実績		<p>1 学校医の配置 小学校35校に学校医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）を委嘱し、定期健康診断や就学時健康診断の健診業務を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱した学校医の人数</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>27 人</td> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>5 人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>5 人</td> <td>歯 科 医</td> <td>29 人</td> </tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置 小学校35校に学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱した学校薬剤師の人数</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>23 人</td> </tr> </table> <p>3 定期健康診断検査項目及び対象学年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科健診</td> <td>全学年</td> <td>結核検診</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>眼科健診</td> <td>全学年</td> <td>心臓病検診</td> <td>1・4年生</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科健診</td> <td>2・4・6年生</td> <td>尿検査</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>歯科健診</td> <td>全学年</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4 飲料水水質検査の実施 学校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を実施した。</p>							内 科 医	27 人	耳 鼻 科 医	5 人	眼 科 医	5 人	歯 科 医	29 人	薬 剤 師	23 人	項目	学年	項目	学年	内科健診	全学年	結核検診	全学年	眼科健診	全学年	心臓病検診	1・4年生	耳鼻科健診	2・4・6年生	尿検査	全学年	歯科健診	全学年		
内 科 医	27 人	耳 鼻 科 医	5 人																																			
眼 科 医	5 人	歯 科 医	29 人																																			
薬 剤 師	23 人																																					
項目	学年	項目	学年																																			
内科健診	全学年	結核検診	全学年																																			
眼科健診	全学年	心臓病検診	1・4年生																																			
耳鼻科健診	2・4・6年生	尿検査	全学年																																			
歯科健診	全学年																																					
成 果		<p>各健康診断・検査を行い、保護者、学校に対して的確な指導と助言が行われ、児童の健全な育成や健康の保持増進が図られた。 また、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p> <p>1 定期健康診断      小学生      6,782人 心臓病検診      1年生      1,038人      4年生      1,127人</p> <p>2 飲料水水質検査      小学校      35校</p>																																				
成果に係る評価		<p>学校に学校医等を配置し、定期健康診断、健康相談及び衛生点検等を実施することは、学校保健安全法で定められており、児童に対して的確な予防指導を行っていく必要がある。 今後も学校医、学校、保護者等が連携し、児童の健全育成のため事業を実施する必要がある。</p>																																				
(単位：円)																																						
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
		38,626,000	37,142,450	448,000			36,694,450																															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	1 目	学校管理費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )	
実施計画掲載ページ		P 19	中 事 業		小学校保健費			
事業コード		002-001-002-00220	事 業 名		就学時健康診断実施事業			
目的及び事業内容		<p>学校保健安全法に基づき、就学予定児に対して、あらかじめ健康診断を行うことにより、健康状況を把握し、必要な助言・指導を行うことを目的としている。</p>						
取組実績		<p>1 就学予定児の健康診断検査項目 内科健診、眼科健診、耳鼻科健診、歯科健診、視力検査、聴力検査を実施した。</p>						
成 果		<p>就学予定児の保護者に対し、必要な助言・指導を行うことにより、小学校等への円滑な就学が図られた。</p> <p>1 就学時健康診断      1,030人</p>						
成果に係る評価		<p>就学予定児の健康状態を把握し、保護者に対して必要な助言・指導を行い、次年度の小学校入学に備えるため、今後も継続して実施する必要がある。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
		4,002,000	3,708,420				3,708,420	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )	
実施計画掲載ページ	P25		中 事 業	小学校教育用コンピューター関係費				
事業コード	002-001-003-00240		事 業 名	情報教育環境整備事業（小学校）				
目的及び事業内容	国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。市内小学校の教育用コンピューターや周辺機器の更新を図る。							
取 組 実 績	小学校教育用コンピューター整備状況							
	整備年度	整備内容						
		PC室用コンピューター	電子黒板	タブレット（学習用）				
H22	河南地区 6校： 127台	河南地区 6校： 12台	—					
	牡鹿地区 4校： 42台	牡鹿地区 4校： 8台						
H25	河北地区 1校： 7台	河北地区 1校： 1台	河北地区 1校： 6台					
	雄勝地区 2校： 5台	雄勝地区 2校： 3台	雄勝地区 2校： 12台					
	北上地区 1校： 15台	北上地区 1校： 1台	北上地区 1校： 6台					
H26	石巻地区 8校： 152台	石巻地区 8校： 25台	石巻地区 8校： 52台					
H27	石巻地区 8校： 168台	石巻地区 8校： 40台	石巻地区 8校： 56台					
H28	河北地区 3校： 48台	河北地区 3校： 9台	河北地区 3校： 21台					
	桃生地区 3校： 43台	桃生地区 3校： 9台	桃生地区 3校： 21台					
※ 平成23、24年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ。								
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童がICTの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。</li> <li>情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。</li> <li>各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。</li> <li>平成25年度より教育用コンピューターの更新に合わせ、タブレットを整備している。平成28年度は42台整備した。</li> </ul>							
成果に係る評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校の教育用コンピューターについては、文科省の整備基準（児童3.6人に1台、普通教室・特別教室に校内LANの設置）を定めているが、石巻市の現状に即した有効的な整備内容を考察しながら、今後も継続して整備更新していきたい。</li> <li>デジタル教科書や電子黒板等の最新のICT機器を整備したことに伴い、より多くの教科で利用する機会が増え、児童にわかりやすい授業が展開できるようになったが、ICT機器の活用には慣れない教員がいるため、校内研修などを実施して教員全員の活用能力向上を図っていく必要がある。また、よりICT機器を活用しやすい環境にするため、電子黒板の整備台数を増やすなど整備内容の見直しを図っていきたい。</li> </ul>							
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	85,196,000	79,404,606				79,404,606		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )			
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )			
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境を整える		( )			
実施計画掲載ページ	P24		中 事 業	小学校教育振興援助費						
事業コード	002-001-003-00222		事 業 名	就学援助・特別支援教育就学奨励事業（小学校）						
目的及び事業内容	経済的な事情により就学が困難な児童の保護者又は特別支援学級へ就学する児童の保護者の経済的な負担を軽減し、児童の就学の機会を確保する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>就学援助費の助成</li> <li>特別支援教育就学奨励費の助成</li> </ul>									
取 組 実 績	1 就学援助費									
	認定者数 661名 / 児童数 6,783名 (9.74%)	学用品費	8,614,060 円	校外活動費（泊無し）	1,625,926 円	校外活動費（泊付き）	335,643 円	通学費	6,830 円	
	新入学用品費	1,862,770 円	修学旅行費	2,647,827 円	給食費	27,845,970 円	医療費	507,910 円	計	43,446,936 円
取 組 実 績	2 特別支援教育就学奨励費									
	認定者数 95名 / 児童数 6,783名 (1.40%)	学用品費	256,485 円	校外活動費（泊無し）	30,270 円	校外活動費（泊付き）	12,670 円	通学費	317,977 円	
	新入学用品費	71,645 円	修学旅行費	65,637 円	給食費	937,199 円	交流学習交通費	6,965 円	ことばの教室	142,005 円
	計	1,840,853 円								
成 果	経済的な事情により就学が困難な児童の保護者又は特別支援学級へ就学する児童の保護者に対し助成を行うことにより、経済的な負担を軽減することができた。									
成果に係る評価	経済的な事情により就学が困難な児童や特別支援学級へ就学する児童の保護者に対し、経済的な援助を行うことは、すべての児童の就学の機会を確保するために重要なことであり、今後も法令に則り必要な支援を継続していく必要がある。									
（単位：円）										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源				
	49,905,000	45,287,789	1,217,000			44,070,789				

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																																										
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																																										
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		( )																																										
実施計画掲載ページ	P24		中 事業	小学校図書整備事業費																																													
事業コード	002-001-003-00239		事業名	学校図書整備事業（小学校）																																													
目的及び事業内容	<p>全国的な傾向である小中学生の読書離れが進む中、文部科学省では子どもの読書活動の推進や学校教育における言語力の涵養に資するためには、学校図書館の充実が必要であるとの認識に基づき、平成24年度から平成28年度までの5年間を新たな「学校図書館図書整備5カ年計画」として策定し、整備を推進している。本市も学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童生徒の読書活動を一層推進することにより豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るために、市内小中学校の学校図書を整備するもの。</p>																																																
取組実績	<p>平成29年度末に全ての小学校において、学校図書館図書標準に対する充足率が100%となることを目標とし、低充足率の学校に予算を重点配分し充足率の向上に努めた。平成28年度においては、前年度と比較して整備冊数は減となったが、児童の読書活動向上に役立つ図書を購入するなど質の改善に努めた。</p>																																																
	<p>&lt;小学校図書の整備冊数&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17,276冊</td> <td>24,512冊</td> <td>25,027冊</td> <td>19,974冊</td> <td>15,692冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 寄贈含む。</p>								H24	H25	H26	H27	H28	17,276冊	24,512冊	25,027冊	19,974冊	15,692冊																															
H24	H25	H26	H27	H28																																													
17,276冊	24,512冊	25,027冊	19,974冊	15,692冊																																													
成果	<p>図書充足率の低い学校に対し、予算を重点配分するなど学校図書の整備充実に向けたことにより、充足率が向上した。また、学習活動において、積極的に図書を活用することにより、児童自らが進んで言葉遊び、感性・表現力・創造力等の生きる力の育成に寄与することができた。</p>																																																
	<p>&lt;小学校図書充足率達成状況&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>達成率</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%以上（A）</td> <td>9校</td> <td>12校</td> <td>11校</td> <td>13校</td> <td>16校</td> </tr> <tr> <td>75%以上-100%未満</td> <td>10校</td> <td>14校</td> <td>18校</td> <td>17校</td> <td>17校</td> </tr> <tr> <td>50%以上-75%未満</td> <td>18校</td> <td>11校</td> <td>8校</td> <td>5校</td> <td>2校</td> </tr> <tr> <td>50%未満</td> <td>5校</td> <td>2校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>合計（B）</td> <td>42校</td> <td>39校</td> <td>37校</td> <td>35校</td> <td>35校</td> </tr> <tr> <td>100%以上達成校の割合（A/B）</td> <td>21.43%</td> <td>30.77%</td> <td>29.73%</td> <td>37.14%</td> <td>45.71%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※いずれも各年度末時点</p>								達成率	H24	H25	H26	H27	H28	100%以上（A）	9校	12校	11校	13校	16校	75%以上-100%未満	10校	14校	18校	17校	17校	50%以上-75%未満	18校	11校	8校	5校	2校	50%未満	5校	2校	0校	0校	0校	合計（B）	42校	39校	37校	35校	35校	100%以上達成校の割合（A/B）	21.43%	30.77%	29.73%	37.14%
達成率	H24	H25	H26	H27	H28																																												
100%以上（A）	9校	12校	11校	13校	16校																																												
75%以上-100%未満	10校	14校	18校	17校	17校																																												
50%以上-75%未満	18校	11校	8校	5校	2校																																												
50%未満	5校	2校	0校	0校	0校																																												
合計（B）	42校	39校	37校	35校	35校																																												
100%以上達成校の割合（A/B）	21.43%	30.77%	29.73%	37.14%	45.71%																																												
成果に係る評価	<p>充足率が100%を達成した学校数は増え、75%未満の学校も減少するなど全体的に図書の整備が進んだ。寄贈数の減や購入単価の増で整備冊数は減となったが、児童の好奇心や図書にふれる機会を増やせるような質の高い図書を整備できた。今後も、充足率を注視しながら、老朽化した図書や古い内容の本を継続的に更新し、学校図書館の充実を更に図っていく必要がある。</p>																																																
予算の執行状況	(単位：円)																																																
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																											
	26,000,000	25,863,181			22,000,000	3,863,181																																											

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																																																																																																																
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																																																																																																																
	3 目	学校建設費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		( )																																																																																																																
実施計画掲載ページ	P25		中 事業	小学校施設老朽化対策事業費																																																																																																																			
事業コード	002-001-003-01027		事業名	小学校校舎老朽化対策事業																																																																																																																			
目的及び事業内容	<p>老朽化が著しく進行している学校施設について、屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施し、施設の延命化を図り、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備を図る。</p>																																																																																																																						
取組実績	<p>平成28年度 工事：山下小学校(繰越事業) 平成28年5月に工事完了。 設計：向陽小学校、須江小学校、蛇田小学校、万石浦小学校 年度内に業務完了。 ※設計を実施した4校ともに、補助金交付決定等の都合上、工事費等を補正予算措置したが、年度内に工事完了せず、次年度に繰越を行った。</p> <p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">内訳</th> <th colspan="2">H28予算額</th> <th colspan="2">繰越分</th> <th colspan="2">現年度分</th> <th colspan="2">H28事業費</th> <th colspan="2">繰越分</th> <th colspan="2">現年度分</th> <th>H29繰越額</th> </tr> <tr> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>100,000</td> <td></td> <td></td> <td>100,000</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100,000</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>4,000,000</td> <td></td> <td></td> <td>4,000,000</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4,000,000</td> </tr> <tr> <td>設計</td> <td>27,900,000</td> <td></td> <td></td> <td>27,900,000</td> <td></td> <td></td> <td>27,778,680</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>27,778,680</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>38,000,000</td> <td></td> <td></td> <td>38,000,000</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>38,000,000</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>1,039,113,000</td> <td>66,713,000</td> <td>972,400,000</td> <td>392,475,254</td> <td>61,632,400</td> <td>330,842,854</td> <td>641,557,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,109,113,000</td> <td>66,713,000</td> <td>1,042,400,000</td> <td>420,253,934</td> <td>61,632,400</td> <td>358,621,534</td> <td>683,657,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								内訳	H28予算額		繰越分		現年度分		H28事業費		繰越分		現年度分		H29繰越額	繰越分	現年度分		消耗品費	100,000			100,000			0						100,000	手数料	4,000,000			4,000,000			0						4,000,000	設計	27,900,000			27,900,000			27,778,680				27,778,680			監理	38,000,000			38,000,000			0						38,000,000	工事	1,039,113,000	66,713,000	972,400,000	392,475,254	61,632,400	330,842,854	641,557,000							計	1,109,113,000	66,713,000	1,042,400,000	420,253,934	61,632,400	358,621,534	683,657,000																
	内訳	H28予算額		繰越分		現年度分		H28事業費		繰越分		現年度分		H29繰越額																																																																																																									
繰越分		現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分																																																																																																											
消耗品費	100,000			100,000			0						100,000																																																																																																										
手数料	4,000,000			4,000,000			0						4,000,000																																																																																																										
設計	27,900,000			27,900,000			27,778,680				27,778,680																																																																																																												
監理	38,000,000			38,000,000			0						38,000,000																																																																																																										
工事	1,039,113,000	66,713,000	972,400,000	392,475,254	61,632,400	330,842,854	641,557,000																																																																																																																
計	1,109,113,000	66,713,000	1,042,400,000	420,253,934	61,632,400	358,621,534	683,657,000																																																																																																																
成果	<p>山下小学校の工事は、平成28年5月に工事が完了した。向陽小学校、須江小学校の2校については、当初の計画通り設計業務は完了したが、補助金交付決定の関係から年度内の工事完了はできなかったため、平成29年度中の工事完了を目指す。蛇田小学校、万石浦小学校の2校についても、年度途中の補助金交付決定の関係で設計業務は計画通り完了したものの、工事は年度内に完了できなかったため、当初の計画通り平成29年度中に完了を目指す。</p>																																																																																																																						
成果に係る評価	<p>繰越事業であった山下小学校は平成28年5月に工事完了し、施設の延命化を図るとともに児童の学習環境の改善が図られた。また、平成28年度中に設計業務を終えた他の4校に関しては、平成29年度中の工事完了に向けて関係各所と調整を図りながら事業に取り組んでいく。</p>																																																																																																																						
予算の執行状況	(単位：円)																																																																																																																						
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																	
	425,456,000	420,253,934			399,100,000	21,153,934																																																																																																																	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	( )																	
	2 項	小学校費		第 節			( )																	
	3 目	学校建設費		( )			( )																	
実施計画掲載ページ			中 事 業	石巻小学校水泳プール改築事業費																				
事業コード			事 業 名	石巻小学校プール改築事業																				
目的及び事業内容		本校の水泳プールは、設置後40年以上経過し、施設の老朽化や給排水設備の腐食化が進んでいる。応急的な修繕やメンテナンスによる維持管理が困難な状況になっているため、プール施設全体の改築工事を実施する。																						
取組実績		<p>事業経過 平成26年度 地質調査・実施設計 平成27～28年度 建設工事・監理業務（明許繰越） 工事は平成28年5月に完了し、当初の計画通り平成28年度のプール授業から供用開始した。</p> <p style="text-align: center;">（単位：円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>H28予算額</th> <th>H28事業費</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事監理委託</td> <td>16,500,000</td> <td>2,376,000</td> <td>繰越明許</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>125,270,000</td> <td>105,480,960</td> <td>繰越明許</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>141,770,000</td> <td>107,856,960</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							内訳	H28予算額	H28事業費	備考	工事監理委託	16,500,000	2,376,000	繰越明許	工事請負費	125,270,000	105,480,960	繰越明許	計	141,770,000	107,856,960	
内訳	H28予算額	H28事業費	備考																					
工事監理委託	16,500,000	2,376,000	繰越明許																					
工事請負費	125,270,000	105,480,960	繰越明許																					
計	141,770,000	107,856,960																						
成 果		平成27年度に、建設工事及び監理業務を発注し、平成28年度に事業完了した。工事は平成28年5月に完了し、当初の計画通り平成28年度のプール授業から供用を開始した。																						
成果に係る評価		老朽化した施設の整備を実施し、児童の教育環境の改善が図られた。また、予算の繰越を行ったものの、当初の計画通り、平成28年度プール授業からの供用を開始した。引き続き、児童生徒等の安全を守り、安心して豊かな教育環境を整備するために、計画的な施設整備を推進していく。																						
（単位：円）																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	141,770,000	107,856,960	20,073,000	83,400,000			4,383,960																	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																						
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																						
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )																						
実施計画掲載ページ		P29	中 事 業	広瀬小学校水泳プール改築事業費																									
事業コード		002-001-003-00870	事 業 名	広瀬小学校プール改築事業																									
目的及び事業内容		本校の水泳プールは、設置後40年以上経過し、施設の老朽化や給排水設備の腐食化が進んでいる。応急的な修繕やメンテナンスによる維持管理が困難な状況になっているため、プール施設全体の改築工事を実施する。																											
取組実績		<p>平成27年度 地質調査・実施設計 平成28年度 建設工事・監理業務</p> <p>平成28年度は、計画どおり、建設工事及び工事監理業務を実施した。</p> <p style="text-align: center;">（単位：円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>H28予算額</th> <th>H28事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>50,000</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td>1,000,000</td> <td>960,120</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>1,000,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>4,500,000</td> <td>4,482,000</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>171,400,000</td> <td>171,327,960</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>177,950,000</td> <td>176,820,080</td> </tr> </tbody> </table>							内訳	H28予算額	H28事業費	消耗品費	50,000	50,000	修繕料	1,000,000	960,120	役務費	1,000,000	0	委託料	4,500,000	4,482,000	工事請負費	171,400,000	171,327,960	計	177,950,000	176,820,080
内訳	H28予算額	H28事業費																											
消耗品費	50,000	50,000																											
修繕料	1,000,000	960,120																											
役務費	1,000,000	0																											
委託料	4,500,000	4,482,000																											
工事請負費	171,400,000	171,327,960																											
計	177,950,000	176,820,080																											
成 果		平成28年度は、建設工事及び工事監理業務を実施し、計画通り年度内に工事が完了した。また、当初の計画通り、平成29年度プール授業からの供用開始に向けた整備ができた。																											
成果に係る評価		老朽化した施設の整備を実施し、児童の教育環境の改善が図られた。引き続き、児童生徒等の安全を守り、安心して豊かな教育環境を提供するために、計画的な施設整備を推進していく。																											
（単位：円）																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																							
	177,950,000	176,820,080	20,515,000	146,200,000			10,105,080																						

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	( )																													
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																													
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )																													
実施計画掲載ページ		P 28	中 事 業	鹿又小学校屋内運動場改築事業費																																
事業コード		002-001-003-00246	事 業 名	鹿又小学校屋内運動場改築事業																																
目的及び事業内容		鹿又小学校の屋内運動場は、経年劣化により老朽化が著しく、施設が狭隘であるため、平成28年度に地質調査、造成設計、造成工事、改築設計を実施し、平成29年度より改築工事に着手する。																																		
取 組 実 績		<p>全体事業：平成26年度 耐力度調査（H26完了）  平成27年度 登記事務  平成28年度 地質調査、造成設計、造成工事、改築設計  平成29年度から 改築工事</p> <p>(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>H28予算額</th> <th>H28事業費</th> <th>H29繰越額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>50,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>236,000</td> <td>236,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>57,764,000</td> <td>39,342,240</td> <td>18,421,000</td> </tr> <tr> <td>造成工事</td> <td>73,000,000</td> <td>28,710,000</td> <td>44,290,000</td> </tr> <tr> <td>改築工事</td> <td>220,500,000</td> <td></td> <td>220,500,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>351,550,000</td> <td>68,288,240</td> <td>283,211,000</td> </tr> </tbody> </table>							内訳	H28予算額	H28事業費	H29繰越額	消耗品費	50,000			手数料	236,000	236,000		委託料	57,764,000	39,342,240	18,421,000	造成工事	73,000,000	28,710,000	44,290,000	改築工事	220,500,000		220,500,000	計	351,550,000	68,288,240	283,211,000
内訳	H28予算額	H28事業費	H29繰越額																																	
消耗品費	50,000																																			
手数料	236,000	236,000																																		
委託料	57,764,000	39,342,240	18,421,000																																	
造成工事	73,000,000	28,710,000	44,290,000																																	
改築工事	220,500,000		220,500,000																																	
計	351,550,000	68,288,240	283,211,000																																	
成 果		地質調査、造成設計、改築設計は当初の計画通り事業完了した。造成工事は、平成29年7月に工事完了予定である。また、補助金交付決定の関係から、改築工事は平成29年度中に着手するよう関係課と調整を図っていく。																																		
成果に係る評価		造成工事は、平成29年7月に事業完了する予定であり、改築事業のスケジュールに変更は生じないため、おおむねスケジュール通りに工事着手できる見込みである。引き続き、関係各所と調整を図りながら、児童の安全を守り、安心して豊かな教育環境を提供するために、計画的な施設整備を推進していく。																																		
(単位：円)																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
	68,339,000	68,288,240		58,000,000		10,288,240																														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																		
	2 項	小学校費		第 節			( 1 )	未来の人を育てる																																		
	4 目	東日本大震災関係費		( )			( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																																		
実施計画掲載ページ		P 197	中 事 業	被災児童通学支援事業費																																						
事業コード		004-101-001-00480	事 業 名	被災児童通学支援事業（小学校）																																						
目的及び事業内容		東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった児童、学区外の仮設住宅等に入居し通学区域の学校まで遠距離通学となった児童及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する児童に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。 ・代替え校スクールバス等の運行 ・仮設住宅スクールバス等の運行 ・通学路安全対策スクールバス等の運行																																								
取 組 実 績		<p>東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった児童、学区外の仮設住宅等に入居し通学区域の学校まで遠距離通学となった児童及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する児童に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施した。</p> <p>(支援実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替え校スクールバス等</td> <td>3 校</td> <td>84 人</td> <td>39,352,250 円</td> </tr> <tr> <td>仮設住宅スクールバス等</td> <td>11 校</td> <td>140 人</td> <td>95,183,455 円</td> </tr> <tr> <td>通学路安全対策バス等</td> <td>2 校</td> <td>60 人</td> <td>19,042,060 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>—</td> <td>284 人</td> <td>153,577,765 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(支援状況)</p> <p>代替え校スクールバス等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>状 況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大川小学校</td> <td>仮設校舎（二俣小学校）へスクールバス運行</td> </tr> <tr> <td>雄勝小学校</td> <td>仮設校舎（宮城県石巻北高等学校飯野川校）へスクールタクシー運行</td> </tr> <tr> <td>北上小学校</td> <td>旧相川・吉浜小学校の学区の児童を北上小学校へスクールバス運行</td> </tr> </tbody> </table> <p>通学路安全対策バス等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>状 況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>湊小学校</td> <td>通学路安全対策のためスクールバス運行</td> </tr> <tr> <td>万石浦小学校</td> <td>通学路安全対策（祝田地区）のためスクールタクシー運行</td> </tr> </tbody> </table> <p>※仮設住宅スクールバス等利用児童在籍校（H28）  石巻小学校、湊小学校、釜小学校、蛇田小学校、渡波小学校、稲井小学校、開北小学校、大街道小学校、鹿妻小学校、雄勝小学校、北上小学校</p>							区分	学校数	対象人数	金額	代替え校スクールバス等	3 校	84 人	39,352,250 円	仮設住宅スクールバス等	11 校	140 人	95,183,455 円	通学路安全対策バス等	2 校	60 人	19,042,060 円	計	—	284 人	153,577,765 円	学校名	状 況	大川小学校	仮設校舎（二俣小学校）へスクールバス運行	雄勝小学校	仮設校舎（宮城県石巻北高等学校飯野川校）へスクールタクシー運行	北上小学校	旧相川・吉浜小学校の学区の児童を北上小学校へスクールバス運行	学校名	状 況	湊小学校	通学路安全対策のためスクールバス運行	万石浦小学校	通学路安全対策（祝田地区）のためスクールタクシー運行
区分	学校数	対象人数	金額																																							
代替え校スクールバス等	3 校	84 人	39,352,250 円																																							
仮設住宅スクールバス等	11 校	140 人	95,183,455 円																																							
通学路安全対策バス等	2 校	60 人	19,042,060 円																																							
計	—	284 人	153,577,765 円																																							
学校名	状 況																																									
大川小学校	仮設校舎（二俣小学校）へスクールバス運行																																									
雄勝小学校	仮設校舎（宮城県石巻北高等学校飯野川校）へスクールタクシー運行																																									
北上小学校	旧相川・吉浜小学校の学区の児童を北上小学校へスクールバス運行																																									
学校名	状 況																																									
湊小学校	通学路安全対策のためスクールバス運行																																									
万石浦小学校	通学路安全対策（祝田地区）のためスクールタクシー運行																																									
成 果		東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった児童、学区外の仮設住宅等に入居し通学区域の学校まで遠距離通学となった児童及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する児童に対し、スクールバス等の運行による通学支援により、安全かつ安心して通学できる環境を提供することができた。																																								
成果に係る評価		東日本大震災により通学支援が必要となった児童の安全・安心を図るために継続が求められる事業である。引き続き、学校施設の復旧や被災者の再建状況等を踏まえながら事業を実施する必要がある。																																								
(単位：円)																																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																				
	165,760,000	153,577,765	136,108,766			17,468,999																																				

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																						
	2 項	小学校費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる																						
	4 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																						
実施計画掲載ページ		P197	中 事 業		被災児童就学支援事業費																								
事業コード		004-101-001-00481	事 業 名		被災児童就学支援事業（小学校）																								
目的及び事業内容		<p>東日本大震災により被災し、就学困難となった児童の保護者に対し、就学援助費の助成を行うことにより、児童の就学の機会を確保する。  （支給対象者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住居の被害状況が半壊以上の判定を受けた世帯</li> <li>・世帯収入が著しく減少した世帯</li> <li>・原子力発電所の事故により避難してきた世帯</li> </ul>																											
取組実績		<table border="1"> <tr> <td colspan="2">1 就学援助費</td> </tr> <tr> <td colspan="2">認定者数 1,939名 / 児童数 6,783名 (28.59%)</td> </tr> <tr> <td>学用品費</td> <td>25,715,205 円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（泊無し）</td> <td>5,176,542 円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（泊付き）</td> <td>1,024,543 円</td> </tr> <tr> <td>通学費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>新入学用品費</td> <td>6,916,433 円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>5,281,260 円</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>83,128,381 円</td> </tr> <tr> <td>医療費</td> <td>315,390 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>127,557,754 円</td> </tr> </table>						1 就学援助費		認定者数 1,939名 / 児童数 6,783名 (28.59%)		学用品費	25,715,205 円	校外活動費（泊無し）	5,176,542 円	校外活動費（泊付き）	1,024,543 円	通学費	0 円	新入学用品費	6,916,433 円	修学旅行費	5,281,260 円	給食費	83,128,381 円	医療費	315,390 円	計	127,557,754 円
1 就学援助費																													
認定者数 1,939名 / 児童数 6,783名 (28.59%)																													
学用品費	25,715,205 円																												
校外活動費（泊無し）	5,176,542 円																												
校外活動費（泊付き）	1,024,543 円																												
通学費	0 円																												
新入学用品費	6,916,433 円																												
修学旅行費	5,281,260 円																												
給食費	83,128,381 円																												
医療費	315,390 円																												
計	127,557,754 円																												
成 果		<p>東日本大震災により被災し、就学が困難となった児童の保護者に対して就学援助費を支給することにより、経済的な負担を軽減することができた。</p>																											
成果に係る評価		<p>東日本大震災により被災し、就学が困難な児童の就学機会を確保するために、今後も継続した支援が必要である。  なお、被災者の再建状況を踏まえ、受給者の認定基準について検討する必要がある。</p>																											
（単位：円）																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																							
	134,193,000	127,557,754	127,557,754																										

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																			
	2 3 項	小学校費 中学校費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる																																			
	4 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																																			
実施計画掲載ページ		P200	中 事 業		小学校太陽光発電設備整備事業費 中学校太陽光発電設備整備事業費																																					
事業コード		004-101-001-00478	事 業 名		学校施設太陽光発電設備整備事業																																					
目的及び事業内容		<p>指定避難場所となる学校施設において太陽光発電設備の整備を行い、非常時における電源を確保する。</p>																																								
取組実績		<p>工事実績（中学校2校）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北上中学校</li> <li>・牡鹿中学校</li> </ul> <p>設計実績（小学校4校、中学校1校）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蛇田小学校</li> <li>・貞山小学校</li> <li>・開北小学校</li> <li>・大街道小学校</li> <li>・桃生中学校</li> </ul>																																								
成 果		<p>学校施設は指定避難場所に指定されており、災害発生時においては、重要な役割を担っていることから、本事業により防災機能の強化が図られた。</p> <p>平成28年度は2校の整備を行い、平成28年度末では併せて31校整備された。</p> <p>太陽光発電設備整備状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>1 校</td> <td>3 校</td> <td>4 校</td> <td>9 校</td> <td></td> <td>17 校</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td></td> <td>1 校</td> <td>3 校</td> <td>7 校</td> <td>2 校</td> <td>13 校</td> </tr> <tr> <td>高等学校</td> <td></td> <td></td> <td>1 校</td> <td></td> <td></td> <td>1 校</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1 校</td> <td>4 校</td> <td>8 校</td> <td>16 校</td> <td>2 校</td> <td>31 校</td> </tr> </tbody> </table>							H24	H25	H26	H27	H28	合 計	小学校	1 校	3 校	4 校	9 校		17 校	中学校		1 校	3 校	7 校	2 校	13 校	高等学校			1 校			1 校	合 計	1 校	4 校	8 校	16 校	2 校	31 校
	H24	H25	H26	H27	H28	合 計																																				
小学校	1 校	3 校	4 校	9 校		17 校																																				
中学校		1 校	3 校	7 校	2 校	13 校																																				
高等学校			1 校			1 校																																				
合 計	1 校	4 校	8 校	16 校	2 校	31 校																																				
成果に係る評価		<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、また、地域住民にとっても身近な公共施設であるとともに災害発生時の避難場所として重要な役割を担っている。  災害による停電時において、自立的な電力の確保が図られ照明灯等の使用が可能であり、円滑に避難所が運営される。  「公共施設における防災機能等の強化に関する基本方針」に基づき、防災機能の強化を推進するため、事業を継続する必要がある。</p>																																								
（単位：円）																																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																				
	96,835,744	96,098,400		76,900,000		19,198,400																																				

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる	
	2 項	小学校費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる	
	3 項	中学校費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興	
	4 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興	
実施計画掲載ページ		P200	中 事 業		雄勝地区小学校統合移転新築事業費 雄勝地区中学校統合移転新築事業費			
事業コード		004-101-001-00894	事 業 名		雄勝地区統合小・中学校移転新築事業〔復興交付金〕			
目的及び事業内容		東日本大震災により被災した雄勝小学校、船越小学校及び雄勝中学校の移転新築を実施する。 なお、船越小学校は平成25年4月に雄勝小学校へ統合済み。 また、大須小学校と大須中学校は、併設校開校時にそれぞれ統合する。 ・復興交付金事業：県道側溝改修、道路照明、散策路、植栽、太陽光発電設備等						
取 組 実 績		平成25年度 ・雄勝地区統合小・中学校建設基本構想検討委員会を開催し、基本構想を策定。  平成26年度 ・県道側溝改修工事基本実施設計 ・県道側溝改修工事及び工事監理  平成27年度 ・土木外構工事実施設計（散策路、植栽） ・県道側溝改修工事及び工事監理  平成28年度 ・土木外構工事及び工事監理						
成 果		土木外構工事を発注し、平成29年度開校に向けて事業の進捗が図られた。						
成果に係る評価		平成29年度開校に向けて他の工事と調整・連携を図りながら事業の推進を図る必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	39,549,967		28,625,092				18,070,000	10,555,092

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																																																																								
	2 項	小学校費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる																																																																																								
	3 項	中学校費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																																																																																								
	4 目	東日本震災関係費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																																																																																								
実施計画掲載ページ		P200	中 事 業		蛇田小学校屋内運動場改築事業費																																																																																										
事業コード		004-101-001-00987	事 業 名		蛇田小学校屋内運動場改築事業〔復興基金〕																																																																																										
目的及び事業内容		蛇田小学校の屋内運動場は老朽化が著しく進行していることから、平成25年度に耐力度調査を実施した結果、倒壊の恐れのある危険建物であるとの調査内容であったため改築を行うものである。																																																																																													
取 組 実 績		全体事業：平成25年度 耐力度調査 平成26年度 地質調査（H26完了）実施設計（H26→H27繰越明許・完了） 平成27・28年度 建設工事・監理（継続事業） 平成28年度 既存屋内運動場解体工事（H28→H29繰越明許） <div style="text-align: right;">(単位：円)</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>内 訳</th> <th>H28予算額</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>H28事業費</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>H29繰越額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>50,000</td> <td></td> <td>50,000</td> <td>50,000</td> <td></td> <td>50,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>500,000</td> <td></td> <td>500,000</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td>500,000</td> </tr> <tr> <td>建設監理</td> <td>10,287,000</td> <td>6,960,000</td> <td>3,327,000</td> <td>4,752,000</td> <td>1,425,000</td> <td>3,327,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>建設工事</td> <td>835,532,000</td> <td>166,290,000</td> <td>669,242,000</td> <td>783,887,880</td> <td>114,646,440</td> <td>669,241,440</td> <td></td> </tr> <tr> <td>解体設計</td> <td>1,100,000</td> <td></td> <td>1,100,000</td> <td>1,026,000</td> <td></td> <td>1,026,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>解体監理</td> <td>2,000,000</td> <td></td> <td>2,000,000</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td>2,000,000</td> </tr> <tr> <td>解体工事</td> <td>31,000,000</td> <td></td> <td>31,000,000</td> <td>13,817,146</td> <td></td> <td>13,817,146</td> <td>17,182,000</td> </tr> <tr> <td>備品購入</td> <td>9,000,000</td> <td></td> <td>9,000,000</td> <td>8,993,439</td> <td></td> <td>8,993,439</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補償金</td> <td>926,000</td> <td></td> <td>926,000</td> <td>925,100</td> <td></td> <td>925,100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>890,395,000</td> <td>173,250,000</td> <td>717,145,000</td> <td>813,451,565</td> <td>116,071,440</td> <td>697,380,125</td> <td>19,682,000</td> </tr> </tbody> </table>						内 訳	H28予算額	繰越分	現年度分	H28事業費	繰越分	現年度分	H29繰越額	消耗品費	50,000		50,000	50,000		50,000		手数料	500,000		500,000	0			500,000	建設監理	10,287,000	6,960,000	3,327,000	4,752,000	1,425,000	3,327,000		建設工事	835,532,000	166,290,000	669,242,000	783,887,880	114,646,440	669,241,440		解体設計	1,100,000		1,100,000	1,026,000		1,026,000		解体監理	2,000,000		2,000,000	0			2,000,000	解体工事	31,000,000		31,000,000	13,817,146		13,817,146	17,182,000	備品購入	9,000,000		9,000,000	8,993,439		8,993,439		補償金	926,000		926,000	925,100		925,100		計	890,395,000	173,250,000	717,145,000	813,451,565	116,071,440	697,380,125	19,682,000
内 訳	H28予算額	繰越分	現年度分	H28事業費	繰越分	現年度分	H29繰越額																																																																																								
消耗品費	50,000		50,000	50,000		50,000																																																																																									
手数料	500,000		500,000	0			500,000																																																																																								
建設監理	10,287,000	6,960,000	3,327,000	4,752,000	1,425,000	3,327,000																																																																																									
建設工事	835,532,000	166,290,000	669,242,000	783,887,880	114,646,440	669,241,440																																																																																									
解体設計	1,100,000		1,100,000	1,026,000		1,026,000																																																																																									
解体監理	2,000,000		2,000,000	0			2,000,000																																																																																								
解体工事	31,000,000		31,000,000	13,817,146		13,817,146	17,182,000																																																																																								
備品購入	9,000,000		9,000,000	8,993,439		8,993,439																																																																																									
補償金	926,000		926,000	925,100		925,100																																																																																									
計	890,395,000	173,250,000	717,145,000	813,451,565	116,071,440	697,380,125	19,682,000																																																																																								
成 果		建設工事は、当初の計画通り平成29年3月に完了し、平成28年度卒業式から供用を開始したが、旧屋内運動場の解体工事は平成29年度実施となった。																																																																																													
成果に係る評価		老朽化した施設の整備を実施し、児童の教育環境の改善が図られた。また、当初の計画通り平成28年度卒業式から供用を開始した。 旧屋内運動場の解体工事は、平成29年度へ繰越となったことから、引き続き児童生徒等の安全を守り、安心して豊かな教育環境を提供するために、計画的な施設整備を推進していく。																																																																																													
(単位：円)																																																																																															
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																																																										
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																							
	870,713,000		813,451,565		184,526,000	587,900,000	8,993,439	32,032,126																																																																																							

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )															
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )															
	1 目	学校管理費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )															
実施計画掲載ページ	P 23		中 事 業	中学校管理費（教育総務課）																		
事業コード	002-001-003-00217		事 業 名	遠距離通学支援事業（中学校）																		
目的及び事業内容	<p>中学校の統廃合等により遠距離通学となる生徒に対し、スクールバス等を運行することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバス等の運行</li> </ul>																					
取組実績	<p>中学校の統廃合等により遠距離通学となる生徒に対し、スクールバス等の運行を実施した。</p> <p>スクールバス等の運行</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">スクールバス等</td> <td>H27</td> <td>3校</td> <td>70人</td> <td>41,340,907 円</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>3校</td> <td>72人</td> <td>41,260,879 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※スクールバス等対象校（H28）            荻浜中学校、北上中学校、牡鹿中学校</p>								区分	年度	学校数	対象人数	事業費	スクールバス等	H27	3校	70人	41,340,907 円	H28	3校	72人	41,260,879 円
	区分	年度	学校数	対象人数	事業費																	
スクールバス等	H27	3校	70人	41,340,907 円																		
	H28	3校	72人	41,260,879 円																		
成果	<p>中学校の統廃合等により通学区域の学校までの通学距離が遠距離となった生徒のため、スクールバス等の運行を実施することにより、登下校中の安全・安心の確保が図られた。</p>																					
成果に係る評価	<p>通学区域の学校までの通学距離が遠距離となる生徒の安全・安心の確保を図るため、引き続き、地域の実情に配慮しながら適正な通学支援を実施する必要がある。</p>																					
(単位：円)																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
	43,980,000	41,260,879	30,749,843			10,511,036																

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																															
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																															
	1 目	学校管理費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																															
実施計画掲載ページ	P 19		中 事 業	中学校保健費																																		
事業コード	002-001-002-00219 002-001-002-00221		事 業 名	健康診断・検査等実施事業（中学校） 学校医・薬剤師配置事業（中学校）																																		
目的及び事業内容	<p>学校保健安全法に基づき、各学校に学校医等を配置し、定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、生徒の健康の保持増進を図り、疾病等の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校医の配置</li> <li>・学校薬剤師の配置</li> <li>・定期健康診断の実施</li> <li>・飲料水水質検査の実施</li> </ul>																																					
取組実績	<p>1 学校医の配置            中学校20校に学校医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）を委嘱し、定期健康診断や健康相談などの健診業務を実施した。</p> <p>・委嘱した学校医の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>20 人</td> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>5 人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>5 人</td> <td>歯 科 医</td> <td>20 人</td> </tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置            中学校20校に学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施した。</p> <p>・委嘱した学校薬剤師の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>17 人</td> </tr> </table> <p>3 定期健康診断検査項目及び対象学年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科健診</td> <td>全学年</td> <td>結核健診</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>眼科健診</td> <td>全学年</td> <td>心臓病健診</td> <td>1年生</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科健診</td> <td>1年生</td> <td>尿検査</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>歯科健診</td> <td>全学年</td> <td>貧血・脂質検査</td> <td>2年生</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 飲料水水質検査の実施            学校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を実施した。</p>								内 科 医	20 人	耳 鼻 科 医	5 人	眼 科 医	5 人	歯 科 医	20 人	薬 剤 師	17 人	項目	学年	項目	学年	内科健診	全学年	結核健診	全学年	眼科健診	全学年	心臓病健診	1年生	耳鼻科健診	1年生	尿検査	全学年	歯科健診	全学年	貧血・脂質検査	2年生
	内 科 医	20 人	耳 鼻 科 医	5 人																																		
眼 科 医	5 人	歯 科 医	20 人																																			
薬 剤 師	17 人																																					
項目	学年	項目	学年																																			
内科健診	全学年	結核健診	全学年																																			
眼科健診	全学年	心臓病健診	1年生																																			
耳鼻科健診	1年生	尿検査	全学年																																			
歯科健診	全学年	貧血・脂質検査	2年生																																			
成果	<p>各健康診断・検査を行い、保護者、学校に対して的確な指導と助言が行われ、生徒の健全な育成や健康の保持増進が図られた。</p> <p>また、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p> <p>1 定期健康診断                    中学生    3,930人            心臓病健診                        1年生    1,223人</p> <p>2 飲料水水質検査                    中学校    18校</p>																																					
成果に係る評価	<p>学校に学校医等を配置し、定期健康診断、健康相談及び衛生点検等を実施することは、学校保健安全法で定められており、生徒に対して的確な予防指導を行っていく必要がある。</p> <p>今後も学校医、学校、保護者等が連携し、生徒の健全育成のため事業を実施する必要がある。</p>																																					
(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																
	24,237,648	23,421,573	331,000			23,090,573																																

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	3 項	中学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		( )	
実施計画掲載ページ	P25		中 事業	中学校教育用コンピューター関係費				
事業コード	002-001-003-00240		事業名	情報教育環境整備事業（中学校）				
目的及び事業内容	国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。市内中学校の教育用コンピューターや周辺機器の更新を図る。							
取組実績	中学校教育用コンピューター整備状況							
	整備年度	整備内容						
		PC室用コンピューター	電子黒板（大型モニタ）	タブレット（指導者用）				
H22	河南地区2校： 90台 牡鹿地区1校： 44台	河南地区2校： 6台 牡鹿地区1校： 3台		—				
H24	石巻地区6校： 293台	石巻地区6校： 24台		—				
H25	石巻地区3校： 118台 雄勝地区2校： 20台 北上地区1校： 38台	石巻地区3校： 9台 雄勝地区2校： 4台 北上地区1校： 2台		—				
H26	石巻地区2校： 47台	石巻地区2校： 6台		—				
H28	河北地区3校： 90台 桃生地区1校： 42台	河北地区3校： 9台 桃生地区1校： 6台	河北地区 2校： 9台 桃生地区 1校： 6台					
※ 平成23、27年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ。 ※ 平成28年度から安価で整備できる大型モニタに変更し、全普通教室へ設置できるようにした。								
成果	・生徒がICTの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。 ・情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。 ・各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。 ・平成28年度より教育用コンピューターの更新に合わせて、タブレットを整備している。平成28年度は15台整備した。							
成果に係る評価	・中学校の教育用コンピューターについては、文科省の整備基準（生徒3.6人に1台、普通教室・特別教室に校内LANの設置）を定めているが、石巻市の現状に即した有効的な整備内容を考察しながら、今後も継続して整備更新していきたい。 ・デジタル教科書や大型モニタ等のICT機器を整備したことに伴い、より多くの教科で利用する機会が増え、生徒にわかりやすい授業が展開できるようになった。 ・平成28年度から指導者が使用するためのタブレットを整備したことにより、多くの教員がICT機器に触れる機会が増え、活用能力の向上が図られた。							
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	69,158,000	64,649,047				64,649,047		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	3 項	中学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境を整える		( )	
実施計画掲載ページ	P24		中 事業	中学校教育振興助成費				
事業コード	002-001-003-00222		事業名	就学援助・特別支援教育就学奨励事業（中学校）				
目的及び事業内容	経済的な事情により就学が困難な生徒の保護者又は特別支援学級へ就学する生徒の保護者の経済的な負担を軽減し、生徒の就学の機会を確保する。 ・就学援助費の助成 ・特別支援教育就学奨励費の助成							
取組実績	1 就学援助費							
	認定者数	446名	生徒数	3,932名	(11.34%)			
学用品費	10,380,040 円							
校外活動費（泊無し）	157,549 円							
校外活動費（泊付き）	946,384 円							
通学費	0 円							
新入学用品費	3,485,400 円							
修学旅行費	9,618,293 円							
給食費	21,047,021 円							
医療費	333,200 円							
計	45,967,887 円							
取組実績	2 特別支援教育就学奨励費							
	認定者数	51名	生徒数	3,932名	(1.30%)			
学用品費	364,560 円							
校外活動費（泊無し）	5,340 円							
校外活動費（泊付き）	45,701 円							
通学費	357,796 円							
新入学用品費	105,975 円							
修学旅行費	412,293 円							
給食費	774,960 円							
交流学習	76,260 円							
職場実習交通費	5,901,485 円							
計	8,044,370 円							
成果	経済的な事情により就学が困難な生徒の保護者又は特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対し助成を行うことにより、経済的な負担を軽減することができた。							
成果に係る評価	経済的な事情により就学が困難な生徒や特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対し、経済的な援助を行うことは、すべての生徒の就学の機会を確保するために重要なことであり、今後も法令に則り必要な支援を継続していく必要がある。							
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	59,281,000	54,012,257	4,402,000			49,610,257		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																																											
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																																											
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )																																											
実施計画掲載ページ	P 24		中 事 業	中学校図書整備事業費																																														
事業コード	002-001-003-00239		事 業 名	学校図書整備事業（中学校）																																														
目的及び事業内容	<p>全国的な傾向である小中学生の読書離れが進む中、文部科学省では子どもの読書活動の推進や学校教育における言語力の涵養に資するためには、学校図書館の充実が必要であるとの認識に基づき、平成24年度から平成28年度までの5年間を新たな「学校図書館図書整備5カ年計画」として策定し、整備を推進している。本市も学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童生徒の読書活動を一層推進することにより豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るために、市内小中学校の学校図書を整備するもの。</p>																																																	
取組実績	<p>平成31年度末に市内全ての中学校において、学校図書館図書標準に対する充足率が100%となることを目標とし、低充足率の学校に予算を重点配分したことによる購入により学校図書の充実を努めた。平成28年度においては、前年度と比較して整備冊数は減となったが、生徒の読書活動や学習活動等に役立つ図書を購入するなど質の改善に努めた。</p> <p>&lt;中学校図書の整備冊数&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,832冊</td> <td>17,497冊</td> <td>12,477冊</td> <td>12,314冊</td> <td>9,523冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 寄贈含む。</p>								H24	H25	H26	H27	H28	7,832冊	17,497冊	12,477冊	12,314冊	9,523冊																																
	H24	H25	H26	H27	H28																																													
7,832冊	17,497冊	12,477冊	12,314冊	9,523冊																																														
成 果	<p>学校図書の整備充実を努めたことにより、学習活動に積極的に活用されたことで学習効果が図られ、生徒が自ら進んで言葉学び、感性・表現力・創造力等の生きる力がより育成された。</p> <p>&lt;中学校図書充足率達成状況&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>達成率</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%以上 (A)</td> <td>2校</td> <td>3校</td> <td>3校</td> <td>2校</td> <td>6校</td> </tr> <tr> <td>75%以上-100%未満</td> <td>4校</td> <td>5校</td> <td>7校</td> <td>11校</td> <td>7校</td> </tr> <tr> <td>50%以上-75%未満</td> <td>12校</td> <td>9校</td> <td>6校</td> <td>5校</td> <td>6校</td> </tr> <tr> <td>50%未満</td> <td>3校</td> <td>3校</td> <td>4校</td> <td>2校</td> <td>1校</td> </tr> <tr> <td>合計(B)</td> <td>21校</td> <td>20校</td> <td>20校</td> <td>20校</td> <td>20校</td> </tr> <tr> <td>100%以上達成校の割合 (A/B)</td> <td>9.52%</td> <td>15.00%</td> <td>15.00%</td> <td>10.00%</td> <td>30.00%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※いずれも各年度末時点</p>								達成率	H24	H25	H26	H27	H28	100%以上 (A)	2校	3校	3校	2校	6校	75%以上-100%未満	4校	5校	7校	11校	7校	50%以上-75%未満	12校	9校	6校	5校	6校	50%未満	3校	3校	4校	2校	1校	合計(B)	21校	20校	20校	20校	20校	100%以上達成校の割合 (A/B)	9.52%	15.00%	15.00%	10.00%	30.00%
達成率	H24	H25	H26	H27	H28																																													
100%以上 (A)	2校	3校	3校	2校	6校																																													
75%以上-100%未満	4校	5校	7校	11校	7校																																													
50%以上-75%未満	12校	9校	6校	5校	6校																																													
50%未満	3校	3校	4校	2校	1校																																													
合計(B)	21校	20校	20校	20校	20校																																													
100%以上達成校の割合 (A/B)	9.52%	15.00%	15.00%	10.00%	30.00%																																													
成果に係る評価	<p>充足率100%達成した学校数も着実に増えた一方、仮設校舎使用や、間借りしていて保管場所がなく引っ越し準備のため購入を控えていた学校もあるなど整備が進んでいない学校もある。全体の充足率は向上したが今後も生徒の読書活動や学校教育言語力の涵養に資するため学校図書の購入を継続していく必要がある。</p>																																																	
予算の執行状況	(単位：円)																																																	
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																												
	16,000,000	15,919,764			15,000,000	919,764																																												

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																													
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																													
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )																													
実施計画掲載ページ	P 26		中 事 業	中学校施設老朽化対策事業費																																
事業コード	002-001-003-01028		事 業 名	中学校校舎老朽化対策事業																																
目的及び事業内容	<p>老朽化が著しく進行している学校施設について、屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施し、施設の延命化を図り、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備を図る。</p>																																			
取組実績	<p>平成28年度 設計：桃生中学校、稲井中学校 年度内に業務完了。□</p> <p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>H28予算額</th> <th>H28事業費</th> <th>H29繰越額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>100,000</td> <td></td> <td>100,000</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>2,000,000</td> <td></td> <td>2,000,000</td> </tr> <tr> <td>設計</td> <td>13,000,000</td> <td>12,852,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>22,500,000</td> <td></td> <td>22,500,000</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>372,660,000</td> <td>80,380,000</td> <td>292,280,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>410,260,000</td> <td>93,232,000</td> <td>316,880,000</td> </tr> </tbody> </table>								内訳	H28予算額	H28事業費	H29繰越額	消耗品費	100,000		100,000	手数料	2,000,000		2,000,000	設計	13,000,000	12,852,000		監理	22,500,000		22,500,000	工事	372,660,000	80,380,000	292,280,000	計	410,260,000	93,232,000	316,880,000
	内訳	H28予算額	H28事業費	H29繰越額																																
消耗品費	100,000		100,000																																	
手数料	2,000,000		2,000,000																																	
設計	13,000,000	12,852,000																																		
監理	22,500,000		22,500,000																																	
工事	372,660,000	80,380,000	292,280,000																																	
計	410,260,000	93,232,000	316,880,000																																	
成 果	<p>桃生中学校については、設計業務は当初の計画通り完了した。工事完了は平成29年度中を目指す。稲井中学校についても、同じく平成29年度中の工事完了を目指す。</p>																																			
成果に係る評価	<p>今後も計画的な改修を推進することで施設の延命化を図るとともに、児童生徒等の安全を守り、安心で豊かな教育環境を提供していくよう引き続き事業に取り組んでいく。併せて、適正な年次計画を作成するため、各施設の老朽化状況について定期的な見直し作業を進めていく。</p>																																			
予算の執行状況	(単位：円)																																			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
	93,380,000	93,232,000			88,500,000	4,732,000																														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	( )																																	
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																																	
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )																																	
実施計画掲載ページ		P 30	中 事 業		湊中学校水泳プール改築事業費																																			
事業コード		002-001-003-01078	事 業 名		湊中学校プール改築事業																																			
目的及び事業内容		当中学校の水泳プールは、施設に亀裂等の損傷が見られ、応急的な修繕やメンテナンスによる維持管理が困難な状況であるため、早急な改築が必要なことから、平成28年度に地質調査、改築設計及び改築工事を実施する。																																						
取組実績		<p>全体事業：平成28年度 地質調査、改築設計、改築工事 平成29年度 改築工事 ※ 補助金交付決定等の都合上、工事費等を平成28年度補正予算措置をしたが、年度内に工事完了せず、次年度に繰越を行った。</p> <p>(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>H28予算額</th> <th>H28事業費</th> <th>H29繰越額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>50,000</td> <td></td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>1,000,000</td> <td></td> <td>1,000,000</td> </tr> <tr> <td>設計</td> <td>6,500,000</td> <td>6,264,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地質</td> <td>4,200,000</td> <td>4,137,480</td> <td></td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>7,000,000</td> <td></td> <td>7,000,000</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>298,000,000</td> <td>83,620,000</td> <td>214,380,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>316,750,000</td> <td>94,021,480</td> <td>222,430,000</td> </tr> </tbody> </table>							内訳	H28予算額	H28事業費	H29繰越額	消耗品費	50,000		50,000	手数料	1,000,000		1,000,000	設計	6,500,000	6,264,000		地質	4,200,000	4,137,480		監理	7,000,000		7,000,000	工事	298,000,000	83,620,000	214,380,000	計	316,750,000	94,021,480	222,430,000
内訳	H28予算額	H28事業費	H29繰越額																																					
消耗品費	50,000		50,000																																					
手数料	1,000,000		1,000,000																																					
設計	6,500,000	6,264,000																																						
地質	4,200,000	4,137,480																																						
監理	7,000,000		7,000,000																																					
工事	298,000,000	83,620,000	214,380,000																																					
計	316,750,000	94,021,480	222,430,000																																					
成 果		地質調査、改築設計は当初の計画通り事業完了した。改築工事については、平成29年度内の工事完了を目指して調整を続けていく。																																						
成果に係る評価		2か年事業から単年度事業へ計画変更したものの、改築事業のスケジュールに大きな変更は生じないため、おおむね当初の計画通り平成29年度中に工事完了できる見込みである。引き続き、関係各所と調整を図りながら、児童の安全を守り、安心して豊かな教育環境を提供するために、計画的な施設整備を推進していく。																																						
(単位：円)																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																		
	94,320,000	94,021,480		85,300,000		8,721,480																																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	( )																			
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																			
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )																			
実施計画掲載ページ		P 28	中 事 業		蛇田中学校屋内運動場改修事業費																					
事業コード		002-001-003-01070	事 業 名		蛇田中学校屋内運動場改修事業																					
目的及び事業内容		当該中学校屋内運動場は経年劣化により、老朽化が著しいため、屋根防水工事、外壁防水工事、トイレ洋式化工事等を実施し、施設の延命化を図り、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習活動ができるよう整備を図る。																								
取組実績		<p>平成28年度事業 設計業務・改修工事・監理業務</p> <p>計画どおり、年度内に設計業務・改修工事・監理業務を実施した。</p> <p>(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>H28予算額</th> <th>H28事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>50,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事設計業務</td> <td>5,300,000</td> <td>5,238,000</td> </tr> <tr> <td>工事監理業務</td> <td>7,368,960</td> <td>2,689,200</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>123,431,040</td> <td>123,431,040</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136,150,000</td> <td>131,358,240</td> </tr> </tbody> </table>							内訳	H28予算額	H28事業費	消耗品費	50,000		工事設計業務	5,300,000	5,238,000	工事監理業務	7,368,960	2,689,200	工事請負費	123,431,040	123,431,040	計	136,150,000	131,358,240
内訳	H28予算額	H28事業費																								
消耗品費	50,000																									
工事設計業務	5,300,000	5,238,000																								
工事監理業務	7,368,960	2,689,200																								
工事請負費	123,431,040	123,431,040																								
計	136,150,000	131,358,240																								
成 果		計画どおり、年度内に設計業務・改修工事・監理業務を実施し、卒業式から供用を開始した。																								
成果に係る評価		老朽化した施設の整備を実施し、施設の延命化を図るとともに生徒の教育環境の改善が図られた。また、当初の計画通り、平成28年度卒業式から供用を開始した。引き続き、児童生徒等の安全を守り、安心して豊かな教育環境を提供するために、計画的な施設整備を推進していく。																								
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	136,150,000	131,358,240		124,700,000		6,658,240																				

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																				
	3 項	中学校費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる																																				
	4 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																																				
実施計画掲載ページ	P197		中 事 業	被災生徒通学支援事業費																																							
事業コード	004-101-001-00480	事 業 名	被災生徒通学支援事業（中学校）																																								
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった生徒、学区外の仮設住宅等に入学し通学区域の学校まで遠距離通学となった生徒及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する生徒に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代替え校スクールバス等の運行</li> <li>・仮設住宅スクールバス等の運行</li> <li>・通学路安全対策スクールバスの運行</li> </ul>																																										
取組実績	<p>東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった生徒、学区外の仮設住宅等に入学し通学区域の学校まで遠距離通学となった生徒及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する生徒に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施した。</p> <p>(支援実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替え校スクールバス等</td> <td>3 校</td> <td>310 人</td> <td>108,499,566 円</td> </tr> <tr> <td>仮設住宅スクールバス等</td> <td>11 校</td> <td>100 人</td> <td>64,326,309 円</td> </tr> <tr> <td>通学路安全対策バス</td> <td>1 校</td> <td>44 人</td> <td>22,000,864 円</td> </tr> <tr> <td>スクールバス関連経費※</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>97,200 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>15 校</td> <td>454 人</td> <td>194,923,939 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※渡波中学校用スクールバス乗降場所修繕経費 (支援状況) 代替え校スクールバス等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>状 況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>渡波中学校</td> <td>仮設校舎（稲井小学校）へスクールバス運行</td> </tr> <tr> <td>河北中学校</td> <td>旧大川中学校の学区の生徒を河北中学校へスクールタクシー運行</td> </tr> <tr> <td>雄勝中学校</td> <td>代替え校（宮城県石巻北高等学校飯野川校）へスクールタクシー運行</td> </tr> </tbody> </table> <p>通学路安全対策バス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>状 況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>湊中学校</td> <td>通学路安全対策のためスクールバス運行</td> </tr> </tbody> </table> <p>※仮設住宅スクールバス等利用生徒在籍校（H28） 石巻中学校、住吉中学校、門脇中学校、湊中学校、蛇田中学校、渡波中学校、稲井中学校、青葉中学校、飯野川中学校、雄勝中学校、北上中学校</p>							区 分	学校数	対象人数	金 額	代替え校スクールバス等	3 校	310 人	108,499,566 円	仮設住宅スクールバス等	11 校	100 人	64,326,309 円	通学路安全対策バス	1 校	44 人	22,000,864 円	スクールバス関連経費※	—	—	97,200 円	計	15 校	454 人	194,923,939 円	学校名	状 況	渡波中学校	仮設校舎（稲井小学校）へスクールバス運行	河北中学校	旧大川中学校の学区の生徒を河北中学校へスクールタクシー運行	雄勝中学校	代替え校（宮城県石巻北高等学校飯野川校）へスクールタクシー運行	学校名	状 況	湊中学校	通学路安全対策のためスクールバス運行
区 分	学校数	対象人数	金 額																																								
代替え校スクールバス等	3 校	310 人	108,499,566 円																																								
仮設住宅スクールバス等	11 校	100 人	64,326,309 円																																								
通学路安全対策バス	1 校	44 人	22,000,864 円																																								
スクールバス関連経費※	—	—	97,200 円																																								
計	15 校	454 人	194,923,939 円																																								
学校名	状 況																																										
渡波中学校	仮設校舎（稲井小学校）へスクールバス運行																																										
河北中学校	旧大川中学校の学区の生徒を河北中学校へスクールタクシー運行																																										
雄勝中学校	代替え校（宮城県石巻北高等学校飯野川校）へスクールタクシー運行																																										
学校名	状 況																																										
湊中学校	通学路安全対策のためスクールバス運行																																										
成 果	東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった生徒、学区外の仮設住宅等に入学し通学区域の学校まで遠距離通学となった生徒及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する生徒に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施したことにより、安全かつ安心して通学できる環境を提供することができた。																																										
成果に係る評価	東日本大震災により通学支援が必要となった生徒の安全・安心を図るために継続が求められる事業である。 引き続き、学校施設の復旧や被災者の再建状況等を踏まえながら事業を実施する必要がある。																																										
予算の執行状況	(単位：円)																																										
予算額	206,929,000	決算額	決算額の財源内訳																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																					
		194,923,939	174,133,938			20,790,001																																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																		
	3 項	中学校費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる																		
	4 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																		
実施計画掲載ページ	P197		中 事 業	被災生徒就学支援事業費																					
事業コード	004-101-001-00481	事 業 名	被災生徒就学支援事業（中学校）																						
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により被災し、就学困難となった児童の保護者に対し、就学援助費の助成を行うことにより、児童の就学の機会を確保する。 (支給対象者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住居の被害状況が半壊以上の判定を受けた世帯</li> <li>・世帯収入が著しく減少した世帯</li> <li>・原子力発電所の事故により避難してきた世帯</li> </ul>																								
取組実績	<p>1 就学援助費 認定者数 1,202名 / 生徒数 3,932名 (30.57%)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>学用品費</td> <td>28,605,315 円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（泊無し）</td> <td>240,806 円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（泊付き）</td> <td>2,395,138 円</td> </tr> <tr> <td>通学費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>新入学用品費</td> <td>8,595,750 円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>25,739,671 円</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>57,471,498 円</td> </tr> <tr> <td>医療費</td> <td>405,820 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>123,453,998 円</td> </tr> </tbody> </table>							学用品費	28,605,315 円	校外活動費（泊無し）	240,806 円	校外活動費（泊付き）	2,395,138 円	通学費	0 円	新入学用品費	8,595,750 円	修学旅行費	25,739,671 円	給食費	57,471,498 円	医療費	405,820 円	計	123,453,998 円
学用品費	28,605,315 円																								
校外活動費（泊無し）	240,806 円																								
校外活動費（泊付き）	2,395,138 円																								
通学費	0 円																								
新入学用品費	8,595,750 円																								
修学旅行費	25,739,671 円																								
給食費	57,471,498 円																								
医療費	405,820 円																								
計	123,453,998 円																								
成 果	東日本大震災により被災し、就学が困難となった生徒の保護者に対して就学援助費を支給することにより、経済的な負担を軽減することができた。																								
成果に係る評価	東日本大震災により被災し、就学が困難な生徒の就学機会を確保するために、今後も継続した支援が必要である。 なお、被災者の再建状況を踏まえ、受給者の認定基準について検討する必要がある。																								
予算の執行状況	(単位：円)																								
予算額	130,000,000	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
		123,453,998	123,453,998																						

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	3 項	中学校費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる
	4 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画掲載ページ		P201	中 事 業	渡波中学校移転新築事業費			
事業コード	004-101-001-00895	事 業 名	渡波中学校移転新築事業〔復興交付金〕				
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により被災した渡波中学校の移転新築を実施する。</p> <p>・復興交付金事業：武道場、渡中プラザ、ランニングコース、太陽光発電設備 ※渡波中学校は校舎、屋内運動場、武道場、プールを1施設に集約する。</p>						
取 組 実 績	<p>平成27年度 ・建築工事 ・工事監理 ・用地購入（渡中プラザ） 平成28年度 ・建築工事 ・工事監理</p>						
成 果	<p>・平成29年3月22日 竣工 ・平成29年3月25日 供用開始 ※平成29年4月 8日 新校舎落成式</p>						
成果に係る評価	<p>建築工事は、計画工程どおり遅滞なく適切に履行された。 建物は、プロポーザルにより、設計事務所を選定した。 プールを屋上に設置し、校舎中央部へ吹き抜けと大階段の配置。また、中央部周囲の多目的スペースの配置等による開放的な校舎を建設することができた。</p>						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	244,710,054	206,002,199			142,881,000	63,121,199	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																			
	3 項	中学校費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる																																			
	4 目	東日本震災関係費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																																			
実施計画掲載ページ		P199	中 事 業	中学校防災機能強化事業費																																						
事業コード	004-101-001-00989	事 業 名	中学校防災機能強化事業																																							
目的及び事業内容	<p>屋内運動場の吊り天井、照明器具等の落下防止のため、天井撤去、補強、落下防止策等の改修工事を行う。</p>																																									
取 組 実 績	<p>平成28年度事業：設計業務2校4棟（河南東中学校、河南西中学校） 改修工事1校2棟（万石浦中学校） 設計業務、改修工事ともに計画通り年度内に工事が完了した。</p> <p style="text-align: center;">(単位：円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>H28予算額</th> <th>H28事業費</th> <th>繰越明許額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>100,000</td> <td>50,000</td> <td>50,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>3,000,000</td> <td></td> <td>2,000,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計業務</td> <td>14,400,000</td> <td>14,285,160</td> <td></td> <td>河南東中・河南西中</td> </tr> <tr> <td>監理業務</td> <td>20,000,000</td> <td>2,916,000</td> <td>17,000,000</td> <td>万石浦中・【繰越】河南東中・</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>455,000,000</td> <td>89,035,200</td> <td>365,000,000</td> <td>【繰越】河南西中</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>492,500,000</td> <td>106,286,360</td> <td>384,050,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							内訳	H28予算額	H28事業費	繰越明許額	備考	消耗品費	100,000	50,000	50,000		手数料	3,000,000		2,000,000		設計業務	14,400,000	14,285,160		河南東中・河南西中	監理業務	20,000,000	2,916,000	17,000,000	万石浦中・【繰越】河南東中・	工事請負費	455,000,000	89,035,200	365,000,000	【繰越】河南西中	計	492,500,000	106,286,360	384,050,000	
内訳	H28予算額	H28事業費	繰越明許額	備考																																						
消耗品費	100,000	50,000	50,000																																							
手数料	3,000,000		2,000,000																																							
設計業務	14,400,000	14,285,160		河南東中・河南西中																																						
監理業務	20,000,000	2,916,000	17,000,000	万石浦中・【繰越】河南東中・																																						
工事請負費	455,000,000	89,035,200	365,000,000	【繰越】河南西中																																						
計	492,500,000	106,286,360	384,050,000																																							
成 果	<p>万石浦中学校については、計画通り改修工事を実施し、生徒の安全な教育環境の整備が図られ、また、平成28年度卒業式から供用を開始した。 河南東中学校、河南西中学校の2校については、補助金交付決定の関係から設計業務は計画通り完了したものの、工事は年度内に完了できなかったため、平成29年度中の完了を目指す。</p>																																									
成果に係る評価	<p>今後、児童生徒の安全安心を守り、豊かな教育環境を提供するために、計画的な施設整備を推進していく。</p>																																									
(単位：円)																																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																				
	108,450,000	106,286,360	30,956,000	69,600,000			5,730,360																																			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	( )																															
	4 項	高等学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																															
	1 目	学校管理費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力はぐくむ		( )																															
実施計画掲載ページ		P 19	中 事 業	高等学校保健費																																		
事業コード		002-001-002-00219 002-001-002-00221	事 業 名	健康診断・検査等実施事業（高等学校） 学校医・薬剤師配置事業（高等学校）																																		
目的及び事業内容		<p>学校保健安全法に基づき、桜坂高等学校に学校医等を配置し、定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、生徒の健康の保持増進を図り、疾病等の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校医の配置</li> <li>・学校薬剤師の配置</li> <li>・定期健康診断の実施</li> <li>・飲料水水質検査の実施</li> </ul>																																				
取組実績		<p>1 学校医の配置 桜坂高等学校に学校医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）を委嘱し、定期健康診断や健康相談などの健診業務を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱した学校医の人数</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>1 人</td> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>1 人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>1 人</td> <td>歯 科 医</td> <td>2 人</td> </tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置 桜坂高等学校に学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱した学校薬剤師の人数</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>1 人</td> </tr> </table> <p>3 定期健康診断検査項目及び対象学年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科健診</td> <td>全学年</td> <td>結核検診</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>眼科健診</td> <td>全学年</td> <td>心臓病検診</td> <td>1年生</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科健診</td> <td>1年生</td> <td>尿検査</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>歯科健診</td> <td>全学年</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4 飲料水水質検査の実施 桜坂高等学校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を実施した。</p>							内 科 医	1 人	耳 鼻 科 医	1 人	眼 科 医	1 人	歯 科 医	2 人	薬 剤 師	1 人	項目	学年	項目	学年	内科健診	全学年	結核検診	全学年	眼科健診	全学年	心臓病検診	1年生	耳鼻科健診	1年生	尿検査	全学年	歯科健診	全学年		
内 科 医	1 人	耳 鼻 科 医	1 人																																			
眼 科 医	1 人	歯 科 医	2 人																																			
薬 剤 師	1 人																																					
項目	学年	項目	学年																																			
内科健診	全学年	結核検診	全学年																																			
眼科健診	全学年	心臓病検診	1年生																																			
耳鼻科健診	1年生	尿検査	全学年																																			
歯科健診	全学年																																					
成 果		<p>各健康診断・検査を行い、保護者、桜坂高等学校に対して的確な指導と助言が行われ、生徒の健全な育成や健康の保持増進が図られた。 また、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p> <p>1 定期健康診断 高校生 532人 心臓病検診 1年生 143人</p> <p>2 飲料水水質検査 高等学校 1校</p>																																				
成果に係る評価		<p>学校に学校医等を配置し、定期健康診断、健康相談及び衛生点検等を実施することは、学校保健安全法で定められており、生徒に対して的確な予防指導を行っていく必要がある。 今後も学校医、学校、保護者等が連携し、生徒の健全育成のため事業を実施する必要がある。</p>																																				
(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																	
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
	2,881,000		2,228,068					2,228,068																														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	( )	
	4 項	高等学校費		第 節			( )	
	1 目	学校管理費		( )			( )	
実施計画掲載ページ			中 事 業	桜坂高等学校の魅力ある学校づくり事業費				
事業コード			事 業 名	桜坂高等学校の魅力ある学校づくり事業				
目的及び事業内容		<p>【事業内容】 人間力を高め、生徒一人一人の夢を実現させるために、桜坂高校が掲げる「品格教育」、「キャリア教育」、「学力保証」を実践するため、必要な事業を実施する。</p> <p>【事業目的】 県内唯一の公立女子高等学校として、特色ある教育活動に取り組むことで、石巻市の未来を担う人材の育成・輩出を目指すとともに、桜坂高校の魅力内外に強くPRすることで募集定員を確保する。</p>						
取組実績		<p>1 小笠原流礼法指導 1年生 1回実施 2年生 1回実施 3年生 1回実施</p> <p>2 進路講座 (1) 公務員試験講座 8回実施 (2) 進路指導教員研修 9回実施 (3) 看護出前講座 1回実施 (4) 就職模擬面接 3年生 4回実施 (5) 社会人としての常識とマナー 3年生 2回実施 (6) 進路ガイダンス 2年生 1回実施 (7) 進路保護者説明会 2年生 1回実施 (8) まちづくり講話 2年生 2回実施 (9) 大学教員による模擬授業 2年生 1回実施 (10) 進路講演会 1年生 1回実施 (11) まちなかポスタープロジェクト 1年生 1回実施 (12) ライフプランニング研修 1年生 2回実施</p> <p>3 親教育講座 3年生 2回実施 ほか全65講座を実施</p> <p>4 進路ガイダンス参加 オープンキャンパス、夢ナビライブ、就職説明会等</p> <p>5 開校記念講演 全学年 1回実施 生物学者池田清彦氏の講話</p>						
成 果		<p>1 小笠原流礼法指導……昨年に引き続き全学年の生徒に対して実施した。礼法指導の基礎を学ぶことにより、「品格教育」の推進及び魅力ある学校づくり事業の充実を図ることができた。</p> <p>2 進路講座……「学力保証」、「キャリア教育」の充実を図るため、公務員を志望する生徒のための公務員試験講座や進路指導教員向けの研修会、看護師を志望する生徒に対する出前講座や大学教員による模擬授業、社会人としての常識とマナーやまちづくりについて学ぶ機会をつくり、生徒それぞれが思い描く進路の実現及び進路指導教員のレベルアップ等に結び付けることができた。</p> <p>3 親教育講座……3年生に対して親教育講座を実施して、出産、育児のノウハウや活用できる子育て支援策を学ぶとともに、子育ての楽しさや難しさを子育て世代の先輩達から見聞したり赤ちゃんや子どもに触れる良い機会となった。</p> <p>4 進路ガイダンス参加……大学のオープンキャンパスや進学合同説明会夢ナビライブ、就職説明会等に参加することで、生徒それぞれが進路目標を具体的に考えたり選択するための良い機会となった。</p> <p>5 開校記念講演……開校記念講演を実施し、生物学者の池田清彦氏による「サクラサケ、頑張りすぎない生き方～素敵な花（人生）を咲かせる過ごし方」と題した講演を行い、全生徒に「がんばる」という価値観にメスを入れ、人生をそれぞれが楽しく生きるための考え方を学ぶことができた。</p>						
成果に係る評価		<p>本事業の実施により、「品格教育」、「キャリア教育」、「学力保証」の充実を図ることができた。一方で、平成28年度の定員割れを受けて、中学校訪問やオープンキャンパスの実施、また生徒自らが地域と関わりを持ち市内の商店を紹介したさくらプロジェクトの実施など、桜坂高校の魅力をより積極的に発信したことで、入学生が前年度より増加したものの、学励探求コースでは定員割れが続いているため、今後も事業の推進を図っていく必要がある。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	2,925,000		2,208,806					2,208,806

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	4 項	高等学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )	
実施計画掲載ページ	P25		中 事 業	高等学校教育用コンピューター関係費				
事業コード	002-001-003-00240		事 業 名	情報教育環境整備事業（高等学校）				
目的及び事業内容	国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。市内高等学校の教育用コンピューターや周辺機器の更新を図る。							
取組実績	高等学校教育用コンピューター整備状況							
	整備年度	整備内容						
		教育用コンピューター	電子黒板	タブレット				
H26	市立女子商：86台	市立女子高（桜坂高）	：17台	—				
H27	—	桜坂高	：2台	桜坂高	：123台			
	※ 平成26年度に市立女子商高へ整備したPC室用コンピューター86台は、平成27年3月に市立女子高（現桜坂高）へ移設。 ※ 電子黒板17台については、高等学校統合整備事業費（備品購入費）で整備。 ※ 平成20～25、28年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ。							
成 果	・生徒がICTの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。 ・情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。 ・各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。							
成果に係る評価	・高等学校の教育用コンピューターについては、学校の教育課程に則した機器を考察・選定し、計画的に整備している。 ・多くの教員がICT機器に触れる機会が増え、活用能力の向上が図られた。 ・整備後3年が経過し、故障頻度が増加してくることから、授業に支障が生じないように機器の保守に努めていきたい。							
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	13,895,000	13,775,250				13,775,250		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																
	1 目	幼稚園費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																
実施計画掲載ページ	P19		中 事 業	幼稚園保健費																			
事業コード	002-001-002-00219 002-001-002-00221		事 業 名	健康診断・検査等実施事業（幼稚園） 学校医・薬剤師配置事業（幼稚園）																			
目的及び事業内容	学校保健安全法に基づき、市立幼稚園及び湊こども園に幼稚園医等を配置し定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、幼児の健康の保持増進を図り、疾病等の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。 ・幼稚園医の配置 ・幼稚園薬剤師の配置 ・定期健康診断の実施 ・飲料水水質検査の実施																						
取組実績	1 幼稚園医の配置																						
	市立幼稚園及び湊こども園に幼稚園医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）を委嘱し、定期健康診断や健康相談などの健診業務を実施した。 ・委嘱した幼稚園医の人数 <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>5 人</td> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>3 人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>3 人</td> <td>歯 科 医</td> <td>4 人</td> </tr> </table>								内 科 医	5 人	耳 鼻 科 医	3 人	眼 科 医	3 人	歯 科 医	4 人							
内 科 医	5 人	耳 鼻 科 医	3 人																				
眼 科 医	3 人	歯 科 医	4 人																				
取組実績	2 幼稚園薬剤師の配置																						
	市立幼稚園及び湊こども園に薬剤師を委嘱し、飲料水の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施した。 ・委嘱した幼稚園薬剤師の人数 <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>5 人</td> </tr> </table>								薬 剤 師	5 人													
薬 剤 師	5 人																						
取組実績	3 定期健康診断検査項目及び対象学年																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科健診</td> <td>全幼児</td> </tr> <tr> <td>眼科健診</td> <td>全幼児</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科健診</td> <td>全幼児</td> </tr> <tr> <td>歯科健診</td> <td>全幼児</td> </tr> </tbody> </table>				項目	学年	内科健診	全幼児	眼科健診	全幼児	耳鼻科健診	全幼児	歯科健診	全幼児	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>結核検診</td> <td>全幼児</td> </tr> <tr> <td>尿検査</td> <td>全幼児</td> </tr> </tbody> </table>				項目	学年	結核検診	全幼児	尿検査
項目	学年																						
内科健診	全幼児																						
眼科健診	全幼児																						
耳鼻科健診	全幼児																						
歯科健診	全幼児																						
項目	学年																						
結核検診	全幼児																						
尿検査	全幼児																						
取組実績	4 飲料水水質検査の実施																						
	市立幼稚園及び湊こども園の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を実施した。																						
成 果	各健康診断・検査を行い、保護者、市立幼稚園及び湊こども園に対しての確かな指導と助言が行われ、幼児の健全な育成や健康の保持増進が図られた。 また、施設内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された施設環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。																						
成 果	1 定期健康診断	園児	269人																				
	2 飲料水水質検査	幼稚園、こども園	5園																				
成果に係る評価	幼稚園に医師等を配置し、定期健康診断、健康相談及び衛生点検等を実施することは、学校保健安全法で定められており、幼児に対しての確かな予防指導を行っていく必要がある。 今後も医師、幼稚園、こども園及び保護者が連携し、幼児の健全育成のため事業を実施する必要がある。																						
（単位：円）																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
	3,221,000	3,081,875				3,081,875																	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																																		
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																																		
	1 目	幼稚園費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																																		
実施計画掲載ページ	P 20		中 事 業	私立幼稚園就園奨励費																																					
事業コード	002-001-002-00223		事 業 名	私立幼稚園就園奨励費助成事業																																					
目的及び事業内容	<p>私立幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の保護者の中で、所得が低い世帯、多子世帯及びひとり親等世帯の保護者を対象に、私立幼稚園が行う入園料、保育料の減免措置に対して助成を行うことにより、義務教育就学前における幼児教育の振興を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立幼稚園就園奨励費の助成</li> </ul>																																								
取組実績	<p>市内に居住している園児の入園料、保育料の減免措置を行っている私立幼稚園に対し、一部国の補助を受け補助金を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象人数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活保護世帯</td> <td>1人</td> <td>217,800円</td> </tr> <tr> <td>市民税非課税世帯（ひとり親世帯等除く）</td> <td>37人</td> <td>7,493,200円</td> </tr> <tr> <td>市民税非課税世帯（ひとり親世帯等）</td> <td>31人</td> <td>6,800,600円</td> </tr> <tr> <td>市民税所得割額非課税世帯（ひとり親世帯等除く）</td> <td>66人</td> <td>14,370,800円</td> </tr> <tr> <td>市民税所得割額非課税世帯（ひとり親世帯等）</td> <td>4人</td> <td>810,000円</td> </tr> <tr> <td>市民税所得割額 77,100円以下の世帯（ひとり親世帯等除く）</td> <td>208人</td> <td>33,782,500円</td> </tr> <tr> <td>市民税所得割額 77,100円以下の世帯（ひとり親世帯等）</td> <td>12人</td> <td>2,411,300円</td> </tr> <tr> <td>市民税所得割額211,200円以下の世帯</td> <td>506人</td> <td>54,840,800円</td> </tr> <tr> <td>上記以外の世帯</td> <td>85人</td> <td>13,537,100円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>950人</td> <td>134,264,100円</td> </tr> </tbody> </table>								区分	対象人数	補助金額	生活保護世帯	1人	217,800円	市民税非課税世帯（ひとり親世帯等除く）	37人	7,493,200円	市民税非課税世帯（ひとり親世帯等）	31人	6,800,600円	市民税所得割額非課税世帯（ひとり親世帯等除く）	66人	14,370,800円	市民税所得割額非課税世帯（ひとり親世帯等）	4人	810,000円	市民税所得割額 77,100円以下の世帯（ひとり親世帯等除く）	208人	33,782,500円	市民税所得割額 77,100円以下の世帯（ひとり親世帯等）	12人	2,411,300円	市民税所得割額211,200円以下の世帯	506人	54,840,800円	上記以外の世帯	85人	13,537,100円	合計	950人	134,264,100円
	区分	対象人数	補助金額																																						
生活保護世帯	1人	217,800円																																							
市民税非課税世帯（ひとり親世帯等除く）	37人	7,493,200円																																							
市民税非課税世帯（ひとり親世帯等）	31人	6,800,600円																																							
市民税所得割額非課税世帯（ひとり親世帯等除く）	66人	14,370,800円																																							
市民税所得割額非課税世帯（ひとり親世帯等）	4人	810,000円																																							
市民税所得割額 77,100円以下の世帯（ひとり親世帯等除く）	208人	33,782,500円																																							
市民税所得割額 77,100円以下の世帯（ひとり親世帯等）	12人	2,411,300円																																							
市民税所得割額211,200円以下の世帯	506人	54,840,800円																																							
上記以外の世帯	85人	13,537,100円																																							
合計	950人	134,264,100円																																							
成 果	<p>私立幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の保護者の中で、所得が低い世帯、多子世帯及びひとり親等世帯の保護者を対象に、私立幼稚園が行う入園料、保育料の減免措置に対して助成を行うことにより、就園する幼児の保護者の経済的負担を軽減し、義務教育就学前における幼児教育の振興に資することができた。</p> <p>(補助内訳) 就園奨励費補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象人数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>886人</td> <td>94,199,700円</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>904人</td> <td>98,273,100円</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>950人</td> <td>134,264,100円</td> </tr> </tbody> </table>								区分	対象人数	補助金額	H26	886人	94,199,700円	H27	904人	98,273,100円	H28	950人	134,264,100円																					
区分	対象人数	補助金額																																							
H26	886人	94,199,700円																																							
H27	904人	98,273,100円																																							
H28	950人	134,264,100円																																							
成果に係る評価	<p>本市の幼児教育の普及充実と保護者の経済的負担を軽減するため、今後も継続して本事業を実施する必要がある。</p>																																								
(単位：円)																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																			
	134,264,100	134,264,100	64,304,900			69,959,200																																			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																							
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																							
	1 目	幼稚園費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																							
実施計画掲載ページ	P 20		中 事 業	私立幼稚園運営費助成費																										
事業コード	002-001-002-00224		事 業 名	私立幼稚園運営費助成事業																										
目的及び事業内容	<p>市内で開園している私立幼稚園の設置者に対し、運営費の一部を助成することにより、義務教育就学前の幼児教育振興に寄与している私立幼稚園の健全な経営及び保護者の負担軽減を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立幼稚園運営費の助成</li> </ul> <p>幼稚園割 1園 160,000円 職員割 1人 30,000円 園児割 1人 1,200円</p>																													
取組実績	<p>市内で開園している私立幼稚園設置者に対し、運営費の一部の助成を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>運営費補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>穀町幼稚園</td> <td>970,000円</td> </tr> <tr> <td>法山寺幼稚園</td> <td>625,600円</td> </tr> <tr> <td>石巻カトリック幼稚園</td> <td>830,800円</td> </tr> <tr> <td>石巻みずほ幼稚園</td> <td>998,800円</td> </tr> <tr> <td>石巻みずほ第二幼稚園</td> <td>329,200円</td> </tr> <tr> <td>ひばり幼稚園</td> <td>1,170,400円</td> </tr> <tr> <td>栄光幼稚園</td> <td>398,800円</td> </tr> <tr> <td>長浜幼稚園</td> <td>288,400円</td> </tr> <tr> <td>万石浦幼稚園</td> <td>588,400円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>6,200,400円</td> </tr> </tbody> </table>								区分	運営費補助金	穀町幼稚園	970,000円	法山寺幼稚園	625,600円	石巻カトリック幼稚園	830,800円	石巻みずほ幼稚園	998,800円	石巻みずほ第二幼稚園	329,200円	ひばり幼稚園	1,170,400円	栄光幼稚園	398,800円	長浜幼稚園	288,400円	万石浦幼稚園	588,400円	合 計	6,200,400円
	区分	運営費補助金																												
穀町幼稚園	970,000円																													
法山寺幼稚園	625,600円																													
石巻カトリック幼稚園	830,800円																													
石巻みずほ幼稚園	998,800円																													
石巻みずほ第二幼稚園	329,200円																													
ひばり幼稚園	1,170,400円																													
栄光幼稚園	398,800円																													
長浜幼稚園	288,400円																													
万石浦幼稚園	588,400円																													
合 計	6,200,400円																													
成 果	<p>義務教育就学前の幼児教育を担う私立幼稚園の健全な運営及び保護者の負担軽減に資することができた。</p> <p>(助成内訳) 運営費補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>運営費補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>6,279,600円</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>6,076,800円</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>6,200,400円</td> </tr> </tbody> </table>								区分	運営費補助金	H26	6,279,600円	H27	6,076,800円	H28	6,200,400円														
区分	運営費補助金																													
H26	6,279,600円																													
H27	6,076,800円																													
H28	6,200,400円																													
成果に係る評価	<p>私立幼稚園の健全な運営を図るとともに、保護者の負担軽減を図るため、今後も継続して本事業を実施し、本市の義務教育就学前における幼児教育を推進する必要がある。</p>																													
(単位：円)																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	6,200,840	6,200,400				6,200,400																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	( )																													
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																													
	2 目	幼稚園建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )																													
実施計画掲載ページ		P 26	中 事 業	幼稚園施設老朽化対策事業費																																
事業コード		002-001-003-01029	事 業 名	幼稚園園舎老朽化対策事業																																
目的及び事業内容		老朽化が著しく進行している幼稚園施設について、屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施し、施設の延命化を図り、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備を図る。																																		
取組実績		<p>平成28年度 設計：住吉幼稚園、稲井幼稚園 年度内に業務完了。 ※設計を実施した2校ともに、補助金交付決定等の都合上、工事費等を補正予算措置したが、年度内に工事完了せず、次年度に繰越を行った。</p> <p>(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>H28予算額</th> <th>H28事業費</th> <th>H29繰越額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>100,000</td> <td></td> <td>100,000</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>1,000,000</td> <td></td> <td>1,000,000</td> </tr> <tr> <td>設計</td> <td>7,400,000</td> <td>7,398,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>12,000,000</td> <td></td> <td>12,000,000</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>157,800,000</td> <td></td> <td>157,800,000</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>178,300,000</td> <td>7,398,000</td> <td>170,900,000</td> </tr> </tbody> </table>							内訳	H28予算額	H28事業費	H29繰越額	消耗品費	100,000		100,000	手数料	1,000,000		1,000,000	設計	7,400,000	7,398,000		監理	12,000,000		12,000,000	工事	157,800,000		157,800,000	合 計	178,300,000	7,398,000	170,900,000
内訳	H28予算額	H28事業費	H29繰越額																																	
消耗品費	100,000		100,000																																	
手数料	1,000,000		1,000,000																																	
設計	7,400,000	7,398,000																																		
監理	12,000,000		12,000,000																																	
工事	157,800,000		157,800,000																																	
合 計	178,300,000	7,398,000	170,900,000																																	
成 果		住吉幼稚園については、当初の計画通り設計業務は完了した。しかし、補助金交付決定の関係で、年度内の工事完了はできなかったため平成29年度中の工事完了を目指す。稲井幼稚園についても、当初の計画通り設計業務は完了したものの、年度内に工事が完了できなかったため、同じく平成29年度中の工事完了を目指す。																																		
成果に係る評価		住吉幼稚園、稲井幼稚園ともに、平成29年度中の工事完了に向けて関係各所と調整を図りながら事業に取り組んでいく。 また、適正な年次計画を作成するため、各施設の老朽化状況について定期的な見直し作業を併せて進めていく。																																		
(単位：円)																																				
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																															
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	7,400,000		7,398,000			7,000,000		398,000																												

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																
	6 項	社会教育費		第 節			( 1 )	未来の人を育てる																																
	1 目	社会教育総務費		( )			( 3 )	子どものケアの実施																																
実施計画掲載ページ		P 207	中 事 業	社会教育事務費																																				
事業コード		004-103-002-00527	事 業 名	家庭教育支援事業																																				
目的及び事業内容		子育てサポーター及び子育てサポーターリーダーなどの身近な人々による「家庭教育支援チーム」を組織し、孤立しがちな保護者や仕事で忙しい保護者など、地域とのコミュニケーションや学習の機会等になかなか参加できない保護者や家庭に対する支援を行う。																																						
取組実績		<p>1 親子参加型の活動（子育てサロン）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>実施期間</th> <th>実施回数</th> <th colspan="2">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>H26.4～H27.3</td> <td>22回</td> <td>延べ</td> <td>317組 734人</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>H27.4～H28.3</td> <td>22回</td> <td>延べ</td> <td>310組 691人</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>H28.4～H29.3</td> <td>21回</td> <td>延べ</td> <td>317組 730人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 親の学び講座（母親対象）ノーバディズ・パーフェクトプログラム研修ほか</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>38回</td> <td>252人</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>40回</td> <td>296人</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>32回</td> <td>248人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 「親のみちしるべ」講座 参加者数 102人 ファシリテーター 延べ24人(石巻市家庭教育支援チーム担当)</p> <p>4 子育てサポーター養成講座 受講者 29人(家庭教育支援チーム7人)</p>							年 度	実施期間	実施回数	参加人数		H26	H26.4～H27.3	22回	延べ	317組 734人	H27	H27.4～H28.3	22回	延べ	310組 691人	H28	H28.4～H29.3	21回	延べ	317組 730人	年 度	実施回数	参加人数	H26	38回	252人	H27	40回	296人	H28	32回	248人
年 度	実施期間	実施回数	参加人数																																					
H26	H26.4～H27.3	22回	延べ	317組 734人																																				
H27	H27.4～H28.3	22回	延べ	310組 691人																																				
H28	H28.4～H29.3	21回	延べ	317組 730人																																				
年 度	実施回数	参加人数																																						
H26	38回	252人																																						
H27	40回	296人																																						
H28	32回	248人																																						
成 果		「子育てサロン」は実施から6年を経過し、親子の交流及び心のケア、育児相談の場として定着している。平成26年度から開催している「子育てサポーター養成講座」開催の成果として家庭教育支援チーム員も増加し、市民が自主的に企画・運営にかかわろうとする機運が高まってきている。「親の学び講座」は年4講座(1講座につき8回実施)開催しているが、毎回定員に達しており、受講者の評価が高く、子育てのスキルアップや母親同士のコミュニケーションの形成に成果が見られる。また、受講修了後、家庭教育支援チームの一員として活動する母親が増加している。「親のみちしるべ講座」は平成27年度より東部教育事務所からの協力依頼を受けて開催しており、特に小学校の「一日入学」における講座開催は、新入生の母親同士のコミュニケーション形成に役立つとの評価を得ている。「子育てサポーター養成講座」は県教育委員会・東部教育事務所・石巻市教育委員会が共催で開催しており、地元開催の成果で年々受講者が増加している。毎回、子育て支援の専門家の講話を聞くことによって、子育ての喜びを改めて感じたり悩みの解決方法に気付くことができ、受講者からの評価が高い。																																						
成果に係る評価		家庭教育支援事業は、年々市民に広く浸透しており、子育て世帯の孤立化解消や親子の心のケア、親同士の新たなコミュニケーションの形成、次代の子育て支援・家庭教育支援を担う人材育成という点において大きな成果が見られることから、市民にとって意義の大きい事業であり、市民の要望に応えるために、今後も継続が必要である。																																						
(単位：円)																																								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																
	329,000		169,859		169,859																																			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																																																		
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		( )																																																		
	1 目	社会教育総務費		( 2 )	青少年を健全に育成する		( )																																																		
実施計画掲載ページ		P 32	中 事 業	少年指導者育成費																																																					
事業コード		002-002-002-00261	事 業 名	少年指導者育成事業																																																					
目的及び事業内容		<p>子ども会活動等地域における望ましい体験活動の指導・支援を行う青年ボランティアとしてのジュニア・リーダー及びインリーダーの育成を通して、青少年の健全育成を図る。</p> <p>宮城県教育委員会が定める「ジュニア・リーダー初級研修内容」に準拠した研修会を開催し、ジュニア・リーダー（中学生）を養成する。受講修了者には宮城県教育委員会が発行するジュニア・リーダー手帳及び初級研修修了証を授与する。</p> <p>研修を修了したジュニア・リーダーは、各地区のサークルに所属し、市内子ども会育成会等から要請を受けボランティアとして派遣され、子どもたちの指導等を行っている。</p>																																																							
取組実績	1 ジュニア・リーダー育成のための研修会の実施、支援																																																								
	(1) ジュニア・リーダー初級研修会の主催																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>実施場所</th> <th>修了者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>初級研修会</td> <td>7月25日(月)～27日(水)</td> <td>花山青少年自然の家</td> <td>18人</td> </tr> </tbody> </table>								No.	事業名	開催日	実施場所	修了者	1	初級研修会	7月25日(月)～27日(水)	花山青少年自然の家	18人																																							
No.	事業名	開催日	実施場所	修了者																																																					
1	初級研修会	7月25日(月)～27日(水)	花山青少年自然の家	18人																																																					
(2) ジュニア・リーダー中級研修会及び上級研修会への参加支援																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>実施場所</th> <th>修了者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>中級研修会</td> <td>8月18日(木)～19日(金)</td> <td>志津川自然の家</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>上級研修会</td> <td>12月25日(日)～27日(火)</td> <td>志津川自然の家</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table>								No.	事業名	開催日	実施場所	修了者	1	中級研修会	8月18日(木)～19日(金)	志津川自然の家	10人	2	上級研修会	12月25日(日)～27日(火)	志津川自然の家	2人																																			
No.	事業名	開催日	実施場所	修了者																																																					
1	中級研修会	8月18日(木)～19日(金)	志津川自然の家	10人																																																					
2	上級研修会	12月25日(日)～27日(火)	志津川自然の家	2人																																																					
(3) ジュニア・リーダーのスキルアップのための研修事業参加支援及び研修機会の創出																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>実施場所</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>中級研修会事前打合せ1</td> <td>6月25日(土)</td> <td>桃生公民館</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ボイストレーニング</td> <td>7月 9日(土)</td> <td>石巻中央公民館</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>初級研修会事前説明</td> <td>7月 9日(土)</td> <td>石巻中央公民館</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>初級研修会</td> <td>7月25日(月)～27日(水)</td> <td>花山青少年自然の家</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>中級研修会事前打合せ2</td> <td>7月30日(土)</td> <td>桃生公民館</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>中級研修会</td> <td>8月18日(木)～19日(金)</td> <td>志津川自然の家</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>防災研修会</td> <td>8月22日(月)</td> <td>東松島市コミュニティセンター</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>上級研修会</td> <td>12月25日(日)～27日(火)</td> <td>志津川自然の家</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>レクリエーション入門研修</td> <td>1月21日(土)</td> <td>旧宮戸小体育館</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>								No.	事業名	開催日	実施場所	参加者	1	中級研修会事前打合せ1	6月25日(土)	桃生公民館	8人	2	ボイストレーニング	7月 9日(土)	石巻中央公民館	5人	3	初級研修会事前説明	7月 9日(土)	石巻中央公民館	23人	4	初級研修会	7月25日(月)～27日(水)	花山青少年自然の家	23人	5	中級研修会事前打合せ2	7月30日(土)	桃生公民館	15人	6	中級研修会	8月18日(木)～19日(金)	志津川自然の家	15人	7	防災研修会	8月22日(月)	東松島市コミュニティセンター	3人	8	上級研修会	12月25日(日)～27日(火)	志津川自然の家	2人	9	レクリエーション入門研修	1月21日(土)	旧宮戸小体育館	1人
No.	事業名	開催日	実施場所	参加者																																																					
1	中級研修会事前打合せ1	6月25日(土)	桃生公民館	8人																																																					
2	ボイストレーニング	7月 9日(土)	石巻中央公民館	5人																																																					
3	初級研修会事前説明	7月 9日(土)	石巻中央公民館	23人																																																					
4	初級研修会	7月25日(月)～27日(水)	花山青少年自然の家	23人																																																					
5	中級研修会事前打合せ2	7月30日(土)	桃生公民館	15人																																																					
6	中級研修会	8月18日(木)～19日(金)	志津川自然の家	15人																																																					
7	防災研修会	8月22日(月)	東松島市コミュニティセンター	3人																																																					
8	上級研修会	12月25日(日)～27日(火)	志津川自然の家	2人																																																					
9	レクリエーション入門研修	1月21日(土)	旧宮戸小体育館	1人																																																					
2 ジュニア・リーダーのボランティア活動支援																																																									
<p>市内子ども会育成会等から要請を受けボランティアとして派遣、子どもたちの指導等を行った。</p> <p>団体による申請数：62回 派遣したジュニア・リーダー数（延べ）：256人 会員数：61人</p>																																																									
成 果	<p>ジュニア・リーダーサークル間の交流活動を増やすことにより、相互に学び合う機会が増え、ジュニア・リーダーたちの活動意欲も高まってきている。また、ジュニア・リーダーの中心的活動である子ども会からの派遣要請は震災前とほぼ同程度の回数になり、復興支援に取り組む団体の活動や、公民館事業に積極的に係わることにより、活動内容の充実と資質の向上を図ることができた。</p>																																																								
成果に係る評価	<p>震災後、活動を休止している雄勝、北上、牡鹿の3地区については、ジュニア・リーダーの活動を再開できるように支援していく必要がある。また、ジュニア・リーダーサークル間の連携を強化し、地区やサークルを越えて活動するなど、柔軟な参加の仕方についても検討していきたいと考える。</p>																																																								
(単位：円)																																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																			
	738,000	372,705				372,705																																																			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	( )																				
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ		( )																				
	1 目	社会教育総務費		( 1 )	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する		( )																				
実施計画掲載ページ		P 100	中 事 業	芸術文化振興費																							
事業コード		005-003-001-00272	事 業 名	青少年文化芸術鑑賞事業																							
目的及び事業内容		<p>芸術鑑賞の機会に恵まれない地域の青少年に対し、優れた生の芸術を鑑賞してもらい、豊かな情操を涵養する。</p> <p>学校の総合的学習時間等を利用して、優秀な舞台芸術の鑑賞機会を提供し、感受性豊かな人間としての育成を図るために必要な事業である。</p>																									
取組実績	1 巡回小劇場																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>公演内容</th> <th>鑑賞学校・鑑賞人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月5日</td> <td>大街道小学校</td> <td>劇団あとも「あとも時間はアンデルセン」</td> <td>大街道小学校（児童219人）</td> </tr> <tr> <td>9月7日</td> <td>飯野川小学校</td> <td>劇団あとも「あとも時間はアンデルセン」</td> <td>飯野川小学校（児童178人）</td> </tr> </tbody> </table>								開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数	9月5日	大街道小学校	劇団あとも「あとも時間はアンデルセン」	大街道小学校（児童219人）	9月7日	飯野川小学校	劇団あとも「あとも時間はアンデルセン」	飯野川小学校（児童178人）							
	開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数																							
9月5日	大街道小学校	劇団あとも「あとも時間はアンデルセン」	大街道小学校（児童219人）																								
9月7日	飯野川小学校	劇団あとも「あとも時間はアンデルセン」	飯野川小学校（児童178人）																								
2 青少年劇場小公演																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>公演内容</th> <th>鑑賞学校・鑑賞人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月3日</td> <td>北上小学校</td> <td>水野与旨久「マリンバコンサート」</td> <td>北上小学校（児童90人）</td> </tr> <tr> <td>10月3日</td> <td>大須小・中学校</td> <td>水野与旨久「マリンバコンサート」</td> <td>大須小・中学校（児童・生徒11人）</td> </tr> <tr> <td>10月4日</td> <td>東浜小学校</td> <td>水野与旨久「マリンバコンサート」</td> <td>東浜小学校（児童14人）</td> </tr> <tr> <td>10月4日</td> <td>牡鹿中学校</td> <td>水野与旨久「マリンバコンサート」</td> <td>牡鹿中学校（生徒44人）</td> </tr> </tbody> </table>								開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数	10月3日	北上小学校	水野与旨久「マリンバコンサート」	北上小学校（児童90人）	10月3日	大須小・中学校	水野与旨久「マリンバコンサート」	大須小・中学校（児童・生徒11人）	10月4日	東浜小学校	水野与旨久「マリンバコンサート」	東浜小学校（児童14人）	10月4日	牡鹿中学校	水野与旨久「マリンバコンサート」	牡鹿中学校（生徒44人）
開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数																								
10月3日	北上小学校	水野与旨久「マリンバコンサート」	北上小学校（児童90人）																								
10月3日	大須小・中学校	水野与旨久「マリンバコンサート」	大須小・中学校（児童・生徒11人）																								
10月4日	東浜小学校	水野与旨久「マリンバコンサート」	東浜小学校（児童14人）																								
10月4日	牡鹿中学校	水野与旨久「マリンバコンサート」	牡鹿中学校（生徒44人）																								
3 文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>公演内容</th> <th>鑑賞学校・鑑賞人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月28日</td> <td>真山小学校</td> <td>カルティベート（現代舞踊）</td> <td>真山小学校（児童202人）</td> </tr> <tr> <td>6月30日</td> <td>山下小学校</td> <td>京都フィルハーモニー室内合奏団</td> <td>山下小学校（児童203人）</td> </tr> <tr> <td>9月1日</td> <td>飯野川中学校</td> <td>凧風会（能）</td> <td>飯野川中学校（生徒99人）</td> </tr> <tr> <td>9月15日</td> <td>門脇中学校</td> <td>東京フィルハーモニー交響楽団</td> <td>門脇中学校（生徒246人）</td> </tr> </tbody> </table>								開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数	6月28日	真山小学校	カルティベート（現代舞踊）	真山小学校（児童202人）	6月30日	山下小学校	京都フィルハーモニー室内合奏団	山下小学校（児童203人）	9月1日	飯野川中学校	凧風会（能）	飯野川中学校（生徒99人）	9月15日	門脇中学校	東京フィルハーモニー交響楽団	門脇中学校（生徒246人）
開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数																								
6月28日	真山小学校	カルティベート（現代舞踊）	真山小学校（児童202人）																								
6月30日	山下小学校	京都フィルハーモニー室内合奏団	山下小学校（児童203人）																								
9月1日	飯野川中学校	凧風会（能）	飯野川中学校（生徒99人）																								
9月15日	門脇中学校	東京フィルハーモニー交響楽団	門脇中学校（生徒246人）																								
4 文化芸術による子供の育成事業（芸術家派遣事業）																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>公演内容</th> <th>鑑賞学校・鑑賞人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月10日、9月11日、11月20日</td> <td>須江小学校</td> <td>茂木寿哉「陶芸」</td> <td>須江小学校（児童36人）</td> </tr> <tr> <td>8月23日、10月12日、10月18日</td> <td>荻浜中学校</td> <td>わらび座「ソーラン節」</td> <td>荻浜中学校（生徒16人）</td> </tr> </tbody> </table>								開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数	7月10日、9月11日、11月20日	須江小学校	茂木寿哉「陶芸」	須江小学校（児童36人）	8月23日、10月12日、10月18日	荻浜中学校	わらび座「ソーラン節」	荻浜中学校（生徒16人）								
開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数																								
7月10日、9月11日、11月20日	須江小学校	茂木寿哉「陶芸」	須江小学校（児童36人）																								
8月23日、10月12日、10月18日	荻浜中学校	わらび座「ソーラン節」	荻浜中学校（生徒16人）																								
成 果	<p>児童・生徒にとっては、一流の文化・芸術に触れさせることで、感性を磨いたり、教養を深めたりする、よい機会となった。また、鑑賞だけではなくワークショップ等の体験的な活動も取り入れられていることにより、興味を持って主体的に活動することができ、楽しさや達成感を得ることができた。</p>																										
成果に係る評価	<p>関係団体と連携を図りながら、質の高い文化・芸術を児童・生徒に提供することができた。各団体のプログラムや体験活動についても綿密に計画されており、児童・生徒の関心を高める工夫が為されていた。今後とも関係団体、学校側とも連絡を密に取り合い、円滑な運営に努める必要がある。</p>																										
(単位：円)																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	1,437,000	896,400				896,400																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	( )	
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ		( )	
	1 目	社会教育総務費		( 1 )	多様な文化芸術活動の広がりや交流を推進する		( )	
実施計画掲載ページ		P100	中 事 業	芸術文化振興費				
事業コード		005-003-001-00271	事 業 名	市美術展実施事業				
目的及び事業内容		美術を通して、石巻市における芸術文化の向上と市民の教養を高めるため、県内外から公募する美術展を開催する。						
取組実績		<p>1 石巻市美術展再開に向けて 平成25年度、震災により流失した市美術展開催用具類を新調、石巻市美術展プレ・リオープン展を開催。平成26年度から公募展を再開している。</p> <p>2 第32回石巻市美術展の開催 ・開催期間 平成28年10月2日～10日 ・開催場所 河北総合センタービッグバン ・出品点数 239点（一般123 高校生47 無鑑査25 遺作出品2 招待5 賛助2 実行委員30 審査員5） ・観覧者数 1,113人 ・受賞者 48名 ・授賞式 平成28年10月2日</p>						
成 果		石巻市美術展は、日本画、洋画、書、彫刻、陶芸の5部門からなる石巻地方最大規模の公募展である。市展を開催することにより、市民の作品発表の場及び芸術鑑賞の機会を提供でき、芸術文化の向上と文化振興に寄与することができた。震災後に再開してから3年目となるが、出品点数はほぼ震災前の水準に達している。しかしながら、観覧者数は震災前の水準には達していない状況である。						
成果に係る評価		平成17年の合併を機にこれまでの実行委員会主催を改め、石巻市・石巻市教育委員会・公益財団法人石巻市芸術文化振興財団（旧文化スポーツ振興公社）の主催とし、実行委員会を主管とする体制で実施しており、会場は文化センターの被災により河北総合センタービッグバンに変更し、平成26年度から公募展を再開している。 出品点数については、震災前の水準にあるものの、若年層の出品が少ないことから、若者の出品者増を実行委員会にて検討している。また、観覧者数については会場の変更による影響もあると考えられるが、十分な情報発信を行い、観覧者増に努める必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	360,000	360,000				360,000		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																																					
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		( )																																					
	1 目	社会教育総務費		( 1 )	地域・家庭の教育力を強化する		( )																																					
実施計画掲載ページ		P31	中 事 業	家庭教育学級開設費																																								
事業コード		002-002-001-00278	事 業 名	家庭教育学級開設事業																																								
目的及び事業内容		<p>(目的) 保護者等を対象に家庭や親のあり方、子育て、子どもの心身の成長、家庭環境等に関する学習機会を提供し、家庭における教育力の向上を図るとともに、参加者相互の交流を通して連帯意識の高揚を図る。</p> <p>(事業内容) 実施機関（幼稚園、保育所・学校単位）ごとに開催 中学校は1回以上、他の実施機関は複数回の開催とする。講話、講演、討議、実技など多様な学習方法により、親のあり方や発達段階に応じて正しい指導ができるようにするなどの学習内容とするとともに、受講生の学習ニーズに配慮し開設する。</p>																																										
取組実績		<p>実施機関のPTA等と協力しながら、地域性や親のニーズに合わせた様々な学習内容により開催されており、また、多くの保護者が集まる効果的な機会を活用して学習の場を提供するなど、身近な地域における家庭教育支援の基盤が確立された。</p> <p>1 開設機関 各地区（石巻、河北、雄勝、河南、桃生、北上、牡鹿）の公民館等 2 実施機関 各地区の幼稚園（私立含む）、保育所（私立含む）、小学校、中学校 3 開設状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開設機関区分</th> <th>実施機関数</th> <th>実施回数</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻地区</td> <td>36 機関</td> <td>78 回</td> <td>5,052 人</td> </tr> <tr> <td>河北地区</td> <td>9 機関</td> <td>19 回</td> <td>1,084 人</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区</td> <td>4 機関</td> <td>6 回</td> <td>175 人</td> </tr> <tr> <td>河南地区</td> <td>16 機関</td> <td>28 回</td> <td>1,937 人</td> </tr> <tr> <td>桃生地区</td> <td>6 機関</td> <td>12 回</td> <td>1,230 人</td> </tr> <tr> <td>北上地区</td> <td>5 機関</td> <td>13 回</td> <td>539 人</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地区</td> <td>4 機関</td> <td>8 回</td> <td>250 人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>80 機関</td> <td>164 回</td> <td>10,267 人</td> </tr> </tbody> </table>							開設機関区分	実施機関数	実施回数	参加者	石巻地区	36 機関	78 回	5,052 人	河北地区	9 機関	19 回	1,084 人	雄勝地区	4 機関	6 回	175 人	河南地区	16 機関	28 回	1,937 人	桃生地区	6 機関	12 回	1,230 人	北上地区	5 機関	13 回	539 人	牡鹿地区	4 機関	8 回	250 人	計	80 機関	164 回	10,267 人
開設機関区分	実施機関数	実施回数	参加者																																									
石巻地区	36 機関	78 回	5,052 人																																									
河北地区	9 機関	19 回	1,084 人																																									
雄勝地区	4 機関	6 回	175 人																																									
河南地区	16 機関	28 回	1,937 人																																									
桃生地区	6 機関	12 回	1,230 人																																									
北上地区	5 機関	13 回	539 人																																									
牡鹿地区	4 機関	8 回	250 人																																									
計	80 機関	164 回	10,267 人																																									
成 果		<p>家庭教育学級の必要性について事前に働きかけ啓発を行った結果、実施機関数は、80機関（幼稚園6園、保育所19所、小学校35校、中学校20校）であり、徐々に増加している状況である。（実施機関数推移 平成26年度75機関 平成27年度78機関）</p> <p>実施機関では、発達段階に即した内容や保護者の希望を取り入れた内容など、多様な学習内容や運営方法で学習会を実施してきており、「今までの子育てを見直してみよう」などの感想が多く見られることから、学習会を通して、子育て・家庭教育の在り方についての理解が広がりつつあり、また、受講した保護者の満足度は高いものである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標（開設回数）</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>160回</td> <td>151回</td> <td>94.4%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>160回</td> <td>153回</td> <td>95.6%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>160回</td> <td>164回</td> <td>102.5%</td> </tr> </tbody> </table>							区分	成果指標（開設回数）		達成率等	目標値	実績等	H26	160回	151回	94.4%	H27	160回	153回	95.6%	H28	160回	164回	102.5%																		
区分	成果指標（開設回数）		達成率等																																									
	目標値	実績等																																										
H26	160回	151回	94.4%																																									
H27	160回	153回	95.6%																																									
H28	160回	164回	102.5%																																									
成果に係る評価		実施機関や地域との連携を深め、地域のニーズに対応した講師や内容を検討し、充実した効果的な事業を行うことで、受講生は、子育てのあり方や家庭教育の重要性について認識が深まっており、今後も、子育てについての理解を深め、望ましい家庭教育ができるよう継続して支援していく必要がある。また、課題としては、実施機関間の取り組みに差異があり、家庭教育学級開設の趣旨を理解した上で、実施機関が主体的に学習会等に反映させることが必要である。																																										
(単位：円)																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																						
	750,000	750,000	750,000																																									

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																						
	6 項	社会教育費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																						
	1 目	社会教育総務費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																						
実施計画掲載ページ		P23	中 事 業	子ども読書活動推進費																									
事業コード		002-001-002-00259	事 業 名	ブックスタート事業																									
目的及び事業内容		乳幼児期からの家庭における読書活動の推進方策の一環として、乳幼児期に絵本との出会いの機会を創出し、さらには絵本の選び方や読み聞かせの方法について保護者へ啓発を行う。																											
取 組 実 績		<p>健康推進課で行っている3・4か月児健診の場において、乳児と保護者に対し、公募によるボランティアが読み聞かせを行いながら、ブックスタートパックを配付した。</p> <table border="1"> <tr> <td>3・4か月児健診</td> <td>対象者数</td> <td>896人</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>受診者数</td> <td>864人</td> </tr> <tr> <td>ブックスタートパック配付者数</td> <td></td> <td>864人</td> </tr> <tr> <td>ブックスタートパック配付率（対対象者）</td> <td></td> <td>96.4%</td> </tr> <tr> <td>ブックスタートパック配付率（対受診者）</td> <td></td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>読み聞かせボランティア会員数</td> <td></td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>読み聞かせボランティア延べ参加者数</td> <td></td> <td>147人</td> </tr> </table>							3・4か月児健診	対象者数	896人	〃	受診者数	864人	ブックスタートパック配付者数		864人	ブックスタートパック配付率（対対象者）		96.4%	ブックスタートパック配付率（対受診者）		100.0%	読み聞かせボランティア会員数		19人	読み聞かせボランティア延べ参加者数		147人
3・4か月児健診	対象者数	896人																											
〃	受診者数	864人																											
ブックスタートパック配付者数		864人																											
ブックスタートパック配付率（対対象者）		96.4%																											
ブックスタートパック配付率（対受診者）		100.0%																											
読み聞かせボランティア会員数		19人																											
読み聞かせボランティア延べ参加者数		147人																											
成 果		3・4か月健診の機会に乳児と保護者を対象に絵本の読み聞かせを行い、絵本を介して赤ちゃんと家族のコミュニケーションを豊かにし、子どもの言語能力と豊かな心を育てることができた。ボランティアの方々の献身的な活動により、円滑に事業を推進することができている。保護者の方からも、事業内容を理解していただき好評を得ている。																											
成果に係る評価		ブックスタート事業は平成22年度から実施し、市民の皆様に着実に定着してきている。この事業は、絵本を配布するだけでなく、3・4か月児健診の場において、ボランティアの方が実際に読み聞かせを行い、その場で手渡ししていることから、事業を安定的に継続させていくためボランティアの確保が必要である。読み聞かせと本のプレゼントを行うことで、保護者には大変喜ばれている。																											
(単位：円)																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																							
	2,182,000	1,893,999	104,000		1,081,000	708,999																							

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	6 項	社会教育費		第3節	新たな時代を創造する人材を育成する		( )	
	1 目	社会教育総務費		(2)	創造力を育てる多様な環境をつくる		( )	
実施計画掲載ページ		P35	中 事 業	協働教育推進事業費				
事業コード		002-003-002-00262	事 業 名	ふるさと子どもカレッジ事業				
目的及び事業内容		地域の資源を活用し、子ども達に郷土の自然、文化を体験的に学ばせることにより、豊かな心を育む教育活動を推進する。						
取 組 実 績		<p>ふるさと子どもカレッジ事業</p> <p>第1回 開校式 ウォークラリー体験 参加者 小学校5・6年生18人（石巻地区14人、河南地区3人、桃生地区1人）</p> <p>第2回 石巻青果花き地方卸売市場見学、航空自衛隊松島基地見学 参加者 小学校5・6年生16人（石巻地区12人、河南地区3人、桃生地区1人）</p> <p>第3回 北上川川下り体験 参加者 小学校5・6年生15人（石巻地区12人、河南地区2人、桃生地区1人）</p> <p>第4回 陶芸体験 参加者 小学校5・6年生16人（石巻地区13人、河南地区2人、桃生地区1人）</p> <p>第5回 ヨシベン作り、硯石クラフト体験 参加者 小学校5・6年生13人（石巻地区11人、河南地区1人、桃生地区1人）</p> <p>第6回 石巻のメディア関係一挙に見学 参加者 小学校5・6年生14人（石巻地区10人、河南地区3人、桃生地区1人）</p> <p>第7回 牡鹿探訪（中止）</p> <p>第8回 閉校式 石巻専修大学出前講座 参加者 小学校5・6年生15人（石巻地区12人、河南地区2人、桃生地区1人）</p> <p>延べ参加者数 107人</p>						
成 果		石巻各地域にある豊かな自然、産業、歴史等の資源に目を向けて、全8回シリーズとして講座を開設した。参加登録者19名が自ら見聞きし、体験する事により郷土に対する理解を深めるとともに、新たな発見をする機会となった。						
成果に係る評価		市内各地区の子ども達が共通の活動を一緒に行う事により、各学校・学年の枠を超えて新たな仲間づくりのきっかけとなった。また、各地域で活動を行っている企業や人材、気づかずに見過ごしている文化や史跡、自然にふれ、ふるさとのすばらしさを再確認することができる事業となった。参加登録者が募集人員（30名）に達していないため、より多くの参加者を募る工夫・改善が必要である。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	123,990	46,865	46,865					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	( )																																														
	6 項	社会教育費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		( )																																														
	1 目	社会教育総務費		( 2 )	創造力を育てる多様な環境をつくる		( )																																														
実施計画掲載ページ		P 36	中 事 業	まちなか実験室事業費																																																	
事業コード		002-003-002-00264	事 業 名	まちなか実験室事業																																																	
目的及び事業内容		小学生を対象に科学実験や自然観察、模擬発明、工作等の参加型学習講座を実施し、学ぶ楽しさ、知る喜びを実感させ、科学に対する興味・関心を高めることにより、創造性と思いやりのある心豊かな子どもたちを育成することを目的とする。																																																			
取組実績		<p>講師、指導者となる団体又は企業への委託事業とし、本庁・総合支所単位でそれぞれ実験室を開催した。</p> <p>1 まちなか実験室実施内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催場所</th> <th>開催日</th> <th>内 容</th> <th>参加人数</th> <th>満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻地区</td> <td>11月10日</td> <td>もしも原子が見えたなら</td> <td>41人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>河北地区</td> <td>9月16日</td> <td>もしも原子が見えたなら</td> <td>30人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区</td> <td>9月26日</td> <td>シャボン玉遊び、水ロケット打上実験ほか</td> <td>5人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>河南地区</td> <td>9月27日</td> <td>もしも原子が見えたなら</td> <td>29人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>桃生地区</td> <td>9月18日</td> <td>北上川でカヌーを使って水に親しもう</td> <td>14人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>北上地区</td> <td>12月1日 12月5日</td> <td>水ロケット打上実験、水のゆくえほか</td> <td>42人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地区</td> <td>10月26日 1月26日</td> <td>シャボン玉遊び、水ロケット打上実験ほか</td> <td>33人</td> <td>96.9%</td> </tr> <tr> <td colspan="3">計</td> <td>194人</td> <td>99.4%</td> </tr> </tbody> </table>							開催場所	開催日	内 容	参加人数	満足度	石巻地区	11月10日	もしも原子が見えたなら	41人	100.0%	河北地区	9月16日	もしも原子が見えたなら	30人	100.0%	雄勝地区	9月26日	シャボン玉遊び、水ロケット打上実験ほか	5人	100.0%	河南地区	9月27日	もしも原子が見えたなら	29人	100.0%	桃生地区	9月18日	北上川でカヌーを使って水に親しもう	14人	100.0%	北上地区	12月1日 12月5日	水ロケット打上実験、水のゆくえほか	42人	100.0%	牡鹿地区	10月26日 1月26日	シャボン玉遊び、水ロケット打上実験ほか	33人	96.9%	計			194人	99.4%
開催場所	開催日	内 容	参加人数	満足度																																																	
石巻地区	11月10日	もしも原子が見えたなら	41人	100.0%																																																	
河北地区	9月16日	もしも原子が見えたなら	30人	100.0%																																																	
雄勝地区	9月26日	シャボン玉遊び、水ロケット打上実験ほか	5人	100.0%																																																	
河南地区	9月27日	もしも原子が見えたなら	29人	100.0%																																																	
桃生地区	9月18日	北上川でカヌーを使って水に親しもう	14人	100.0%																																																	
北上地区	12月1日 12月5日	水ロケット打上実験、水のゆくえほか	42人	100.0%																																																	
牡鹿地区	10月26日 1月26日	シャボン玉遊び、水ロケット打上実験ほか	33人	96.9%																																																	
計			194人	99.4%																																																	
成 果		身近な出来事を科学の視点で捉えることにより、新たな発見や好奇心が芽生えるとともに、五感を働かせる様々な「体験」を通じて、子どもたちに学ぶ楽しさや知る喜びを実感してもらい、創造性と思いやりのある豊かな心を育むことができた。																																																			
成果に係る評価		受講後のアンケート調査結果から、未回答の1名を除き、参加した全ての子どもたちは楽しかったと答えており、科学の実験、ものづくり、自然観察など、学習に対する興味関心を高めることができた。特に、「もしも原子が見えたなら」の実験内容では、子どもたちが分子模型を作ることにより、身近にある原子・分子について関心を持ち、楽しく理解することができた。今後も、子どもたちの興味・関心をとらえ、魅力ある事業内容を展開していく必要がある。																																																			
(単位：円)																																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																															
	600,000	533,921				533,921																																															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	( )																										
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		( )																										
	1 目	社会教育総務費		( 1 )	地域・家庭の教育力を強化する		( )																										
実施計画掲載ページ		P 31	中 事 業	放課後子ども教室推進事業費																													
事業コード		002-002-001-00617	事 業 名	放課後子ども教室推進事業																													
目的及び事業内容		市内小学校区において、公共施設等を活用し、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。																															
取組実績		<p>1 放課後子ども教室推進事業</p> <p>①「和 کوچکクラブ」（河南地域住民自治協議会と渚地区部会へ運営を依頼） ・登録児童数：38人 ・登録ボランティア数：23人</p> <p>②「上釜子ども教室」（上釜町内会、NPO法人にじいろクレヨンへ運営を依頼） ・対象児童数：上釜子ども会70人（自由参加） ・登録ボランティア数：26人</p> <p>2 放課後子ども教室開設に向けての取組</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動内容</th> <th>場 所</th> <th>参加ボランティア延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①和 کوچکクラブ運営会議（2回）</td> <td>和渚コミュニティセンター他</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>②上釜子ども教室運営会議（4回）</td> <td>NPO法人にじいろクレヨン事務所</td> <td>42人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 放課後子ども教室の活動実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動内容</th> <th>日数</th> <th>参加児童延べ人数</th> <th>参加ボランティア延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①和 کوچکクラブ（宿題・自由学習・紙工作など）</td> <td>32日</td> <td>1,056人</td> <td>390人</td> </tr> <tr> <td>②上釜子ども教室（伝統行事体験・工作など）</td> <td>10日</td> <td>106人</td> <td>64人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>1,162人</td> <td>454人</td> </tr> </tbody> </table>							活動内容	場 所	参加ボランティア延べ人数	①和 کوچکクラブ運営会議（2回）	和渚コミュニティセンター他	35人	②上釜子ども教室運営会議（4回）	NPO法人にじいろクレヨン事務所	42人	活動内容	日数	参加児童延べ人数	参加ボランティア延べ人数	①和 کوچکクラブ（宿題・自由学習・紙工作など）	32日	1,056人	390人	②上釜子ども教室（伝統行事体験・工作など）	10日	106人	64人	計		1,162人	454人
活動内容	場 所	参加ボランティア延べ人数																															
①和 کوچکクラブ運営会議（2回）	和渚コミュニティセンター他	35人																															
②上釜子ども教室運営会議（4回）	NPO法人にじいろクレヨン事務所	42人																															
活動内容	日数	参加児童延べ人数	参加ボランティア延べ人数																														
①和 کوچکクラブ（宿題・自由学習・紙工作など）	32日	1,056人	390人																														
②上釜子ども教室（伝統行事体験・工作など）	10日	106人	64人																														
計		1,162人	454人																														
成 果		和 کوچکクラブは、毎週木曜日の放課後、多くのボランティアに見守られながら子どもたちは安心して活動に取り組みすることができた。縦割り班でグループを編成しているので、自然と上級生が下級生の子どもを面倒を見るようになり、思いやりの心が育ってきている。また、子どもたちとボランティア、ボランティア同士、保護者とボランティア、それぞれをつなぐ場として機能している。 なお、平成28年度「地域学校活動」に係る文部科学大臣表彰を受けた。 上釜子ども教室は、平成28年度からの開校であり、手探り状態からのスタートであったが、子どもたちが意欲的に参加した。地域ボランティアは、地域の子どもの地域で育てるという考えのもと、地域の伝統や行事などを熱心に指導した。																															
成果に係る評価		異世代交流を行うことで、縦のつながりも深めることができ、地域に根ざした活動ができてきており、地域の人々に見守られながら体験活動をやり遂げることで学習意欲が向上するとともに、思いやりの気持ちが育っている。 また、地域の人々も、子どもたちの教育に協力を惜みず、子どもたちと共に放課後子ども教室に参画することに生きがいを見出しており、地域教育力の向上にも役立っている。 今後は、持続的な運営の仕方やボランティアの研修などによる指導力や意識の向上などを図りながら継続する必要があるとともに、ボランティアの人員確保を行っていきたい。																															
(単位：円)																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																											
	1,558,000	946,235	946,235																														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																																																													
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		( )																																																													
	1 目	社会教育総務費		( 1 )	地域・家庭の教育力を強化する		( )																																																													
実施計画掲載ページ	P30		中 事 業	協働教育推進事業費																																																																
事業コード	002-002-001-00260	事 業 名	協働教育推進事業																																																																	
目的及び事業内容	<p>学校・家庭・地域が協働して、子どもたちの生きる力を育む教育活動の充実・改善を目指し、社会の中でたくましく生きる子どもを地域全体で育むことを目的とする。</p> <p>また、実施校における成果と課題を広く市内の小学校等に情報提供することで、市内における協働教育推進気運の醸成と協働教育の充実・改善につなげるものとする。</p>																																																																			
取組実績	<p>1 協働教育支援会議開催（全2回） 6月7日 23人出席 2月8日 17人出席</p> <p>2 協働教育推進事業（市内4小学校区推進協議会へ委託）</p> <p>(1) 蛇田小学校区協働教育推進事業</p> <table border="1"> <tr><th>活動内容</th><th>回数</th><th>参加延べ人数</th></tr> <tr><td>①授業の補助</td><td>8回</td><td>36人</td></tr> <tr><td>②環境整備</td><td>2回</td><td>10人</td></tr> <tr><td>③登下校・安全指導</td><td>30回</td><td>163人</td></tr> <tr><td>④学校行事</td><td>2回</td><td>9人</td></tr> </table> <p>(2) 貞山小学校区協働教育推進事業</p> <table border="1"> <tr><th>活動内容</th><th>回数</th><th>参加延べ人数</th></tr> <tr><td>①授業の補助</td><td>28回</td><td>981人</td></tr> <tr><td>②環境整備</td><td>8回</td><td>275人</td></tr> <tr><td>③登下校・安全指導</td><td>1回</td><td>34人</td></tr> <tr><td>④学校行事</td><td>2回</td><td>70人</td></tr> </table> <p>(3) 万石浦小学校区協働教育推進事業</p> <table border="1"> <tr><th>活動内容</th><th>回数</th><th>参加延べ人数</th></tr> <tr><td>①授業の補助</td><td>13回</td><td>302人</td></tr> <tr><td>②環境整備</td><td>2回</td><td>45人</td></tr> <tr><td>③登下校・安全指導</td><td>2回</td><td>48人</td></tr> <tr><td>④学校行事</td><td>2回</td><td>45人</td></tr> </table> <p>(4) 渡波中学校区協働教育推進事業</p> <table border="1"> <tr><th>活動内容</th><th>回数</th><th>参加延べ人数</th></tr> <tr><td>①授業の補助</td><td>0回</td><td>0人</td></tr> <tr><td>②環境整備</td><td>0回</td><td>0人</td></tr> <tr><td>③登下校・安全指導</td><td>0回</td><td>0人</td></tr> <tr><td>④学校行事</td><td>8回</td><td>67人</td></tr> </table>								活動内容	回数	参加延べ人数	①授業の補助	8回	36人	②環境整備	2回	10人	③登下校・安全指導	30回	163人	④学校行事	2回	9人	活動内容	回数	参加延べ人数	①授業の補助	28回	981人	②環境整備	8回	275人	③登下校・安全指導	1回	34人	④学校行事	2回	70人	活動内容	回数	参加延べ人数	①授業の補助	13回	302人	②環境整備	2回	45人	③登下校・安全指導	2回	48人	④学校行事	2回	45人	活動内容	回数	参加延べ人数	①授業の補助	0回	0人	②環境整備	0回	0人	③登下校・安全指導	0回	0人	④学校行事	8回	67人
	活動内容	回数	参加延べ人数																																																																	
	①授業の補助	8回	36人																																																																	
	②環境整備	2回	10人																																																																	
	③登下校・安全指導	30回	163人																																																																	
	④学校行事	2回	9人																																																																	
	活動内容	回数	参加延べ人数																																																																	
	①授業の補助	28回	981人																																																																	
	②環境整備	8回	275人																																																																	
	③登下校・安全指導	1回	34人																																																																	
④学校行事	2回	70人																																																																		
活動内容	回数	参加延べ人数																																																																		
①授業の補助	13回	302人																																																																		
②環境整備	2回	45人																																																																		
③登下校・安全指導	2回	48人																																																																		
④学校行事	2回	45人																																																																		
活動内容	回数	参加延べ人数																																																																		
①授業の補助	0回	0人																																																																		
②環境整備	0回	0人																																																																		
③登下校・安全指導	0回	0人																																																																		
④学校行事	8回	67人																																																																		
成 果	<p>協働教育については保護者や地域の方々、NPO団体等の協力を得ながら推進したことにより、連携が深まり、児童・生徒にとってより有意義な活動を実施することができた。また、協働教育への協力を呼びかける中で、新たな人材との出会いが生まれ、活動の充実につながった。</p>																																																																			
成果に係る評価	<p>各学校でこれまで取り組んできた活動を、保護者や地域の方々や協働して行うことにより、様々な相乗効果生まれ、これまで以上に有意義な活動を行うことができた。</p> <p>今後さらに協働教育を広げていくため、各小学校区への取組を発信強化し、より多くの方々に理解してもらい、協力を得られるような働きかけが必要である。</p>																																																																			
(単位：円)																																																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																														
	500,000	395,832	395,832																																																																	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心豊かな誇れるまち	復興計画	( )																									
	6 項	社会教育費		第 4 節	市民が個性を生かして輝ける機会をつくる		( )																									
	4 目	図書館費		( 1 )	市民の主体的な学習活動を支援する		( )																									
実施計画掲載ページ	P101		中 事 業	図書館活動費																												
事業コード	005-004-001-276	事 業 名	読書環境整備事業																													
目的及び事業内容	<p>図書館法第3条に基づき、必要な資料を収集し市民の利用に供する。公立図書館は「図書、記録その他必要な資料・情報を収集、整理、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するとともに、市民の教育と文化の発展に寄与する」ことを目的としている。これらを踏まえ、市民の要望に応えるため、魅力ある図書資料や情報の収集・提供に努め、図書館サービスを推進する。</p>																															
取組実績	<p>1 新刊書や児童書を中心とした図書資料の購入・貸出 新刊書や児童書を中心に、図書館で選定した図書及び、市民からのリクエストに基づいた図書資料を購入し、市民に提供した。</p> <p>2 レファレンス等による関連図書資料の貸出 レファレンス（調査・相談）業務に基づき、テーマに関連した図書資料を紹介するとともに、貸出を行った。</p> <p>3 子ども読書活動事業 「あかちゃんおはなし会」、「たのしいおはなし会」を毎月2回実施、河北・桃生分館では、「おはなし会」を毎月1回開催している。各事業ともボランティアとの協働により実施している。また、発達段階に応じ、「あかちゃん」、「3・4歳児」、「読み聞かせ」等に分類した絵本を配置して、絵本の選本を容易にし、利用しやすい環境作りを行った。</p> <p>4 子育て支援事業 子育て支援センターをはじめ各施設では、読み聞かせ、手遊び、わらべうたを通じて、読書習慣の重要性を周知し、保護者へは、成長に応じた絵本の選び方や読み聞かせの仕方を指導した。</p> <p>5 学校支援事業 学級貸出、学習支援貸出を実施し、また、学校図書館との連携強化のため、学校訪問により学校図書室が抱える問題などの調査や相談を受けた。一方で、学校図書館の充実に向け、学校司書への研修を行った。</p>																															
	成 果	<p>・H21年度には357,021冊を数えた貸出冊数は、震災の影響によりH23年度には167,048冊まで激減したが、H26年度288,942冊、H27年度は291,341冊、H28年度は291,846冊と回復しつつある。</p> <p>・図書の購入については、新刊、話題の図書及び児童書を中心に購入するとともに、郷土資料の収集に努め、市民からのリクエスト図書は購入や他館からの借受けて対応した。</p> <p>・東日本大震災に関する郷土資料を積極的に収集し、市民へ提供するとともに、後世へ「知の遺産」として保存すべく整備を行った。</p> <p>・館内でのレファレンスサービス提供により、市民の利便性向上を行った。</p> <p>・仮設住宅団地は減少しているが、移動図書館車が2週間に一度巡回し被災者支援を図った。</p> <table border="1"> <tr><th>主な指標項目</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th></tr> <tr><td>図書購入冊数</td><td>5,930冊</td><td>5,957冊</td><td>6,725冊</td></tr> <tr><td>貸出冊数</td><td>288,942冊</td><td>291,341冊</td><td>291,846冊</td></tr> <tr><td>(うち移動図書館車)</td><td>(19,311冊)</td><td>(15,430冊)</td><td>(12,364冊)</td></tr> <tr><td>リクエスト処理件数</td><td>9,810件</td><td>10,442件</td><td>10,336件</td></tr> <tr><td>調査相談サービス</td><td>1,252件</td><td>1,389件</td><td>1,687件</td></tr> </table>								主な指標項目	H26	H27	H28	図書購入冊数	5,930冊	5,957冊	6,725冊	貸出冊数	288,942冊	291,341冊	291,846冊	(うち移動図書館車)	(19,311冊)	(15,430冊)	(12,364冊)	リクエスト処理件数	9,810件	10,442件	10,336件	調査相談サービス	1,252件	1,389件
主な指標項目	H26	H27	H28																													
図書購入冊数	5,930冊	5,957冊	6,725冊																													
貸出冊数	288,942冊	291,341冊	291,846冊																													
(うち移動図書館車)	(19,311冊)	(15,430冊)	(12,364冊)																													
リクエスト処理件数	9,810件	10,442件	10,336件																													
調査相談サービス	1,252件	1,389件	1,687件																													
成果に係る評価	<p>・H28年度の貸出冊数については、前年度を若干上回る結果となった。</p> <p>・各種事業をとらえて、読書習慣の重要性を周知することができた。</p> <p>・H28年度から学校司書の配置が一部で始まり、学校図書室との連携を強化できた。</p> <p>・移動図書館サービスは、仮設住宅団地からの退去者が増え利用件数が減少してきているため、巡回団地の見直しを行った。今後も仮設住宅団地の集約状況を注視しながら事業をすすめていく。</p> <p>・資料購入費を増額し、多様な資料群を揃え、貸出サービスを充実させた。</p>																															
(単位：円)																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																										
	12,000,000	12,000,000					12,000,000																									

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	( )	
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ		( )	
	10 目	河北総合センター費		( 1 )	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する		( )	
実施計画掲載ページ		P100	中 事 業	河北総合センター管理費				
事業コード		005-003-001-00607	事 業 名	河北総合センター施設改修事業				
目的及び事業内容		開館以来、23年が過ぎた施設の経年劣化による設備不良箇所について、年次計画により、順次、改修を行い、利用者に安心・安全で快適な施設の提供を図る。						
取組実績		<p>平成24年度 河北総合センター音響設備更新事業</p> <p>平成25年度 河北総合センター直流電源装置蓄電池交換修繕事業</p> <p>平成26年度 河北総合センター施設改修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央監視装置及び冷温水発生機修繕 28,620千円</li> <li>・エレベーター修繕 962千円</li> <li>・非常用ディーゼル発電機電池触媒栓修繕 157千円</li> <li>・ランニングマシン修繕 193千円</li> </ul> <p>平成27年度 河北総合センター施設改修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化交流ホール照明修繕 69,120千円</li> <li>・緞帳巻上機修繕 5,184千円</li> <li>・照明制御設備修繕 7,236千円</li> <li>・文化交流ホールサスペンションライト用しず枠修繕 486千円</li> </ul> <p>平成28年度 河北総合センター施設改修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気設備修繕（自動火災報知設備） 11,772千円</li> <li>・券売機更新 637千円</li> </ul>						
成 果		経年劣化した河北総合センター電気設備（自動火災報知設備）が修繕されたことにより、安心・安全な施設の提供ができ、利用者の利便性向上が図られた。						
成果に係る評価		河北総合センター電気設備（自動火災報知設備）が修繕されたことにより、安心・安全な施設の提供ができ、利用者の利便性向上が図られた。開館から23年が経過し、施設並びに各設備において老朽、不具合を抱えており、計画的に修繕を進めていく必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	35,471,912		12,408,120			11,700,000		708,120

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	( )																													
	6 項	社会教育費		第 節			( )																													
	10 目	河北総合センター費		( )			( )																													
実施計画掲載ページ			中 事 業	河北総合センター管理費																																
事業コード			事 業 名	河北総合センター管理運営事業																																
目的及び事業内容		スポーツ、文化、学習及び交流活動の普及振興を図り、もって市民の心身の健全な発達と福祉の増進に資する。																																		
取組実績		<p>1 年間利用者数の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホール（楽屋含む）</td> <td>33,312人</td> <td>23,149人</td> <td>30,598人</td> </tr> <tr> <td>アリーナ</td> <td>29,082人</td> <td>39,207人</td> <td>35,578人</td> </tr> <tr> <td>トレーニング室</td> <td>4,430人</td> <td>4,171人</td> <td>3,780人</td> </tr> <tr> <td>柔剣道場</td> <td>8,770人</td> <td>8,985人</td> <td>8,619人</td> </tr> <tr> <td>会議室等その他の部屋</td> <td>40,143人</td> <td>53,140人</td> <td>48,698人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>115,737人</td> <td>128,652人</td> <td>127,273人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 指定管理者による管理運営</p> <p>①指定管理者 公益財団法人石巻市芸術文化振興財団</p> <p>②指定管理料 94,582,000円（平成28年度）</p> <p>③指定期間 平成26年4月1日から平成31年3月31日まで</p>							区 分	H26	H27	H28	ホール（楽屋含む）	33,312人	23,149人	30,598人	アリーナ	29,082人	39,207人	35,578人	トレーニング室	4,430人	4,171人	3,780人	柔剣道場	8,770人	8,985人	8,619人	会議室等その他の部屋	40,143人	53,140人	48,698人	計	115,737人	128,652人	127,273人
区 分	H26	H27	H28																																	
ホール（楽屋含む）	33,312人	23,149人	30,598人																																	
アリーナ	29,082人	39,207人	35,578人																																	
トレーニング室	4,430人	4,171人	3,780人																																	
柔剣道場	8,770人	8,985人	8,619人																																	
会議室等その他の部屋	40,143人	53,140人	48,698人																																	
計	115,737人	128,652人	127,273人																																	
成 果		平成26年度より指定管理による運営がなされており、指定管理者独自の改革により、休日の利用時間延長、申請手続き等の負担軽減、ホームページ等の整理による情報内容の充実等により、利用者の利便性向上が図られている。 平成27年度は、ホール照明設備等の修繕を行い、利用者の利便性向上を図った。 平成28年度は、施設の利用者数は横ばいとなったが電気設備（自動火災報知設備）等の修繕により使用者及び来場者の安全な施設の提供ができた。																																		
成果に係る評価		平成26年度より指定管理になり、休日の利用時間延長や申請手続き等が改善され、順調な運営がなされていると判断できるため、これからも期待したい。 また、電気設備（自動火災報知設備）が修繕されたことにより、安心・安全な施設の提供ができ、利用者の利便性向上が図られた。																																		
(単位：円)																																				
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																															
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	94,700,000		94,582,000					94,582,000																												

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	( )																												
	6 項	社会教育費		第 節			( )																												
	11 目	遊楽館費		( )			( )																												
実施計画掲載ページ			中 事 業		遊楽館管理費																														
事業コード			事 業 名		遊楽館管理運営事業																														
目的及び事業内容			スポーツ、文化、学習及び交流活動の普及振興を図り、もって市民の心身の健全な発達と福祉の増進に資する。																																
取 組 実 績	1 年間利用者数の状況 ・遊楽館																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホール（楽屋・リハーサル室含む）</td> <td>27,626人</td> <td>30,328人</td> <td>24,460人</td> </tr> <tr> <td>アリーナ</td> <td>24,710人</td> <td>28,410人</td> <td>32,065人</td> </tr> <tr> <td>トレーニング室</td> <td>5,591人</td> <td>5,849人</td> <td>6,278人</td> </tr> <tr> <td>会議室・和室</td> <td>26,120人</td> <td>24,322人</td> <td>22,721人</td> </tr> <tr> <td>その他（調理室・多目的室・視聴覚室等）</td> <td>7,441人</td> <td>9,374人</td> <td>10,514人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>91,488人</td> <td>98,283人</td> <td>96,038人</td> </tr> </tbody> </table>								区 分	H26	H27	H28	ホール（楽屋・リハーサル室含む）	27,626人	30,328人	24,460人	アリーナ	24,710人	28,410人	32,065人	トレーニング室	5,591人	5,849人	6,278人	会議室・和室	26,120人	24,322人	22,721人	その他（調理室・多目的室・視聴覚室等）	7,441人	9,374人	10,514人	計	91,488人	98,283人
区 分	H26	H27	H28																																
ホール（楽屋・リハーサル室含む）	27,626人	30,328人	24,460人																																
アリーナ	24,710人	28,410人	32,065人																																
トレーニング室	5,591人	5,849人	6,278人																																
会議室・和室	26,120人	24,322人	22,721人																																
その他（調理室・多目的室・視聴覚室等）	7,441人	9,374人	10,514人																																
計	91,488人	98,283人	96,038人																																
・河南室内プール 利用者数：33,427人 3月末会員数：498人（前年比71人増）																																			
2 指定管理者による管理運営 ・遊楽館																																			
①指定管理者 公益財団法人石巻市芸術文化振興財団 ②指定管理料 103,229,000円（平成28年度） ③指定期間 平成26年4月1日から平成31年3月31日まで																																			
・河南室内プール ①指定管理者 石巻市体育協会・ミズノグループ ②指定管理料 16,374,000円（平成28年度） ③指定期間 平成24年4月1日から平成29年3月31日まで																																			
成 果			平成26年度より指定管理による運営がなされており、市民が利用しやすい雰囲気作りと利用目的を十分に果たせるように休日の利用時間延長、申請手続きの負担軽減等により、利用者の利便性向上が図られている。 室内プールについても、平成24年度から現在の指定管理者により運営され、スクール事業の実施など自主事業の宣伝告知に努め、より良いサービス・運動プログラムを提供したことにより、利用者の健康増進が図られ、利用も増えてきている。																																
成果に係る評価			遊楽館の年間利用者数については、平成27年度から2,245人減となっているが、平成26年度より4,550人増となっている。また、室内プールは平成27年度から3,069人増、会員数71人増となっており、順調な運営がなされていると判断ができるが、今後もより多くの方々にご利用してもらえるように努めていきたい。 なお、遊楽館の各施設により利用者数の増減が見られるので、利用状況の把握に努め、利用者の利便性の向上を図りたい。																																
（単位：円）																																			
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																														
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																											
	120,099,270		119,603,000					119,603,000																											

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	( )												
	6 項	社会教育費		第 節			( )												
	11 目	遊楽館費		( )			( )												
実施計画掲載ページ			中 事 業		かなんパークゴルフ場運営費														
事業コード			事 業 名		かなんパークゴルフ場管理運営事業														
目的及び事業内容			市民にパークゴルフを通してスポーツの楽しさと、ふれあいの場を提供し体力向上や健康増進を図る。																
取 組 実 績	1 年間利用状況																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>41,583人</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>32,526人</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>44,227人</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>49,944人</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>52,970人</td> </tr> </tbody> </table>								年度	利用人数	H24	41,583人	H25	32,526人	H26	44,227人	H27	49,944人	H28
年度	利用人数																		
H24	41,583人																		
H25	32,526人																		
H26	44,227人																		
H27	49,944人																		
H28	52,970人																		
2 指定管理者による管理運営																			
①指定管理者 有限会社ふれあいパーク ②指定管理料 11,895,000円（平成28年度） ③指定期間 平成27年4月1日～平成32年3月31日 ④実施事業																			
・初心者への指導、講習会（随時） ・各種大会の開催 ・快適なゴルフ場を目指すための施設整備（芝管理、立木の維持、施設の点検維持管理）																			
成 果			平成28年度の利用者数は、自主事業の講習会及び各種大会の開催、また天候にも恵まれ、前年比3,026人増の52,970人となった。これは平成17年度開場以来の最高値であり、順調な伸びを示している。 また、地域住民のふれあいや健康・体力作りなど様々な需要に柔軟に対応しており、地域に密着した施設として管理運営が図られた。																
成果に係る評価			指定管理者の自主事業として開催している初心者講習やイベントなどのスポーツ意識の高揚を図る事業の実施やプログラムの提供、スポーツに関する情報を多数発信することで、利用者の利便性向上が図られており、過去最高の利用者数となった。パークゴルフに親しむ方々に、より多く来場していただける機会を提供できた。																
（単位：円）																			
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳														
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源											
	11,910,000		11,905,000					11,905,000											

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																										
	6 項	社会教育費				( 1 )	未来の人を育てる																										
	13 目	東日本大震災関係費				( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																										
実施計画掲載ページ		P204	中 事 業	震災復興芸術文化事業費																													
事業コード		004-101-004-00514	事 業 名	文化芸術事業																													
目的及び事業内容		市民の心の豊かさの復興が真の復興となるという考えから、市民への芸術鑑賞機会の提供など、被災者を対象とした事業及び一般市民を対象とし、復興支援コンサート、市外への移動鑑賞ツアー、学校等へのアウトリーチ事業を実施する。																															
取 組 実 績		<p>文化芸術事業に関するノウハウを有する、石巻市芸術文化振興財団に事業を委託し実施した。</p> <p>1 被災者を対象とした芸術鑑賞事業  (1) 仮設住宅集会所及び小ホールを利用した事業 5件 5回 368名参加</p> <p>2 被災者を対象とした文化芸術参加型事業  (1) 仮設住宅集会所及び市内の公民館等を利用した事業 8件 19回 1,460名参加</p> <p>3 被災児童生徒を対象とした文化芸術事業  (1) 被災した小中学校及び幼稚園等を対象とした事業（アウトリーチ） 4件 9回 1,039名参加</p> <p>4 一般市民を対象とした復興をテーマとした文化芸術事業  (1) 市内の体育施設等を利用した大型事業 2件 2回 2,066名参加  (2) 市内の小ホール等を利用した事業 8件 10回 3,317名参加  (3) 市外への移動鑑賞ツアー 2件 2回 97名参加  (4) 小中高等学校等でのアウトリーチ事業 5件 9回 1,028名参加  合計 34件 56回 9,375名参加</p>																															
成 果		<p>市民の「心の豊かさの復興」のため、文化芸術に接する機会を提供することができた。</p> <p>事業の実施回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>50回</td> <td>67回</td> <td>134.0%</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>50回</td> <td>59回</td> <td>118.0%</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>50回</td> <td>50回</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>50回</td> <td>68回</td> <td>136.0%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>50回</td> <td>56回</td> <td>112.0%</td> </tr> </tbody> </table>						区分	成果指標		達成率	目標値	実績等	H24	50回	67回	134.0%	H25	50回	59回	118.0%	H26	50回	50回	100.0%	H27	50回	68回	136.0%	H28	50回	56回	112.0%
区分	成果指標		達成率																														
	目標値	実績等																															
H24	50回	67回	134.0%																														
H25	50回	59回	118.0%																														
H26	50回	50回	100.0%																														
H27	50回	68回	136.0%																														
H28	50回	56回	112.0%																														
成果に係る評価		<p>芸術文化活動の拠点であった市民会館・文化センターが被災し代替施設がない中で、相手方へ向くアウトリーチ事業をはじめとする芸術文化事業を積極的に実施できた。達成率は112%であり、事業の目的は達成できたといえる。しかしながら、「心の豊かさの復興」についてはいまだ途上であり、今後も活力ある社会の形成につなげていくために当該事業を継続する必要がある。</p> <p>なお、震災から6年が経ち、今後は時間の経過による需要の変化が生じるものと予想されるので、柔軟な対応により実施することが望ましいと考える。</p>																															
(単位：円)																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																											
	14,040,000	14,040,000					14,040,000																										

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																																						
	6 項	社会教育費				( 1 )	未来の人を育てる																																																						
	13 目	東日本大震災関係費				( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																																																						
実施計画掲載ページ		P204	中 事 業	震災復興芸術文化事業費																																																									
事業コード		004-101-004-00515	事 業 名	市民の文化芸術活動に対するサポート事業〔復興基金〕																																																									
目的及び事業内容		芸術文化の推進には、市民団体である文化協会と行政が協働して推進することが重要であり、その活動を通じて地域の芸術文化の発展を助長するとともに、地域文化の振興と向上に寄与する。文化協会は今後とも本市の芸術文化の推進に欠かせない民間団体である。																																																											
取 組 実 績		<p>1 石巻市文化協会の運営の支援  以下の目的のため設立した石巻市文化協会の運営を支援した。  (1) 地域の芸術文化の発展を助長するとともに、その活動を通じて地域文化の振興と向上に寄与する。  (2) 芸術文化団体相互の連絡調整を図る。  (3) 内外の優れた芸術団体の交流  (4) 歴史・伝統・文化を生かした街づくりの推進に寄与する。</p> <p>2 石巻市文化協会の概要 (平成28年4月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設立年月日</th> <th>加盟団体数</th> <th>会員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻市文化協会</td> <td>平成17年6月18日</td> <td>約180団体</td> <td>約5,800人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 主要事業（地区別）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>開催期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第20回みやぎ県民文化祭（於名取市）</td> <td>平成28年10月22日～23日</td> </tr> <tr> <td>第37回宮城県文連運営研修会（主管：大崎地区文連）</td> <td>平成28年12月5日～6日</td> </tr> <tr> <td>リボンアートフェスティバル（後援：石巻）</td> <td>平成28年7月30日～31日</td> </tr> <tr> <td>第22回石巻芸術文化祭（展示：石巻）</td> <td>平成28年10月8日～10日</td> </tr> <tr> <td>第22回石巻芸術文化祭（舞台公演：石巻）</td> <td>平成28年10月23日</td> </tr> <tr> <td>復興支援「市民合唱祭」（石巻）</td> <td>平成28年10月30日</td> </tr> <tr> <td>かほく寄席（河北）</td> <td>平成28年7月8日</td> </tr> <tr> <td>かほく文化祭（河北）</td> <td>平成28年10月30日～11月3日</td> </tr> <tr> <td>石巻市東日本大震災6周年追悼式典（河北）</td> <td>平成29年3月11日</td> </tr> <tr> <td>「高橋英吉」文化講演会（雄勝）</td> <td>平成28年10月15日</td> </tr> <tr> <td>篠笛教室（雄勝）</td> <td>平成28年12月3日～（5回開催）</td> </tr> <tr> <td>「アンネの日記」による映画上映/講演会（雄勝）</td> <td>平成29年2月4日</td> </tr> <tr> <td>かなん文化まつり（河南）</td> <td>平成28年6月26日</td> </tr> <tr> <td>第9回「石巻市合同文化祭」（担当：河南）</td> <td>平成28年9月4日</td> </tr> <tr> <td>かなんまつり（河南）</td> <td>平成28年11月5日</td> </tr> <tr> <td>さつき盆栽展示会（桃生）</td> <td>平成28年6月11日～12日</td> </tr> <tr> <td>桃生地区芸能祭（桃生）</td> <td>平成28年6月12日</td> </tr> <tr> <td>桃生地区文化祭・菊花展（桃生）</td> <td>平成28年11月5日～11月6日</td> </tr> <tr> <td>春の山野草展（北上）</td> <td>平成28年5月7日～8日</td> </tr> <tr> <td>ふるさと復興支援演芸会（北上）</td> <td>平成28年5月17日</td> </tr> <tr> <td>秋の山野草展（北上）</td> <td>平成28年10月1日～2日</td> </tr> <tr> <td>第4回歴史探訪会「飯田口説」（北上）</td> <td>平成28年11月3日</td> </tr> </tbody> </table>						名称	設立年月日	加盟団体数	会員数	石巻市文化協会	平成17年6月18日	約180団体	約5,800人	事業名	開催期間	第20回みやぎ県民文化祭（於名取市）	平成28年10月22日～23日	第37回宮城県文連運営研修会（主管：大崎地区文連）	平成28年12月5日～6日	リボンアートフェスティバル（後援：石巻）	平成28年7月30日～31日	第22回石巻芸術文化祭（展示：石巻）	平成28年10月8日～10日	第22回石巻芸術文化祭（舞台公演：石巻）	平成28年10月23日	復興支援「市民合唱祭」（石巻）	平成28年10月30日	かほく寄席（河北）	平成28年7月8日	かほく文化祭（河北）	平成28年10月30日～11月3日	石巻市東日本大震災6周年追悼式典（河北）	平成29年3月11日	「高橋英吉」文化講演会（雄勝）	平成28年10月15日	篠笛教室（雄勝）	平成28年12月3日～（5回開催）	「アンネの日記」による映画上映/講演会（雄勝）	平成29年2月4日	かなん文化まつり（河南）	平成28年6月26日	第9回「石巻市合同文化祭」（担当：河南）	平成28年9月4日	かなんまつり（河南）	平成28年11月5日	さつき盆栽展示会（桃生）	平成28年6月11日～12日	桃生地区芸能祭（桃生）	平成28年6月12日	桃生地区文化祭・菊花展（桃生）	平成28年11月5日～11月6日	春の山野草展（北上）	平成28年5月7日～8日	ふるさと復興支援演芸会（北上）	平成28年5月17日	秋の山野草展（北上）	平成28年10月1日～2日	第4回歴史探訪会「飯田口説」（北上）	平成28年11月3日
名称	設立年月日	加盟団体数	会員数																																																										
石巻市文化協会	平成17年6月18日	約180団体	約5,800人																																																										
事業名	開催期間																																																												
第20回みやぎ県民文化祭（於名取市）	平成28年10月22日～23日																																																												
第37回宮城県文連運営研修会（主管：大崎地区文連）	平成28年12月5日～6日																																																												
リボンアートフェスティバル（後援：石巻）	平成28年7月30日～31日																																																												
第22回石巻芸術文化祭（展示：石巻）	平成28年10月8日～10日																																																												
第22回石巻芸術文化祭（舞台公演：石巻）	平成28年10月23日																																																												
復興支援「市民合唱祭」（石巻）	平成28年10月30日																																																												
かほく寄席（河北）	平成28年7月8日																																																												
かほく文化祭（河北）	平成28年10月30日～11月3日																																																												
石巻市東日本大震災6周年追悼式典（河北）	平成29年3月11日																																																												
「高橋英吉」文化講演会（雄勝）	平成28年10月15日																																																												
篠笛教室（雄勝）	平成28年12月3日～（5回開催）																																																												
「アンネの日記」による映画上映/講演会（雄勝）	平成29年2月4日																																																												
かなん文化まつり（河南）	平成28年6月26日																																																												
第9回「石巻市合同文化祭」（担当：河南）	平成28年9月4日																																																												
かなんまつり（河南）	平成28年11月5日																																																												
さつき盆栽展示会（桃生）	平成28年6月11日～12日																																																												
桃生地区芸能祭（桃生）	平成28年6月12日																																																												
桃生地区文化祭・菊花展（桃生）	平成28年11月5日～11月6日																																																												
春の山野草展（北上）	平成28年5月7日～8日																																																												
ふるさと復興支援演芸会（北上）	平成28年5月17日																																																												
秋の山野草展（北上）	平成28年10月1日～2日																																																												
第4回歴史探訪会「飯田口説」（北上）	平成28年11月3日																																																												
成 果		文化協会及び文化団体の事業を支援することにより、芸術文化の普及振興に寄与することができた。また、石巻市内外の芸術文化団体相互の交流を図ることで、地域のコミュニティーづくりを促進した。																																																											
成果に係る評価		震災から6年が経過し、少しずつ回復傾向にあるが、依然として会員の減少といった問題に直面している団体もある。伝統文化の保存継承の面からも、継続して支援していく必要がある。																																																											
(単位：円)																																																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																							
	1,645,000	1,645,000					1,645,000																																																						

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	6 項	社会教育費				( 1 )	未来の人を育てる
	13 目	東日本大震災関係費				( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画掲載ページ		P203	中 事 業		齋藤氏庭園修復整備事業費		
事業コード		004-101-003-00510	事 業 名		国指定名勝齋藤氏庭園復旧事業		
目的及び事業内容		宮城県北部連続地震及び東日本大震災により、損傷した庭園及び建物を修復し、国指定名勝として永く保存活用する。					
取 組 実 績		齋藤氏庭園保存修理工事の実施。 平成26年度から前土蔵・後土蔵の半解体工事として、木工事、屋根工事、左官工事、雑工事を行っており、平成28年度は主に左官工事の土壁塗を実施した。また、昨年、耐震診断に必要な建物構造調査・現況構造図作成のための調査を実施した住宅について、屋根解体工事を実施した。さらに、工事入札不調等契約事務に時間を要し、土壁の乾燥期間の変更・延長があり、一部、工程の変更を行い、乾燥期間に腰板の古色塗りや後土蔵の海鼠壁の洗浄等を行い、工事全工程に遅れが出ないように調整を行った。					
成 果		庭園内の建造物については、国指定名勝内の建造物であることから、保存修復工事とともに調査・図面作成、修復計画の検討を行っている。平成26年度からの前土蔵及び後土蔵の半解体工事では、左官工事としての内外面土壁の修復（壁土塗り）と窓廻りの修復も実施した。また、住宅の屋根の解体を行い、屋根瓦を再利用出来るかの確認を行い、再利用出来るものは、洗浄し保管した。さらに瓦の総数と製作する瓦の枚数の調査を実施した。					
成果に係る評価		平成23年度から平成25年度までの緊急補修工事では、茅葺屋根の葺き替えや傾いていた仕切り塀を修復し、建物等の劣化を防いだ。平成26年度からの保存修理については、文化財としての価値を十分に考慮し、解体と同時に建物調査を行い、市民や観光客にも親しんでもらえるような形で、文化庁や県の指導を受けながら計画的に実施していく必要がある。また、解体工事の際に実施している調査や今回のように、工事入札の不調により工程の変更が必要になった場合は、今後の工事工程や仕様の変更等を行い、工事全体の遅れが生じないように工夫しながら進める必要がある。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	163,650,000	162,547,535	42,756,000			119,791,535	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	6 項	社会教育費				( 1 )	未来の人を育てる
	13 目	東日本大震災関係費				( 2 )	社会教育施設・社会体育施設の復旧・復興
実施計画掲載ページ		P203	中 事 業		複合文化施設整備事業費		
事業コード		004-101-002-00509	事 業 名		複合文化施設整備事業〔復興基金〕		
目的及び事業内容		東日本大震災により被災し解体した石巻文化センターと石巻市民会館の再建に当たり、博物館機能と文化ホール機能を併せ持つ複合文化施設として建設し、石巻市の芸術文化活動の拠点整備を図る。					
取 組 実 績		設計業者及び展示設計業者をプロポーザルにて選定し、市民を交えたワークショップを開催、検討結果をもとに基本設計・展示基本設計に着手した。					
成 果		平成26年6月に基本構想を策定、平成28年3月に石巻市複合文化施設整備基本計画を策定した。平成28年度は、設計者及び展示設計者を選定するに当たり、企画・提案型のプロポーザル方式を採用し、優れた業者を選定できた。また、住民参加型のワークショップを開催し討議した結果、基本設計に利用者の意見を取り入れることができた。					
成果に係る評価		建設スケジュールに合わせ、平成32年度中にオープンできるよう事業を進めていく必要がある。基本設計の完成に合わせ、市民懇談会及びワークショップの開催を予定している。完成後の管理・運営について、平成29年度中、できるだけ早い段階での方針の決定が課題となっている。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	53,380,000	52,483,704			52,190,000	293,704	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	( )																																	
	7 項	保健体育費		第 4 節	市民が個性を活かして輝ける機会をつくる		( )																																	
	1 4 目	保健体育総務費 体育館費		( 2 )	市民の主体的なスポーツ活動を支援する		( )																																	
実施計画掲載ページ		P102	中 事 業	体育奨励費・体育館管理費																																				
事業コード	005-004-002-00268	事 業 名	スポーツ振興事業																																					
目的及び事業内容	市民の一体感の醸成・市民の健康づくりと交流促進・生涯スポーツ社会の実現・成人のスポーツ実施率の向上・青少年の健全育成と交流促進・スポーツ少年団加入率の向上・総合型地域スポーツクラブの拠点づくりを目的とし、いしのまき復興マラソン、いしのまき市民スポーツフェスタ、石巻市小学生リレーマラソン大会、いしのまきキッズ交流大会、キッズバラエティスポーツ教室、体育館スポーツ教室を実施している。																																							
取組実績	<p>1 いしのまき復興マラソン（旧石巻ふれあいマラソン大会） 全国に向けて復興した石巻市の姿を発信するために、第2回いしのまき復興マラソンを開催した。石巻専修大学を会場に、年齢、性別などに応じて、2k・3k・5k・10k・ハーフで18種目を実施した。</p> <p>2 いしのまき市民スポーツフェスタ 気軽に参加できるスポーツを通じ、市民の健康づくりと交流、地域間の連携の強化を図りながら成人のスポーツ実施率の向上を目指した。なお、平成24年度より、特定非営利活動法人石巻市体育協会への委託事業として「協働」で実施している。</p> <p>3 石巻市小学生リレーマラソン大会 市民の一体感を醸成する事業の一環として、市内小学校及びスポーツ少年団対抗のリレーマラソン大会を実施するもので、スポーツを通じた青少年の健全育成、子ども達の体力・運動能力の向上を目指し、平成24年度より石巻市体育協会への委託事業として「協働」でいしのまきキッズ交流大会と合体して実施しており、更に市民スポーツ参加の一翼を担った。</p> <p>4 いしのまきキッズ交流大会 市内スポーツ少年団及び小・中学校の交流により、青少年の健全育成及び地域間の連携と強化を図るため、平成24年度より石巻市体育協会への委託事業として「協働」で石巻市小学生リレーマラソン大会と合体して実施し、市民のスポーツ参加の一翼を担った。</p> <p>5 キッズバラエティスポーツ教室 スポーツをしたいが、何をしたら良いのかわからないという子どもたちに対して、多種目のスポーツ体験の場を提供するため、平成24年度より石巻市体育協会への委託事業として「協働」で実施し、子どもたちがスポーツに取り組む機会の創出を図った。</p> <p>6 体育館スポーツ教室 総合体育館で一般市民を対象にバドミントン・卓球教室を、石巻市体育協会への委託事業として平成25年度より「協働」で実施。楽しみながら基本的な技術を習得し、運動する喜びを感じて心身ともに健康な体づくりを目指し、受講生相互のコミュニティが形成される。</p>																																							
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一大イベントであるいしのまき復興マラソンを継続して開催できた。</li> <li>・小学生リレーマラソン大会といしのまきキッズ交流大会を合同開催として実施した。</li> <li>・キッズバラエティスポーツ教室は昨年度同様、12種類のスポーツを2回ずつ行った。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>指標項目</th> <th>復興マラソン</th> <th>スポーツフェスタ</th> <th>小学リレーマラソン・いしのまきキッズ交流</th> <th>キッズバラエティ</th> <th>体育館教室</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>参加者数</td> <td>0人</td> <td>85人</td> <td>340人</td> <td>1,078人</td> <td>1,109人</td> <td>2,612人</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td></td> <td>3,631人</td> <td>112人</td> <td>263人</td> <td>1,173人</td> <td>1,136人</td> <td>6,315人</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td></td> <td>1,717人</td> <td>193人</td> <td>324人</td> <td>1,191人</td> <td>2,089人</td> <td>5,514人</td> </tr> </tbody> </table>								年度	指標項目	復興マラソン	スポーツフェスタ	小学リレーマラソン・いしのまきキッズ交流	キッズバラエティ	体育館教室	計	H26	参加者数	0人	85人	340人	1,078人	1,109人	2,612人	H27		3,631人	112人	263人	1,173人	1,136人	6,315人	H28		1,717人	193人	324人	1,191人	2,089人	5,514人
年度	指標項目	復興マラソン	スポーツフェスタ	小学リレーマラソン・いしのまきキッズ交流	キッズバラエティ	体育館教室	計																																	
H26	参加者数	0人	85人	340人	1,078人	1,109人	2,612人																																	
H27		3,631人	112人	263人	1,173人	1,136人	6,315人																																	
H28		1,717人	193人	324人	1,191人	2,089人	5,514人																																	
成果に係る評価	<p>いしのまき復興マラソンは、スポーツ振興事業の目玉と位置付けており、スポーツが復興の力になることを多くの参加者に実感してもらおうべく実施している。しかし、参加者数が前年より減少したことから、今後はさらなるPR方法を模索し、地場産品を用いた屋台の出店やコースの再検討など、内容の充実化を図るため、実行委員会との協議を密にしながら、一層の工夫が必要と思われる。</p> <p>また、各種スポーツ事業については、公園等への仮設住宅の立地により、依然として運動を行える場所が限られており、環境整備が急務となっているが、石巻市体育協会をはじめとした関係団体と連携した企画・運営や実技指導などの結果、参加人数は増加傾向にある。</p> <p>今後とも、石巻市体育協会との協働体制を継続しつつ、行政主導から民間主導への移行を図るとともに、「成人のスポーツ実施率の向上」や「子どもたちの体力と運動能力の向上」を目標に掲げ、本市の復興状況と照らし合わせながら、多くの市民が参加しやすい環境の整備や参加意識の向上に努めたい。</p>																																							
(単位：円)																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																		
	4,173,000	4,173,000				4,173,000																																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																																																																																													
	7 項	保健体育費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																																																																																													
	3 目	学校給食費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																																																																																													
実施計画掲載ページ		P23	中 事 業	学校給食センター運営費、賄材料費																																																																																																
事業コード	002-001-002-00243	事 業 名	学校給食センター運営事業																																																																																																	
目的及び事業内容	<p>児童・生徒に豊かで栄養バランスのとれた食事を提供し、心身の健全な育成に資する。学校給食を通じて望ましい食生活習慣の基盤形成を促すとともに、会食をととして豊かな人間関係を育成する。</p> <p>地場産物を使い地域の特色を生かした学校給食を提供することにより、地域の産物や食文化を理解し、尊重する心を育てる。</p>																																																																																																			
取組実績	<p>学校給食実施状況（平成29年1月1日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>学校・園数</th> <th>児童・生徒・園児数</th> <th>給食形態</th> <th>調理場方式</th> <th>給食実施率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>35校</td> <td>6,762人</td> <td>完全給食</td> <td>共同調理場方式</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>20校</td> <td>3,927人</td> <td>完全給食</td> <td>共同調理場方式</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>幼稚園</td> <td>2園</td> <td>153人</td> <td>完全給食</td> <td>共同調理場方式</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">センター名</th> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="2">幼稚園</th> <th colspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>対象校数</th> <th>児童数</th> <th>対象校数</th> <th>生徒数</th> <th>対象園数</th> <th>園児数</th> <th>対象校・園数</th> <th>児童・生徒・園児数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吉吉学校給食センター</td> <td></td> <td>3校</td> <td>911人</td> <td>3校</td> <td>818人</td> <td></td> <td></td> <td>6校</td> <td>1,729人</td> </tr> <tr> <td>河北学校給食センター</td> <td></td> <td>10校</td> <td>919人</td> <td>6校</td> <td>559人</td> <td>2園</td> <td>153人</td> <td>18校(園)</td> <td>1,631人</td> </tr> <tr> <td>河南学校給食センター</td> <td></td> <td>6校</td> <td>986人</td> <td>2校</td> <td>487人</td> <td></td> <td></td> <td>8校</td> <td>1,473人</td> </tr> <tr> <td>東学校給食センター</td> <td></td> <td>16校</td> <td>3,946人</td> <td>9校</td> <td>2,063人</td> <td></td> <td></td> <td>25校</td> <td>6,009人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>35校</td> <td>6,762人</td> <td>20校</td> <td>3,927人</td> <td>2園</td> <td>153人</td> <td>57校(園)</td> <td>10,842人</td> </tr> </tbody> </table>								区分	学校・園数	児童・生徒・園児数	給食形態	調理場方式	給食実施率	小学校	35校	6,762人	完全給食	共同調理場方式	100%	中学校	20校	3,927人	完全給食	共同調理場方式	100%	幼稚園	2園	153人	完全給食	共同調理場方式	100%	センター名	区分	小学校		中学校		幼稚園		計		対象校数	児童数	対象校数	生徒数	対象園数	園児数	対象校・園数	児童・生徒・園児数	吉吉学校給食センター		3校	911人	3校	818人			6校	1,729人	河北学校給食センター		10校	919人	6校	559人	2園	153人	18校(園)	1,631人	河南学校給食センター		6校	986人	2校	487人			8校	1,473人	東学校給食センター		16校	3,946人	9校	2,063人			25校	6,009人	計		35校	6,762人	20校	3,927人	2園	153人	57校(園)	10,842人
区分	学校・園数	児童・生徒・園児数	給食形態	調理場方式	給食実施率																																																																																															
小学校	35校	6,762人	完全給食	共同調理場方式	100%																																																																																															
中学校	20校	3,927人	完全給食	共同調理場方式	100%																																																																																															
幼稚園	2園	153人	完全給食	共同調理場方式	100%																																																																																															
センター名	区分	小学校		中学校		幼稚園		計																																																																																												
		対象校数	児童数	対象校数	生徒数	対象園数	園児数	対象校・園数	児童・生徒・園児数																																																																																											
吉吉学校給食センター		3校	911人	3校	818人			6校	1,729人																																																																																											
河北学校給食センター		10校	919人	6校	559人	2園	153人	18校(園)	1,631人																																																																																											
河南学校給食センター		6校	986人	2校	487人			8校	1,473人																																																																																											
東学校給食センター		16校	3,946人	9校	2,063人			25校	6,009人																																																																																											
計		35校	6,762人	20校	3,927人	2園	153人	57校(園)	10,842人																																																																																											
成 果	<p>1 学校給食を通じて、児童・生徒に栄養バランスのとれた食事を提供することができた。</p> <p>2 学校給食に地場産物を活用し、また、地域の郷土食や行事食を提供することができた。特に伝統的地域特性を生かしたのでは、鯨肉を使用した給食を提供することができた。</p> <p>3 平成28年8月に開設した東学校給食センターでは、アレルギー対応食専用の調理室を完備し、平成29年2月から同センター受配校にアレルギー対応給食の提供を開始した。</p> <p>4 給食費の未納対策に関して、教育委員会と学校が一体となり収納対策に努め、納入者の不公平感の解消及び適切な財源確保に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>滞納学校数</th> <th>滞納者数</th> <th>滞納繰越額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>19校</td> <td>68人</td> <td>2,242,434円</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>20校</td> <td>64人</td> <td>1,480,345円</td> </tr> <tr> <td>比較増減</td> <td>1校</td> <td>△ 4人</td> <td>△ 762,089円</td> </tr> </tbody> </table>								年度	滞納学校数	滞納者数	滞納繰越額	H27	19校	68人	2,242,434円	H28	20校	64人	1,480,345円	比較増減	1校	△ 4人	△ 762,089円																																																																												
年度	滞納学校数	滞納者数	滞納繰越額																																																																																																	
H27	19校	68人	2,242,434円																																																																																																	
H28	20校	64人	1,480,345円																																																																																																	
比較増減	1校	△ 4人	△ 762,089円																																																																																																	
成果に係る評価	<p>「生きた教材」として毎日の給食を提供することは、望ましい食習慣を身に付けさせることの一助となっている。また、地元の食材や郷土食等を提供することにより、地域の産業や伝統・文化に対する理解と関心を深めることができた。</p> <p>東学校給食センターにアレルギー対応食専用の調理室を完備したことにより、アレルギー対応給食の提供を推進することができた。</p> <p>給食費の未納対策に関しては、今後も、新たな未納者を発生させないためにも、給食の意義や役割について保護者に理解と協力を求める。</p>																																																																																																			
(単位：円)																																																																																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																														
	920,886,000	897,289,566				545,718,221	351,571,345																																																																																													

予算科目	10 11	款 教育費 災害復旧費	総合 計画	第 章		復興 計画	( )	
	7 5	項 保健体育費 その他公共施設・公用施設災害復旧費		第 節			( )	
	8 1	目 東日本大震災関係費 その他公用施設災害復旧費		( )			( )	
実施計画 掲載ページ			中 事 業	学校給食センター建設事業費 学校給食センター災害復旧費				
事業コード			事 業 名	石巻市東学校給食センター建設事業 〔復興交付金〕・〔復興基金〕				
目的及び事業内容		被災した湊及び渡波学校給食センターを統合した上で再建し、児童・生徒に栄養バランスのとれた給食を提供することで心身の健全な発育に資する。 また、湊地区の住民及び事業所の就業者への災害時の炊き出し拠点施設と位置付け、災害時に食料支援を行うことで、地域住民に安全で安心に生活できる住環境を提供する。						
取組実績		平成25年度 用地購入、地質調査業務、用地造成設計業務 ・用地取得内容：大門町四丁目 A=1,025.67㎡ 明神町一丁目 A= 824.77㎡ 明神町二丁目 A=1,365.39㎡ 明神町三丁目 A= 251.70㎡ 計 A=3,467.53㎡ 平成26年度 用地購入、基本・実施設計、用地造成工事、新築工事 ・用地取得内容：湊町一丁目 A= 469.50㎡ 明神町一丁目 A= 121.77㎡ 計 A= 591.27㎡ 平成27年度 新築工事 平成28年度 竣工並び開設						
成 果		平成28年5月に竣工し、平成28年8月より給食の提供を開始した。また、平成29年2月から、市内で初となるアレルギー対応給食の提供を東学校給食センターの受配校に開始し、より多くの児童・生徒に学校給食を提供することが可能となった。						
成果に係る評価		東学校給食センターを開設したことにより、学校給食衛生管理基準に準じた衛生管理体制を構築することができた。また、アレルギー対応給食の提供により、より多くの児童・生徒に喫食してもらうことで、栄養改善及び増進につながった。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	1,586,943,880	1,570,857,422	406,977,000	496,000,000	423,518,062	244,362,360		